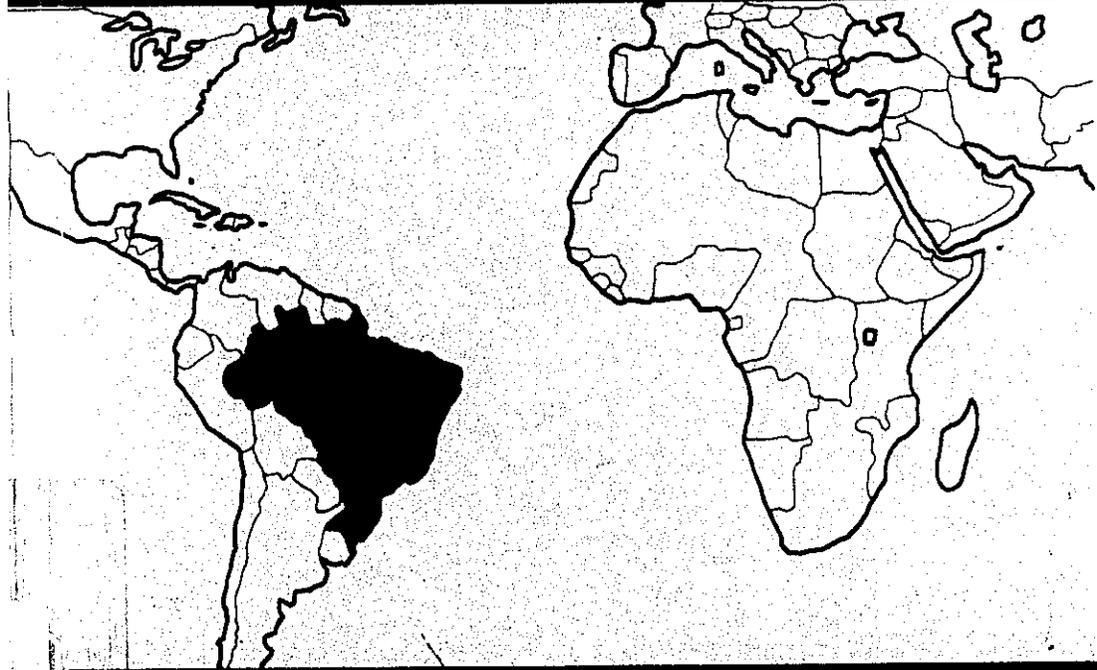


青年の国

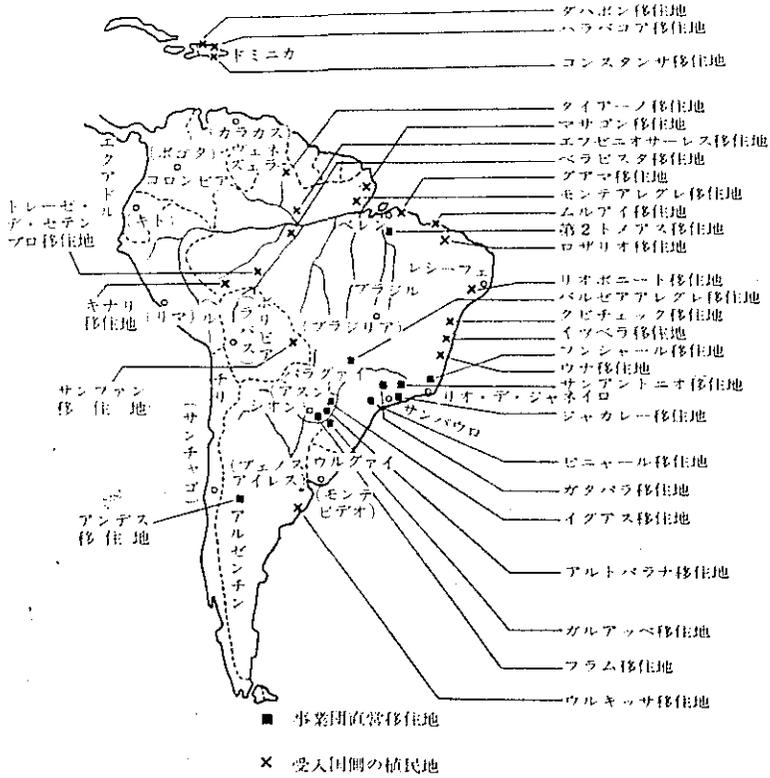
# ブラジル



海外移住事業団

（株）国際移住センター

### 南米各地の日本人移住地



青年の国

# ブラジル

海外移住事業団  
JAPAN EMIGRATION SERVICE

JICA LIBRARY



1024211[3]

国際協力事業団

受入 月日	84. 8. 27	703
		20
登録No.	02810	EM

## まえがき

この本は、日本の国際協力事業の一環として日伯合弁の形で推進されているウジミナス製鉄所派遣員の参考のためにつくられた「ブラジル一般事情」の改訂版である。

ウジミナス製鉄所はようやく軌道に乗り、日本からの派遣も、ほぼ一段落したのを機に、新しい活用が望まれるにいたった。

当事業団では、これを主として高校生の海外研究の参考書として大幅に改訂の上、新たに「青年の国—ブラジル」と名付け刊行することにした。旧版刊行以後僅かの期間にブラジルの事情は目まぐるしく変転した。編者はとくに政情、経済事情についてできる限り新しい資料統計に基づき、書きあらためたが、なお不十分な点を感じざるをえない。

若い読者が、揺れ動く多様な現象の中であって、この本質を見抜く鋭い清んだ眼で、この本を読まれることを期待したい。

昭和41年2月

海外移住事業団

## 海外移住事業団の目的

海外移住事業団は、移住者の援助及び指導その他海外移住の振興に必要な業務を国の内外を通じ一貫して効率的に行なうことを目的とする。

(海外移住事業団法第1章第1条より)

## 事業団の業務

1. 海外移住に関する調査及び知識の普及
2. 海外移住の相談及びあっせん
3. 移住者の訓練、講習並びに渡航費貸付、支度金支給
4. 移住者渡航の際の宿泊施設提供、引率その他の指導援助
5. 移住者の事業、職業、及び生活一般の相談、指導
6. 移住者定着のための福祉施設整備、その他の援助
7. 入植地の取得、造成、管理及び譲渡、並びに取得のあっせん
8. 移住者及びその団体に対する農業、漁業、工業等の事業資金貸付及び事業資金借入れに係る債務の保証
9. 移住者を受入れる農業、漁業、工業、その他の事業に対する移住者受入れ関係所要資金の貸付
10. 上記の諸事業に関連する附帯事業
11. その他海外移住の振興に必要な業務

# 目 次

まえがき

## I. 国土・国民 ..... 1

位置 国境 標準時 面積 地形 気候 原  
住民 人口 人口の増加 言語 ブラジルの  
歴史 発見と国の名称 開拓と植民 総督制  
の時代 叛乱と独立 帝政時代 共和国発足  
歴代の大統領

## II. 国のしくみ .....27

ブラジル国憲法 国旗、国章、国歌 国家の  
構造 州の下部機構 主要都市とその人口  
国家の組織 立法権 連邦議会 法案の成立  
と大統領の拒否権 州、郡の立法権 行政権  
大統領の権限と任務 政府機関 州と郡の統  
治 司法権 政党

## III. 資源・産業 .....41

資源、産業 産業発達の経過 農業 林業  
畜産 水産 鉱業 工業 製鉄 電力 石炭  
石油

## IV. 交通・通信 .....59

交通 道路 鉄道 水運 主な港および入港  
船扱い、貨物量 航空 通信 電話電信

## V. 経済・財政 .....67

経済 ブラジルの大企業 インフレーション  
貨幣の供給増 外国貿易の影響 急激な工業  
化 財政の膨脹 公債発行 その他のインフ  
レ要因 財政 通貨 金融 外国資本 外資

の流入 融資・投資の別 外資の償還 外国  
貿易 3カ年計画 ブラジル経済最近の動向

VI. 生活・労働 .....92

住民の社会的生活 国籍の取得と喪失 人権  
とその保障 経済および社会の秩序 労働  
最低賃金制 工業技能者の不足 社会保障  
公衆衛生 教育と文化 教育 現在の教育制  
度 文盲 文化 建築 彫刻 絵画 出版  
音楽 映画 定期刊行物 マスコミ界の実情  
スポーツ 保健衛生と疾病並びに医療 まえ  
がき ブラジルの保健衛生 ブラジルの主な  
病気 ブラジルの医療

VII. 風俗・習慣 ..... 122

はじめに ブラジルの祝祭日 挨拶 敬称  
握手 抱擁 感謝 敬老 愛児 婦人優先  
母の座 動物愛護 歩き方 婦人と歩くとき  
呼び止め方 タクシー 電車・バス 乗合タ  
クシー テコテコ 町名 地番 ビルの階数  
エレベーター 服装 男の服装 女の服装  
持ち物 指輪 鍵 食べ物 会食 飲料水  
妻ようじ 出逢い 訪問 入室 誕生日 ア  
ミーゴ 贈り物 結婚 テップ Mata Bicho  
買い物 つり銭 小銭 紙幣の扱い 物の値  
段 度量衡 サイン 証票書類 地権 戸籍  
電話のかけ方 郵便私書箱 電報 汽車時間  
勤務 貴族趣味 キスト 少数民族 3分の  
2法 叱り方 謝罪 意味は反対 ホテル  
理髪店 運び屋 靴みがき 物乞い カトリ  
ック 日本語の中のポ語 休日と訪問 祝祭  
日 洗礼 日本宗教 代父・代母 コンバド  
レ アフィリヤード バイレ 接待 口笛  
家事使用人 アマニヤン主義 三猿主義 ジ  
ェスチェア 入浴 便所 千鳥足 手出し  
禁語句

VIII. ブラジル料理と食事作法 …… 154

内容 はじめに 宴会の種類 午餐会 ガー  
デン・パーティ カクテル・パーティ ティ  
・パーティ シュラスコ会 ディナ・パーテ  
ィ 料理の食べ方 食事のエチケット 食事  
・宴会を終えて 代表的なブラジル料理 こ  
の章に用いられたブラジル語

IX. 日本との関係 …… 173

ブラジルとの歴史的関係 最初にブラジルを  
見た日本人 ブラジル移民の初期 コロノ  
企業移民 日系コロニア 移民入国制限 資  
産の凍結と解除 対日感情好転 日伯移住協  
定 日本人の分布状態と経済力 邦人の生産  
活動 戦後の企業進出 ブラジル移住略史  
日伯間に現存する諸協定

最近の政治経済事情 …… 184

# I 国土・国民

## 1. 国 土

### 位 置

ブラジルは、南アメリカ大陸の東半を占めて、大西洋に面している。

ブラジルの北端は赤道の北、北緯  $5^{\circ}16'19''$ 、南端は南緯  $33^{\circ}45'09''$ 、東端は西経  $32^{\circ}22'48''$  (大西洋の島)、大陸の東端は  $34^{\circ}45'54''$ 、そして西端は西経  $73^{\circ}59'32''$ 。

東半球の北にある日本と西半球の南にその大部分をおくブラジルとは地球の表と裏の対位にあり、日本との時差は、リオ・デ・ジャネイロ標準時で、12時間(日本の夕刻の6時は、ブラジルでは同日の朝の6時)である。

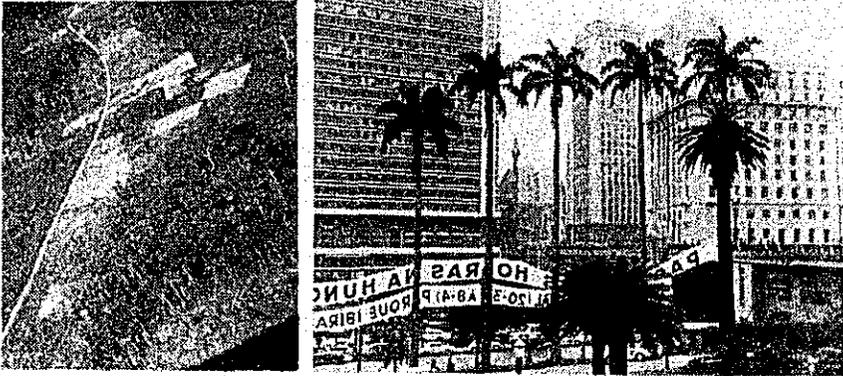
### 国 境

ブラジルはその国土が広大なために南アメリカの10カ国と国境を接しており、その国境線は15,721kmに及んでいる。

国の北から西・南にかけて、仏領ギアナ(国境線655km)、ソリナン(旧蘭領ギアナ593km)、英領ギアナ(1,606km)、ベネズエラ(1,495km)、コロンビア(1,644km)、ペルー(2,995km)、ボリビア(3,126km)、パラグアイ(1,339km)、アルゼンチン(1,263km)、ウルグアイ(1,003km)の10カ国である。

また北から東、南にかけては大西洋に面して、その海岸線の延長は、大西洋上の島(周囲約41km)を含み、7,406kmに及んでいる。

従ってブラジルの周囲の延長は23,127kmで、国土は“セニョリータの横顔”



<写真左>アマゾン。事業団第二トメアスー移住地へ向う道路。<写真右>サンパウロの中心街。都市と自然のきわだった対照，これを知ることが，ブラジルを理解する一つの鍵である。

に似た形をして南北よりもやや東西に長い（洋上の島を除く）。

#### 標準時

ブラジルには4つの標準時を採用している。イギリスの Greenwich 標準時を基準として次のとおり定められている。

グリニウイッチ標準時が正午のとき、大西洋上の島フェルナンド・デ・ノローニヤ及びその付近の島々は午前10時。リオ、サンパウロ、ベレーンなどを含む西経  $54^{\circ}$ （縦割りにほぼブラジルの中央）以東は午前9時。 $54^{\circ}$ 線以西（アクレおよびアマゾナスの西端を除く）は午前8時。アクレおよびアマゾナス西端地方は午前7時である。

#### 面積

ブラジルの面積は、第1表で示すとおり  $851万3,844km^2$  または  $851万1,965km^2$  で、1959年と62年（ともに政府公表）の数字とには  $1,879km^2$  の差があるが、いずれにしてもわが国の約22.5倍であり、世界全陸地の17分の1、南アメ

第1表

ソビエト	22,403,000km <sup>2</sup>	ブラジル	8,513,884km <sup>2</sup>
カナダ	9,974,375	アメリカ	7,827,976
中国	9,761,012	オーストラリア	7,704,159

ブラジル合衆国構成単位図



第 2 表

構成単位の名称		単位の別	面積(km <sup>2</sup> )	%
Norte (北部)				
Rondônia	ロンドーニア	連邦直轄州	242,983	2.85
Acre	アクレ	自治州	152,580	1.79
Amazonas	アマゾーナス	"	1,556,988	18.30
Amazona/Pará		係争地	3,192	0.04
Rio Branco	リオ・ブランコ	直轄州	230,660	2.71
Pará	パラ	自治州	1,250,003	14.68
Amapá	アマパー	直轄州	137,303	1.61
Nordeste (北東部)				
Maranhão	マラニョン	自治州	332,174	3.90
Piauí	ピアウイ	"	251,683	2.96
Piauí/Ceará		係争地	2,460	0.03
Ceará	セアラ	自治州	147,895	1.74
Rio Grande do Norte	リオ・グランデ・ド・ノルテ	"	53,069	0.62
Paraíba	パライーバ	"	56,556	0.66
Pernambuco	ペルナンブーコ	"	98,079	1.15
Alagoas	アラゴアス	"	27,793	0.33
Fernando de Noronha	フェルナンド・デ・ノローニャ	島 嶼	27	0.00
Leste (東部)				
Sergipe	セルジッペ	自治州	22,027	0.26
Bahia	バイア	"	563,367	6.62
Minas Gerais	ミナス・ジェライス	"	581,975	6.83
Minas Gerais/Espírito Santo		係争地	10,137	0.12
Espírito Santo	エスピリット・サント	自治州	39,577	0.46
Rio de Janeiro	リオ・デ・ジャネイロ	"	42,588	0.50
Guanabará	グァナバラ	"	1,365	0.02
Sul (南部)				
São Paulo	サンパウロ	自治州	247,222	2.90
Paraná	パラナー	"	200,857	2.36
Santa Catarina	サンタ・カタリーナ	"	94,798	1.11
Rio Grande do Sul	リオ・グランデ・ド・スル	"	282,480	3.32
Centro-Oeste (中西部)				
Goiás	ゴヤース	自治州	642,092	7.54
Mato Grosso	マツト・グロッシ	"	1,261,094	14.81

Distrito Federal ジストリット・フェデラル	連邦府	5,814	0.07
計			
Norte (北部)		3,573,718	41.98
Nordeste (北東部)		969,736	11.39
Leste (東部)		1,261,027	14.81
Sul (南部)		825,357	9.69
Centro-Oeste (中東部)		1,884,006	22.13
全ブラジル		8,513,844	100.00

注 ① Guanabará 州は新首府 Brasília 遷都に伴って、旧首都 Rio de Janeiro 地域をもって自治州となった。

② Distrito Federal とは連邦府=Brasilia のことである。

リカ大陸の47%を占めて、世界第4位の広い国土を擁している。

ブラジルの総面積 851 万 3,844km<sup>2</sup> の内訳は、第2表に示すとおり、ブラジル合州国を構成する各単位の集計であるが、各単位の数字が1959年と62年の公表で、アクレ州を除いて他のすべての数字が異っていることは奇異である。なおこの表の中で、例えば Amazonas/Pará のごとく表わしているのは、アマゾンナス州とパラ州との間で係争中の地域を示すものである。

また、北部、北東部、東部、南部および中西部は地方区分であって、日本の“関東・近畿”などの地方区分と同様である。

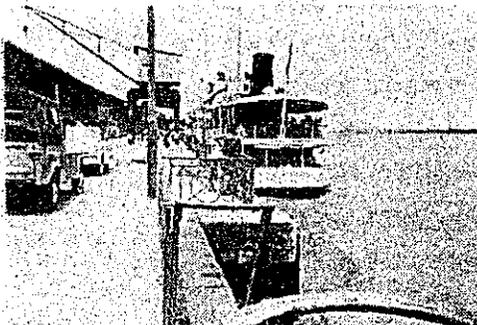
## 地 形

ブラジルの地形は一般に、アマゾニアといわれるアマゾン川の流域、ブラジル中央高地(高原)、東部海岸に起伏する海岸山脈一帯の地、および大陸を南へ流れるラプラタ川の流域の地域に大別して説明される。

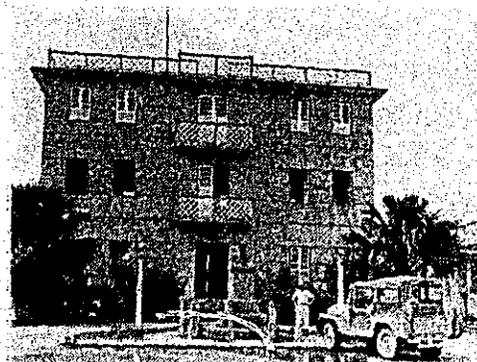
アマゾン川流域は実に広域で、ブラジルの北の国境をなすギアナ山系、南米の背骨といわれる西方のアンデス山脈、そして南はブラジル中央高地に囲まれる地域であって、その大部分は概して高温多雨で原始林におおわれた低地である。どこまでをこの地域とするかは説の分れるところであるが、ブラジル連邦政府の統計は、東方境界をパラ州とマラニョン州の州境とし、マラニョン州以东を“Nordeste(北東部)”として分離し、アマゾンナス州およびその支流の流域のブラジル領内の地域を 354 万 1,521km<sup>2</sup> としており、この面積はブラジ



大アマゾン河の支流



ベレンの棧橋



胡しょう栽培で有名な日本人移住地トマス移住地産菜組合本部

ル全国土の41.59%をこえている。

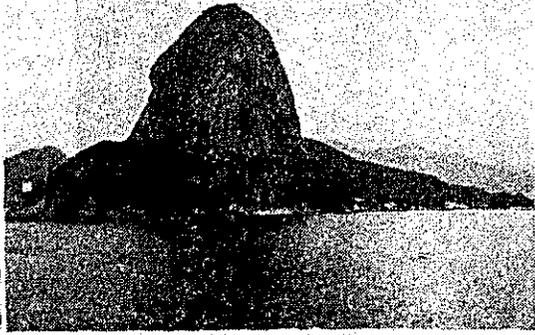
ブラジル中央高地はブラジルの中央部を巾広く、マツト・グロツソ州からゴヤス州、そして海岸山脈へと広がる緩傾斜の高台の地域で、北のアマゾナス流域と南のラブラタ流域とを分けている。

海岸山脈はブラジルの東部大西洋岸を、北東部から海岸添いに南部にまでつづく山脈群の総称であってブラジルの山々はここに集まっており、奇岩が海に迫ってリオの景観に似た風景を随所にを現わしている。なお、海岸山脈の山間を縫ってサンブランシスコ川やドーセ川などの河川が大西洋に注いでいる。

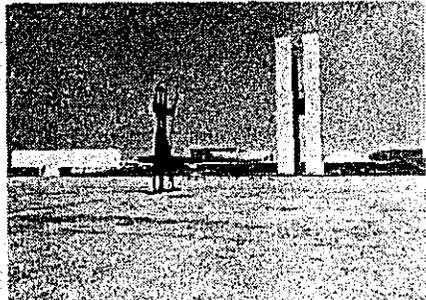
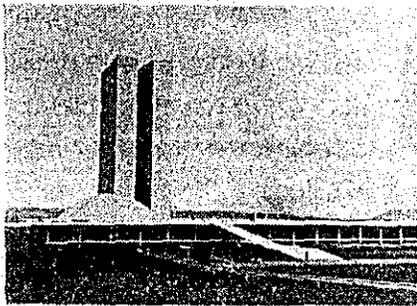
ラブラタ川流域は、ラブラタ川（河口はアルゼンチンとウルグアイの国境をなして大西洋に注ぐ）の上流であるパラナ川、バラグアイ川およびウルグアイ川などの流域をなすブラジルの南西部一帯の低地である。



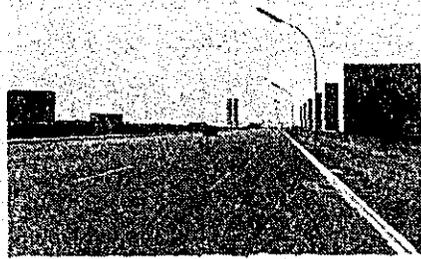
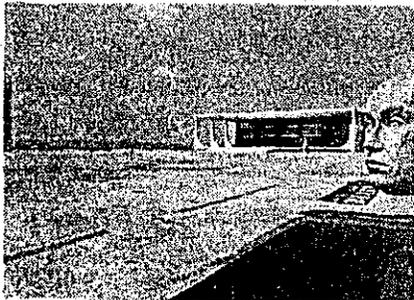
ゴッタがえすベレンの朝市



船中から見たリオの名所ポン・デ・アスカル（砂糖パン）の奇景



新首都ブラジリアの国会議事堂



ブラジリアの建設を強力に推進したクビチエック元大統領の像と大統領邸（左）官庁街（右）



ベレンのわか雨とマンゴの樹木



サンパウロ州のコーヒー樹の上部。  
霜はコーヒー樹の大敵である。

概してブラジルには山岳や高地は少なく、海拔900メートルを越える高地は全国土の僅か3%に過ぎず、国土の50%は200メートルから900メートルの間にある農牧適地である。

しかし、北東地方の一部には降雨量の甚だ少ない旱ばつ地もあり、またラプラタ流域の一部には「パンタナル」といわれる年に数カ月も大きな沼地となる特異な地域もある。そしてまたブラジル中央高地の中心に新しい首府 Brasilia が建設されたことは気候および将来の産業分野の可能性を物語るものである。

## 気 候

ブラジルの気候は、北緯 $5^{\circ}$ から赤道を越えて南緯 $10^{\circ}$ の熱帯、 $10^{\circ}$ から $23^{\circ}$ の南回帰線に至る亜熱帯、そしてそれ以南の温帯にまで広がっているので一様ではない。

北部のアマゾニア地方は、地理学者 Finch 氏らの気候区分による「熱帯雨林」に大部分が属して、風の少ない高温多雨の気候で、冬がなく一般に植物の生長は早い。温度は年較差より日較差のほうが大きく、日射は強いが激しい降雨がある。

アマゾニア地方に南接する中央部の大部分は「サバナ」気候で、乾季の長い乾燥地域で、草原の中に樹木のある疎林が多くみられる。オーストラリア北部やインドのデカン高原などと類似している。この中央部の北東は「ステップ」といわれる雨のより少ない草原地帯である。

東部の海岸一帯は「熱帯モンスーン」で、高温多雨であるが乾季もあり、雨季の降雨量は乾季にも湿気を十分に保って、森林の育成が行なわれ、殊に砂糖黍などの栽培には好条件を与える。

中部および東部に南接するサンパウロとその周辺の州「は亜熱帯モンスーン」で、夏季と冬季の別がやや感じられ、夏季は高温多雨、冬季はやや低温となって雨量は少なくなる。そてつなどの常緑樹が生育し、少雨のときでも早ばつはない。

南3州といわれるブラジルの南部は「温帯モンスーン」で、寒暑の差がやや大きく、四季の区別が明らかである。一般に雨は夏に多く、冬に少ない。霜や雪をみることもある。

次に示す気象状況表は国内各州の首都（ベルナンブーロ州はオリング市）にある気象台の観測実績である。

第3表 ブラジル各地の気象

気 圧 (mb)		気 温 (C°)				湿度(%)		降 雨 量(mm)	
高	低	高 温 平 均	低 温 平 均	年 間 最 高	年 間 最 低	高	低	年 間 計	1日の 最 大
RONDÔNIA-Porto Velho									
1,001.6	998.4	32.8	20.3	39.6	11.8	89	60	2,167.9	127.5
ACRE-Rio Branco									
996.8	992.7	31.4	20.3	36.9	12.3	92	77	—	70.1
AMAZONAS-Manaus									
1,011.1	1,007.5	31.7	22.5	36.7	19.3	90	76	2,358.2	118.6
RIO BRANCO-Boa Vista									
996.5	993.3	32.2	22.8	36.3	20.3	83	62	1,230.3	101.9
PARÁ Belém									
1,010.6	1,008.4	31.0	22.7	33.2	21.1	93	84	3,347.7	67.0
AMAPA-Macapá									
—	—	32.1	23.2	33.5	22.0	—	—	—	80.4
MARANHÃO-Sao Luis									
1,013.9	1,004.3	31.0	23.4	33.6	21.0	88	77	1,849.8	113.0
PIAUI-Teresina									
1,004.8	1,001.3	33.7	22.3	39.1	17.5	83	46	1,196.1	53.9

	CEARÁ-Fortaleza									
1, 010. 8	1, 006. 8	29. 5	23. 3	32. 0	19. 8	82	50	1, 756. 6	108. 2	
	RIO GRANDE DO NORTE-Natal									
1, 015. 2	1, 010. 5	30. 0	20. 9	30. 1	17. 7	80	71	—	69. 0	
	PARAIBA-João Pessoa									
1, 012. 2	1, 007. 7	28. 9	22. 0	33. 6	17. 3	—	—	2, 256. 1	183. 0	
	PERNAMBUCO-Olinda									
1, 010. 2	1, 005. 3	28. 6	23. 3	30. 9	19. 3	84	72	2, 456. 6	184. 3	
	ALAGOAS-Maceió									
1, 012. 0	1, 006. 8	28. 3	22. 4	31. 1	19. 0	84	65	1, 534. 7	77. 5	
	SERGIPE-Aracaju									
1, 018. 1	1, 013. 2	28. 5	—	31. 4	—	78	71	1, 116. 9	135. 4	
	BAHIA-Salvador									
1, 018. 0	1, 011. 6	27. 6	22. 5	31. 2	18. 7	85	75	946. 1	44. 0	
	MINAS GERAIS-Belo Horizonte									
917. 2	910. 4	27. 6	16. 9	34. 7	10. 2	87	48	1, 406. 7	79. 8	
	ESPIRITO SANTO-Vitória									
1, 017. 0	1, 008. 4	29. 5	21. 2	36. 2	16. 4	80	70	—	96. 4	
	RIO DE JANEIRO-Niterói									
1, 018. 3	1, 008. 4	29. 7	20. 3	39. 5	13. 0	80	66	1, 012. 8	53. 8	
	GUANABARÁ-Rio de Janeiro									
1, 017. 3	1, 007. 5	28. 1	21. 7	36. 7	16. 0	79	72	1, 019. 1	62. 0	
	SÃO PAULO-São Paulo									
930. 1	924. 5	25. 7	15. 7	35. 2	8. 5	84	72	1, 447. 9	89. 4	
	PARANÁ-Curitiba									
912. 9	906. 3	23. 4	13. 7	32. 0	0. 6	87	75	1, 682. 2	66. 9	
	SANTACATARINA-Florinópolis									
1, 019. 3	1, 010. 4	25. 5	17. 9	35. 5	5. 3	88	81	1, 744. 2	68. 3	
	RIO GRANDE DO SUL-Porto Alegre									
1, 018. 7	1, 009. 9	25. 7	16. 6	37. 5	0. 8	85	62	1, 552. 0	68. 0	
	MATO GROSSO-Cuiabá									
996. 0	989. 9	33. 0	21. 6	39. 3	10. 5	80	41	1, 169. 2	71. 3	
	GOIÁS-Goiania									
933. 6	928. 4	30. 0	16. 9	36. 8	8. 3	84	42	1, 400. 8	57. 4	
	DISTRITO FEDERAL-Brasília									
901. 0	896. 0	27. 5	15. 8	34. 0	8. 5	85	38	1, 231. 6	100. 7	

## 2. 国 民

ブラジルが発見されたのは西暦1500年であるが、それ以前からこの土地に住んでいた人々のことを総称して「インディオ (Indio)」とっている。皮ふの色は黄褐色で体格はたくましい。発見以来、主として南欧ラテン系の白人種が渡来し、またアフリカから黒人種が移入され、その後ヨーロッパ諸国、日本その他の国から移民が入ったので、現在のブラジルにはそれらの純粹なもの、単純および複雑に混血したもの等々が入り混じって生活している。おそらくこのように人種的に複雑化している国は他に類例をみないであろうが、人種的な偏見のないこともまた世界のいづれの国にも見当たらないであろう。

## 原住民 (インディオ)

ブラジル発見当時今のブラジルの全域にわたって住んでいた土着のインディオの数は約80万ともいわれているが、確かな調べはない。その大部分は渡来した白人たちの社会に和し、僅かに一部が奥地へ移り住んで昔ながらの生活をつづけている。政府はいろいろと保護や教化の手をさしのべているが、密林の奥深くに数100人から1,000人程度の集団をなして、なかなか近づこうとしない。ツビー (Tupi)、グアラニー (Guarani)、シャバンテス (Xavantes) などがその主な部族である

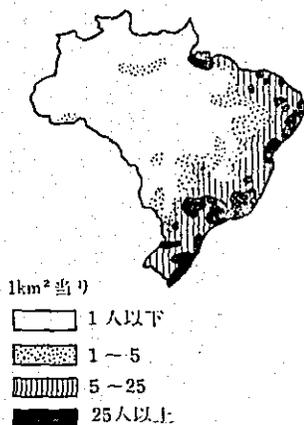


ブラジルの男

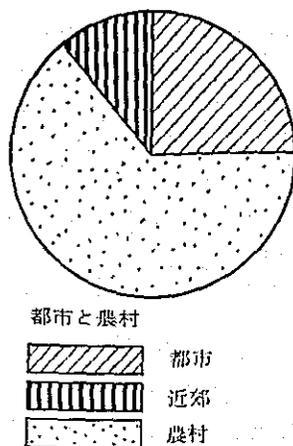


ブラジルの女

第1図  
人口分布



第2図



が、一般人に危害を加えるような激しい種族ではなく、狩猟や原始的な農業などを営んでいる。

原住民と白人の混血をカボクロ (caboclo)、原住民と黒人との混血をザンボ (zambo)、黒人と白人との混血をムラト (mulato) という言葉はあるが、混血同志が、または純粋と混血とが何代かにわたって混血しているものもあって、その区別は明らかでない。

## 人 口

1960年9月調査による政府公表のブラジルの総人口は、7,000万人で、中国、インド、ソビエト、アメリカ、日本、インドネシア、パキスタンにつぐ世界第8位の大人口国である。

人口の分布状態は第1図の示すとおりで、東部海岸周辺に多く、北部および中西部の内陸は人口稀薄である。図の白地の部分は1km<sup>2</sup>当り1人以下を示している(第1図参照)。

また、都市と郡部に分けると第2図のとおりで、都市に12%、郊外に25%、残り60余%は農村部に住んでいる。

人口の増加

ブラジルの人口は第1表に示すように驚異的な増加を示している。

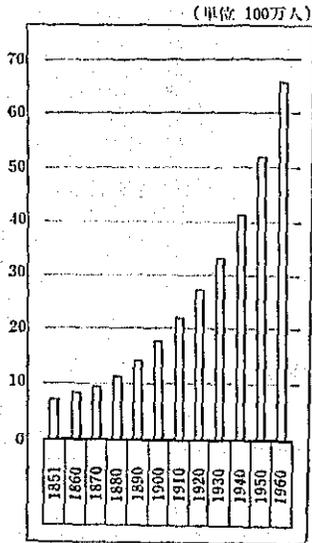
第1表

年	1 km <sup>2</sup> 当り人口
1851	0.86
1860	0.98
1870	1.15
1880	1.37
1890	1.66
1900	2.11
1910	2.60
1920	3.21
1930	3.94
1940	4.82
1950	6.10
1960	7.72

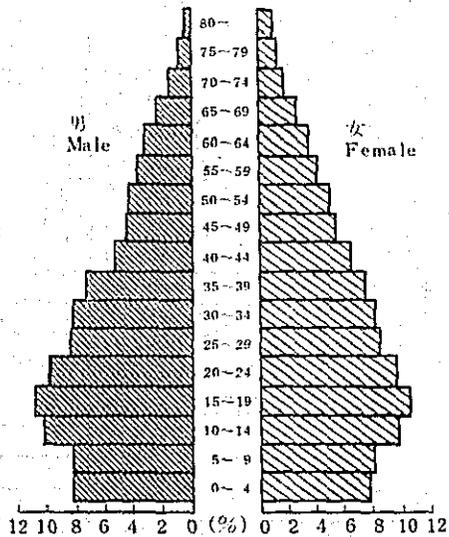
第2表 人口増加状況

(単位 1,000人)			
調査		推定	
1950	51,976	1961	73,088
1951	53,496	1962	75,271
1952	55,095	1963	77,521
1953	56,741	1964	79,837
1954	58,437	1965	82,222
1955	60,183	1966	84,679
1956	61,981	1967	87,029
1957	63,833	1968	89,815
1958	65,740	1969	92,499
1959	67,704	1970	95,262
1960	70,967		

第3図 人口の増加



日本の人口構成



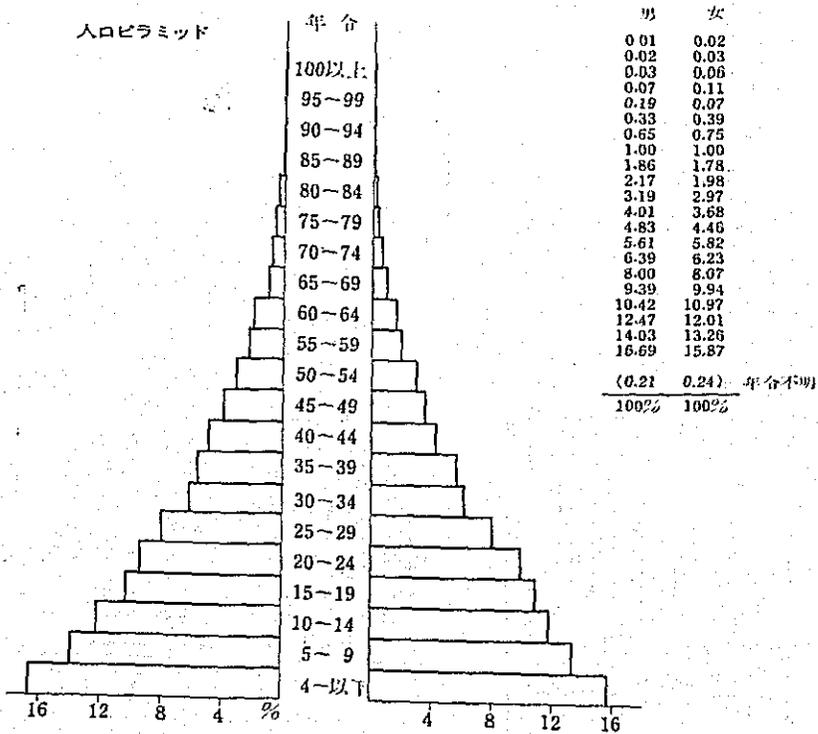
39年10月現在の年齢別人口構成

ブラジルは、従来年々かなり多数の移民を受け入れてきているが、それも加えて、人口の増加率は世界でも最も高い国の1つで、最近の統計によると年間3~4%の出生率を示しており、100年前に僅か800万に過ぎなかったが、50年前には2,200万人、25年前には3,700万人となり、そして1960年には約7,000万人に達している。しかし国土が広いために人口密度は1平方キロメートルにつき7.72人にしか過ぎない(日本は245人)。

しかし、リオ・デ・ジャネイロとサン・パウロを中心とする地域には現在約1,500万人の人口が集中して、ラテンアメリカの心臓部といわれている。

人口ピラミッド

ブラジルの人口ピラミッドは次に図示するとおりであるが、いかにも若い国



これからの国を思わせるものがある。

1950年の統計により、1,000人以下4捨5入による。

第 1 表

(1962年6月国連統計)

世界総人口		31億3,500万人
アジア州		17億6,400万人
ヨーロッパ州		4億3,400 "
アメリカ州 (南北)		4億3,000 "
アフリカ州		2億6,900 "
大洋州		1,700 "
ソ連		2億2,100 "
ラテンアメリカ		2億1,621万9,000人
ブラジル	7,527万人	グアテマラ 402万人
メキシコ	3,723 "	ボリビア 355 "
アルゼンチン	2,141 "	ドミニカ 322 "
コロンビア	1,477 "	ウルグアイ 291 "
ペルー	1,151 "	サルバドル 263 "
チリ	800 "	ホンジュラス 200 "
ベネズエラ	787 "	パラグアイ 186 "
キューバ	707 "	ニカラグア 158 "
エクアドル	457 "	コスタリカ 117 "
ハイチ	435 "	パナマ 115 "

## 言 語

ブラジルの国語はポルトガル語 (Português) である。ただし英語でもイギリスとアメリカとは幾らか差異があるように、ブラジルのポルトガル語も幾分ブラジル化している。それを俗にブラジル語といっている。

ブラジル語はかなりローマ字的で、われわれ日本人には発音し易く、学び易いといわれている。本書でも地名その他カナ書きすることによって読みにくくなるものなどブラジル語を用いた部分もある。

ブラジル語の字母や読み方については、当団作成「ブラジル語会話」(レコード込み)を参照されたい。

ブラジルでは国語のほか、上層ではフランス語が理解され、また最近では各分

野で英語が用いられるようになった。移民の関係でイタリア語、スペイン語、ドイツ語などがそれぞれの社会や家庭で使われており、これらの外国語が純粋のポルトガル語に訛を与えたことでもある。

標準的なブラジル語はあの広いブラジルのどこへ行っても通じ、方言の多いそして言葉の複雑な日本などは比較にならぬほど容易である。

### 3. ブラジルの歴史

#### 発見と国の名称

ブラジルは西暦1500年4月22日に、ポルトガルの航海者ペドロ・アルヴェレス・カブラルによって発見された。カブラルがインドへ向う途中、暴風雨に逢い西方に流されて偶然ブラジルを発見したという説は今日ではほとんど否定されており、カブラルは当時のポルトガル国王ドン・マヌエル一世の命を受けてブラジルの存在を確認し、これをポルトガル領と宣言するために進路を初めから西南にとったのだと言われている。カブラルは発見した土地を島と考え Ilha de Vera-Cruz (ヴェラ・クルスの島) と命名した。後に Terra de Santa Cruz (サンタ・クルスの地) と改め、その後今日今日の Brasil (ブラジル) という名に改められた。これは当時、その土地から切り出された材木で Pau Brasil (ブラジル木) というものが、ヨーロッパで染色 (赤) 色素を採る木として珍重されたからであった。

#### 開拓と植民

カブラル発見の直後にポルトガルは2回の探検隊を送っている。その第1回は1501年にアンドレ・ゴンサルベス指揮下の艦隊、第2回は1503年はゴンサロ・コエリョ指揮下の艦隊である。

開拓のための植民が本格化したのは、1530年に至って、マルチン・アフオンソ・デ・ソーザ (Martim Afonso de Sousa) を指揮官とする艦隊の派遣である。ソーザの報告で当時のポルトガル国王ドン・ジョアン三世は、ブラジルを効果的に植民地化しようとしてカピタニア制度を布いた (1534年)。これはブラジルを北から南にかけて平行に幾つかの領地に分け、ポルトガルの貴族に与え

て彼等の自力で植民させようという目的であった。この領地のことをカピタニアと呼んで、11に分けられたが、所期の目的を達せず、わずかに2カ所だけが繁栄した。その1つは今日のサン・パウロ地方であるサン・ヴィセンテ (São Vicente) と、もう1つはペルナンブーコ (Pernambuco) 地方である。

マルチン・デ・ソーザによって今日のサンパウロ市の近くにビラチニンガという村が建設され、この付近に後にイエズス会の司祭達によってサン・パウロ学院という土人教化の学校が出来、これを中心として現在のサン・パウロ市が誕生し、発展したのである。

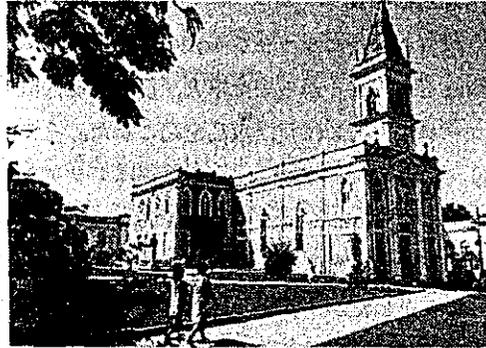
#### 総督制の時代

カピタニア制が失敗したので、ポルトガル政府は、ブラジルに統一政府を置いて、本国から派遣する総督にこれを治めさせることにした。初代の総督はトメ・デ・ソーザ (1549—1553) で、彼は今日のサルバドル市を建設し、ここをブラジルの首府とした。1572年にブラジルは北と南の両総督府に分れ、北の首府はサルバドル市、南はリオ・デ・ジャネイロ市と定められ、二人の総督が駐在した。

総督制時代の最も重大な事件は、フランス人の数度にわたる侵攻とオランダ人の北東部占領である。



ブラジルの街の広場には歴史上の人物の像が多い



ブラジル人の生活とカトリック教会とは切り離して考えることはむづかしい

フランス人の侵攻はいずれも撃退されたが、オランダ人はレシーフェ市やオランダ市を1630年から54年に至る24年間占領した。この原因は本国のポルトガルが当時スペインに併合されて、独立を失い、植民地防衛に手が打てなかったためである。これらの対外的な困難が解決されると共に、対内的開拓が進んだ。この開拓に大いに活躍したのはサン・パウロを中心とした奥地探険隊バンデイラ (Bandeiras) である。ゴヤスやミナス・ジェライスの鉱山を発見したのも、ボルバ・ガート (Borba Gato) とバルトロメオ・ブエノ・ダ・シルヴァ (Bartolomeu Bueno da Silva) というバンデイラの人達の功績である。

### 叛乱と独立

総督制時代にはブラジル人の自由は非常に制限されており、政治、経済の全権はポルトガルから来た軍人、役人、商人に握られていた。これに反抗して、ブラジル人はしばしば叛乱を起こした。その中で最も重大なものはミナスの叛乱である (1789—1792)。その首領はジョアキン・ジョゼ・ダ・シルヴァ・シャビエル (Joaquim José da Silva Xavier) と言い、通称チラデンテスと言った。彼は1789年に今日のミナス州オーロ・プレト市 (当時はヴィラリッカ) で旗上げしようとしたが、裏切りのため全部逮捕され、チラデンテスを除く共謀者はすべて流刑となり、チラデンテスは1792年4月21日にリオ市で絞首刑となった。この行動はミナス人の不屈の意気を示したものとして今日に伝えられている。こうするうちに、ヨーロッパの情勢はナポレオンのために変化を生じ、ポルトガルもフランス軍に占領されてしまったので、当時の摂政ドン・ジョアンは宮廷をリスボンからリオに移転することとし、英国海軍の援助で大西洋を渡り1808年11月24日にブラジルに到着した。この時からブラジルはポルトガルとの連合王国という地位に上げられ、植民地制は終了した。

ドン・ジョアンが1821年に帰国したのち、その子のドン・ペドロは摂政王子としてブラジルを治めたが、ポルトガルとブラジルとの関係が悪化した際にブラジル人側に立ち独立を宣言した (1822. 9. 7)。

この宣言は「イピランガの叫び」grito de Ipiranga として記念されている。

## 帝制時代

ドン・ペドロ王子は、1822年12月1日にリオ市で戴冠式を行ない、ブラジル帝国の初代皇帝となった。ブラジルが独立時に共和国とならずに帝国となり、比較的穩健な保守的政権を保ったことは、その後の政治的安定にかなり有益であった。これは他のラテンアメリカ諸国と比較して見ると判る事実である。1824年にブラジルの最初の憲法が帝制憲法として生れた。

1834年の追加法 (Acto adicional) によって、各州 (當時は Provincia と呼んだ) に自治権が認められた。1880年には普通選挙制度が布かれ、直接選挙となって民主的國家の形態をほぼ整えることになった。

ドン・ペドロ一世は1831年に退位し、4月13日に本国に帰った。その子のドン・ペドロ二世は幼年であったので、1831年から1840年までブラジル人政治家による摂政政治が行なわれた。

1840年にドン・ペドロ二世は若くして即位し、1889年まで在位してブラジルの政治を安定させた。国内問題で最も重大な事件は、1888年の奴隸解放である。奴隸解放に尽した政治家はジョアキン・ナブコ (Joaquim Nabuco)、ジョゼ・ド・パトロシーニオ (José do Patrocinio) 等である。

対外的にはラブラタ戦争 (1851—1865, ウルグアイ独立戦に介入) パラグアイ戦争 (1864—1870) を行なった。これらの戦争と奴隸解放はブラジル帝国の經濟にかなり重圧を与え、ドン・ペドロ二世の失脚の原因となった。

## 共和国発足

帝制時代の末期から共和思想が盛んになり、これを鼓吹したのはベンジャミン・コンスタント (Benjamim Constant) である。彼のすすめで軍の最高指揮官であったデオドロ・ダ・フォンセカ元帥はクーデターを起し、ドン・ペドロ二世に退位と国外退去を求めた。ドン・ペドロ二世は止むなく承認してポルトガルに帰り、ここに1889年11月15日共和国宣言がなされた。

1889年から1891年までは共和国憲法が制定されていないので、デオドロ元帥の臨時政府である。共和国憲法 (第1次) は1891年2月24日に發布された。現行憲法は第5次 (1945年) に当たるが、第1次のもとの精神においては変っていない

い。即ち、連邦主義、三権分立主義、民主主義を中心としたものである。

### 歴代の大統領

#### 1. Manoel Deodro da Fonseca

在任期間 自1889年11月15日・至1891年11月23日(約2カ年)

アメリカ合衆国憲法を模し3権分立の新憲法を制定したが各州の勢力はアメリカ以上に強大であった。

臨時政府を樹立した Fonseca 元帥は、新憲法に基づいて初代の大統領に就任した。

しかし国民はこれに満足せず、革命騒ぎとなり、副大統領 Floriano Peixoto 元帥が後をついだ。

#### 2. Floriano Peixoto

在任期間 自1891年11月23日・至1894年11月15日(約3カ年)

連邦初期の不平不満はいぜん国内に絶えなかった。

#### 3. Prudente José de Morais Barros

在任期間 自1894年11月15日・至1896年11月10日

軍人政治に飽いた国民は初の文人大統領を迎え、伯国の政治基盤が培われた。

#### 4. Manoel Vitorino Pereira

在任期間 自1896年11月10日・至1897年3月4日

Morais 大統領病気のため副大統領が代行

#### 5. Prudente José de Morais Barros

在任期間 自1897年3月5日・至1898年11月15日

(前掲)

在任中バイア州にカヌードスの反乱があった。

#### 6. Manoel Ferraz de Campos Salles

在任期間 自1898年11月15日・至1900年10月17日

財政建直しに尽力し、対外信用を高めた。

#### 7. Francisco de Assis Rosa e Silva

在任期間 自1900年10月17日・至1900年11月8日

大統領外遊のため副大統領が代行

8. Manoel Ferraz de Campos Salles

在任期間 自1900年11月8日・至1902年11月15日

(前掲)

9. Francisco de Paula Rodrigues Alves

在任期間 自1902年11月15日・至1906年11月15日

経済興隆につとめ、国境問題の解決に努力した。

10. Afonso Augusto Moreira Pena

在任期間 自1906年11月15日・至1909年6月14日(約2年7ヵ月)

通貨の安定化に力を注ぎ、前政府の施策を進めた。

日本との移民契約が成立し1908年笠戸丸がサントスへ入港。

任期中に病没。副大統領 Nilo Peçanha

11. Nilo Peçanha

在任期間 自1909年6月14日・至1910年11月15日(約1年5ヵ月)

この時に解決をみたペルー・ウルグアイの国境問題をもって伯国の四囲は全部決定された。

12. Hermes Rodrigues da Fonseca

在任期間 自1910年11月15日・至1914年11月15日(4ヵ年)

Hermes 元帥は組閣直後、海軍の叛乱に逢い、武断政治に逆転し、憲法を無視した。財政的にも困難を生じつつ第1次世界大戦のぼっ発に遭遇。

13. Wenceslau Braz Pereira Gomes

在任期間 自1914年11月15日・至1918年11月15日(4ヵ年)

大戦中の国内外の経済的苦境を処理し、国内産業の興隆に努めた。伯国の1汽船がドイツ軍艦に撃沈されたのでドイツに対して宣戦布告した。

14. Urbano Santos da Costa Araújo

在任期間 自1917年9月8日・至10月9日

大統領外国旅行のため副大統領が代行

## 15. Francisco de Paula Rodrigues Alves

在任期間 第5代大統領で、再選されたが、大統領の職務は副大統領Delfim Morreira に。

## 16. Delfim Moreira da Costa Ribeiro

在任期間 自1918年11月15日・至1919年7月28日(約8ヵ月)

## 17. Epitacio da Silva Pessoa

在任期間 自1919年7月28日・至1922年11月15日(約3年4ヵ月)

表土流失防止と旱害対策に尽したが、引きつづく財政の逼迫を救うことは出来なかった。

## 18. Arthur da Silva Bernardes

在任期間 自1922年11月15日・至1926年11月15日(4ヵ年)

緊縮政策を実施して改革に成功。サンパウロに軍による革命が勃発したが鎮圧に成功した。

## 19. Washington Luiz Perreira de Souza

在任期間 自1926年11月15日・至1930年10月24日(約4ヵ年)

Nove de Julho 革命の後をうけて共和党から当選したが、世界大戦の余波は伯国をおそい、為替暴落、生産低下、経済恐慌に遭遇、金貨制度を実施して財政安定化に成功した。

10月革命によって退陣。

## 20. Julio Prestes de Albuquerque

就任宣言を行なったが30年革命で執政せず。

## 21. Augusto Tasso Fragoso

在任期間 自1930年10月24日・至1930年11月3日(10日)

1929年 Washington 在任中、次期大統領の選挙に際し、政府はサン・パウロ知事(共和党) Julio Prestes を候補にしたが、従来、ミナスとサン・パウロは交互に大統領を送って来た例に鑑み、サン・パウロの連続に反対する諸州は承服せず、他面、大戦による不況は国内を不安状態に陥し入れていた時でもあり、ミナス、リオ・グランデ・ド・スール、パライーバ等の各州のリ

ーダーは反政府の Aliança Liberal (自由連合) を結び、 Getulio Vargas を候補として激戦を展開した。

1930年5月に行なわれた選挙は、激しい混乱の中で Prestes の当選を宣した。政府の干渉と不正ありとして自由連合は Vargas 指揮のもと10月20日に革命を起した。この革命軍は首府を陥し入れ Luiz に退任を迫った。この期間臨時に大統領の職務を採った。

## 22. Getulio Dorneles Vargas

在任期間 自1930年11月3日・至1945年10月29日 (約15カ年)

彼は武力革命によって政権を掌握し憲法を無視して議会を解散、国家社会主義による革新政治に乗り出した。32年護憲を叫ぶ数派と軍の1部による反乱がサンパウロに起ったが鎮圧。しかし憲法制度会議は招集され新しく憲法が制定された。この憲法に基づいて Vargas は正式に大統領に選ばれた。国内はいぜん政情不安を極め、統一党、共和党、国粹党などはつねに衝突して流血の惨を繰返した。1935年共産党の騒起計画が露見したので、Vargas は戒厳令を布き多数の党員を逮捕又は国外追放を行なった。1937年11月選挙を廃止し、独裁制を確立した。1941年太平洋戦争が拡大すると親独的な彼も親米に踏切って枢軸側に宣戦を布告。連合軍の勝利が決定的となるや、反 Vargas 勢力は独裁制打倒の動きを開始した。リオの第1軍団は Dutra, Gomes, Monteiro 将軍らとの默契裡に行動を開始して、15年にわたる Vargas 政権を崩壊させた。

## 23. José Linhares

在任期間 自1945年10月29日・至1946年1月31日 (約3カ月)

Vargas 大統領時の副大統領

1945年12月 Dutra が次期大統領に選ばれ現行憲法の制定を行なう。

## 24. Eurico Gaspar Dutra

在任期間 自1946年1月31日・至1951年1月31日 (5カ年)

急速に進むインフレの責任は前政府にありとし、共産党の弾圧を行なった。国民生活は依然苦境におかれた。Vargas は勿論これに対して反撃に出たが、

サンパウロの Adhemar を PSP 組織して Dutra の反対党に廻り、Vargas の労働党と結んで人民派を構成して、社会民主党、民主連合 (UDN)、共和党の3派は保守派として対立した。

次期大統領選に人民派は Vargas を、保守派は Gomez と Cristiano の2人を立てたが、1949年10月の選挙で Vargas が当選した。

## 25. Getulio Dorneles Vargas

在任期間 自1951年1月31日・至1954年8月24日 (約3年7ヵ月)

インフレ克服のために、米輸出入銀行から3億ドル借款、自由為替法の制定、新貿易政策の採択等を行なったが、情勢は改たまらなかった。内閣の大改造や最低賃金制の実施など思い切った幾つかの措置を採ったので、現役軍部の反感を買い、反政府の1新聞社長が大統領の護衛将校に狙撃されたのが原因となって、空・海軍の将校団から辞任勧告書を出され、万策尽き官邸で自殺した。

## 26. João Café Filho

在任期間 自1954年8月24日・至1955年11月9日 (約1年3ヵ月)

Vargas (2回目) 時の副大統領

未曾有の政治的混迷時に就任、インフレ抑止策、政治経済政策の確立に専念中、次期大統領選挙が行なわれることになった。10月、Juscelino Kubitschek が当選したが、反対派は反民主的な Getulismo の復活だとして、クーデターにより当選無効の挙に出ようとした。この時 Café Filho 大統領は病気のため下院議長に職を譲った。

## 27. Carlos Coimbra da Luz

在任期間 自1955年11月9日・至1955年11月11日 (2日)

臨時大統領に就任したが、ロット陸相ら憲法擁護派は Kubitschek の就任に反対する動きありとして、11月11日軍は「激起宣言」を全国に伝えるや電撃的に行動を起して無血革命に成功。これにより Luz 大統領は追われた。

## 28. Nereu de Oliveira Ramos

在任期間 自1955年11月11日・至1956年1月31日 (80日)

Kubitschek 就任までの間、  
上院議長より臨時大統領に就  
任。

### 29. Juscelino Kubitschek de Oliveira

在任期間 自1956年1月31  
日・至1961年1月30日(5年)

“50年の遅れを5年で取り戻  
す”をスローガンに工業化と  
内陸開発に重点をおく経済開  
発5ヶ年計画「Programa  
de Metas」の実施と新首都  
Brasilia(ブラジリア)の建設  
を重要政策とし、軍部および  
与党 PSD, PTB を掌握して  
満5年ブラジルの近代を図っ  
た。ために国連はじめラテン  
アメリカ諸国に声価を高め、

リオからブラジリアへ遷都を行ない、工業化の実績またけん落であったが、  
反面財政赤字の膨脹によりインフレーションを招いた。

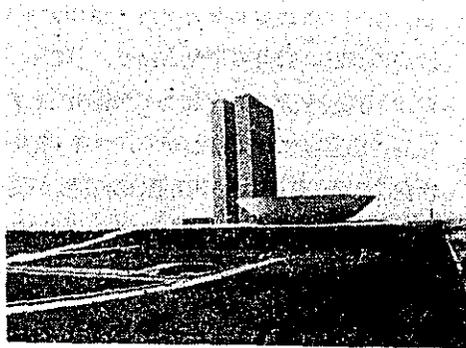
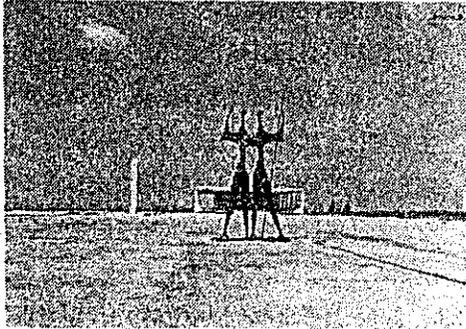
### 30. Ranieri Mazzilli

大統領外遊のため下院議長が代行(6日間)

### 31. Janio de Silva Quadros

自1961年1月31日・至1961年8月25日(約7月)

インフレと腐敗政治の掃蕩を旗印として国民的支持を獲得し、30年来政権の  
坐にあった与党候補を大きく敗って当選。腐正・緊縮政策を推進しようとし  
たが議会勢力官僚らの抵抗にあつて、僅か半歳の施政で自から 辞職退陣し  
た。



ブラジリア建設に対する評価はさまざま  
である。大統領官邸と国会議事堂の偉容

## 32. Ranieri Mazzilli

在任期間 自1961年8月26日・至同年9月6日(16日)

クアドロス大統領突然の辞職、このとき副大統領ゴラルは中共訪問中、軍上層部は左傾の副大統領の昇格に反対、止むなく彼は出身地に帰国して第3軍を掌握したのであわや戦火を交じえる危機に直面した。議会は新たに首相をおく「議院内閣制」を定めて時局を收拾。この間下議長のマジリが臨時大統領となる。

## 33. João Belchior Marques Goulart

在任期間 自1961年9月7日・至1964年3月31日(約2年6ヵ月)

政局の混乱は紙幣の増発となり、首相を行政首班とする議院内閣制は大統領の政治責任を分散し、加えて労働党(PTB)の委員長が大統領となったので左翼労働運動に拍車がかかり、スト・賃上げ・物価高騰・赤字財政とインフレは激化した。首相および閣僚はいく度が更迭したが政情安定を欠き、国民投票により63年1月2日再び従来の大統領制に復した。左翼ナショナリズムによる外資制限、土地開放、下級兵士処遇問題、共産主義者、労組・農民運動の活発化など左傾の動きが激しさを加えた、ゴラルやその弟ブリゾーラの政敵ラセルダはサン・パウロ、ミナス、グワナバラ等の知事連合を結び、ミナス駐屯軍はマガリャンエス知事とともに革命行動を起こし、国軍主力も大統領と対立するに到り、ついにゴラル大統領は国外に逃亡した(3月革命)。

## 34. Ranieri Mazzilli

在任期間 自1964年4月2日・至同年4月14日(13日)

憲法の規定により30日以内に新大統領を選任するため臨時大統領の就任。陸海空の3相は直ちに軍政令を發布して、共産主義の一掃、現行憲法(一部改正)の維持、大統領、副大統領の即時選出、大統領提出議案の30日以内の議決等を布告した。

## 35. Humberto de Alencar Castello Branco

在任期間 自1964年4月15日至現在

## Ⅱ 国のしくみ

### 1. ブラジル国憲法

ブラジル国家の成り立ちは上述の歴史が示すとおりであるが、現在のブラジルの国のしくみを知るためには憲法をみるのが至便である。

ブラジル憲法は、現行の憲法に至るまで5回、すなわち1824年（皇帝草案の憲法）、1891年（初代大統領による共和国憲法）、1934年（バルガス大統領による護憲革命によるもの）、1937年（バルガスの独裁制）、1946年（現行憲法）に改正されて今日に至っている。なお1961年9月副大統領ゴラルの昇格に関し追加修正規定が加えられたが、64年の革命により、その部分は排除された。そしてブランコ現革命政権の発足に先立って現行憲法の効力は軍政令により一時停止されたがその後復元している。

国のしくみをはじめすべての制度行為はこの憲法の規定にもとづくものであり、ブラジルに居住するすべての人の権利義務もこれによらなければならないから、ひと通り心得ておく必要がある。

#### 現行憲法の内容

次に現行憲法、法典の章節を列举するが、より詳しくは別章「ブラジル憲法のあらまし」を参照されたい。

#### 第一章 連邦組織

##### 第一節 総則（1条—36条）

##### 第二節 立法権（37条—77条）

- 第三節 行政権 (78条—93条)
- 第四節 司法権 (94条—123条)
- 第二章 州の司法 (124条)
- 第三章 検察 (125条—128条)
- 第四章 権利宣言
  - 第一節 国籍及び市民権 (129条—140条)
  - 第二節 個人の権利及び保障 (141条—144条)
- 第五章 経済及び社会秩序 (145条—162条)
- 第六章 家族、教育及び文化
  - 第一節 家族 (163条—165条)
  - 第二節 教育及び文化 (166条—175条)
- 第七章 兵力 (176条—183条)
- 第八章 公務員 (184条—194条)
- 第九章 一般規定 (195条—218条)

ブラジルは連邦制の共和国で、国の元首である大統領が行政権を掌握するアメリカ流の民主主義をとり、貴族は存在せず、また共産党並びに積極的な参戦を否定している。

## 2. 国旗、国章、国歌

### 国 章

金色の射線と緑のコーヒーとタバコの枝に囲まれて、五稜の大星が剣に支えられ、星の輪廓は白と赤、五稜の先端は緑と黄、星の内部に藍の球があり、その中央に南十字星座を示す5個の黄の星があり、周囲にはブラジルの各自治州を示す22個の星があり、大星の下剣の柄の上に藍色のリボンがかかり、それに共和政体宣言日「1889年11月15日、ブラジル合州国」と記されている。

### ブラジル国歌

歌詞 オゾーリオ・ドゥーケ・エストラーダ

(Osório Duque Estrada)

作曲 フランシスコ・マヌエル・ダ・シルヴァ

(Francisco Manuel da Silva)

(全部で十二節あるが、初めの三節のみ記す)

Quviram do Ipiranga as margens plácidas  
De um povo heróico o brado retumbante  
E o sol da Liberdade, em raios fúlgidos,  
Brilhou no céu da patria nesse instante.

Se o penhor dessa igualdade  
Conseguimos conquistar com braço forte,  
Em teu seio, ó Liberdade,  
Desafia o nosso peito a própria morte!

Ó Pátria amada,  
Idolatrada,  
Salve! Salve!

(訳) 静けきイピランガの川辺に  
気高き民の雄叫びは聞ゆ  
折しも自由の太陽は燦々と  
祖国の空に輝きわたれり。

かの平等の理想をば  
強き腕もて克ち得んため  
おお、自由よ、汝の胸に  
われらが生命を託さん。

おお、熱愛する  
わが祖国よ  
栄あれ。

〈佐野泰彦訳〉

### 3. 国家の構造

1946年9月に発布された現在のブラジル合州共和国の憲法は(1937年11月パルガス政権が発布した国家主義的中央集権的な憲法を排して、自由主義、共和制、州の自治権を民を骨子とする民主憲法で、1934年7月発布の憲法に近いものに戻っている)、州の自治を大巾に認め、州の下部の組織である郡の自治をも認めている。

#### 連邦の構成

現行憲法は連邦の構成単位として、Estado(州、もしくは自治州)、Distrito Federal(連邦府、もしくは連邦区)、Território(連邦直轄州、もしくは準州)を規定している。それらの名称は以下示すとおりである。

Estado (州—自治州)	州の首都
Acre	Rio Branco
Amazonas	Manaus
Pará	Belém
Maranhão	São Luis
Piauí	Telesina
Ceará	Fortaleza
Rio Grande do Norte	Natal
Paraíba	João Pessoa
Pernambuco	Recife
Alagoas	Maceió
Sergípe	Aracaju
Bahia	Salvador
Minas Gerais	Belo Horizonte
Espirito Santo	Vitoria
Rio de Janeiro	Niterói
Guanabará	Rio de Janeiro

São Paulo	São Paulo
Paraná	Curitiba
Santa Catarina	Florianópolis
Rio Grande do Sul	Porto Alegre
Mato Grosso	Cuiabá
Goiás	Goiania

Destrito Federal (連邦府又は連邦区)

Brasília

Territorio (連邦直轄州又は準州)

Rondonia	porto Velho
Rio Branco	Boa Vista
Amapá	Macapá

Ilha (島)

Fernado de Noronha

ブラジル連邦の構成単位は上記のとおり、Estado—22州、Destrito Federal—1府、Territorio—3州、Ilha—1地区の計27単位である。

なお、連邦府は1960年4月までリオ・デ・ジャネイロ市とその郊外であったが、ブラジリアに遷都した。そしてリオの連邦府はそのまま自治州 (Estado) を形成し、Guanabará 州となった。

州の下部機構

Estado 州は幾つかの Município (郡) に分かれており、郡に自治権が認められている。その権限等については別項でふれるが、各郡には (郡により一様ではないが)、市や町、村、部落などがある。

郡と市の関係——普通の訳語としては、Cidade は市 [Vila は町または村、

Aldeia は村または部落, Matrimônia や Povoado は部落など]と訳されている。しかし、例えば“サンパウロ市長”などという語を見うけるが、これは市長ではなく「郡長」である。つまり Prefeito do Município de São Paulo = サンパウロ郡長である。Cidade (市) には市長も市議会もブラジルの制度にはない。この例の場合、サンパウロ郡の中にサンパウロ市があり、その他の町や村があって、これらは行政上の自治単位である郡の下郡機構である。

このことに関連してブラジルでは、①市や町の内部の丁名を街 (Avenida), 路 (Rua) つまり街路の名、そして地番となっている。②市や町のはずれが郊外に発展すれば勿論その市の延長で同じ市名であることに変わりはないが、③同じ郡内の市と離れたところに人口の多い町が発生すると郡議会の決定で、別の市名をつける、④同様に、この市がさらに発展すると、州議会の決定で郡が新たに独立する。⑤従って1つの郡に市があって、そこに郡庁、郡議会がおかれ、その他の Vila や Aldeia, Matrimônia などには警察署、分署、駐在所のようなものが配置される。⑥ Cidade と呼ばれるためには相当数の人家、人口がなければならぬが、これも州により環境的にきまるものであり、辺鄙な地方でない人口1,000人の Cidade もあり、そこに郡庁が存在する例も少なくない。⑦なお、幾つかの郡にまたがって Comarca という司法区がおかれている州もある。

なお、全国の郡の名および数については労働賃金区の項を参照されたい。

#### 主要都市とその人口

1960年9月1日に実施された人口調査にもとづく人口10万以上の都市を掲げると次のとおり (IBGE発行, 1962年ブラジル統計年鑑より)。

郡 市	所在する州	人 口
São Paulo	São Paulo	3,825,351
Rio de Janeiro	Guanabará	3,307,163
Recife	Pernambuco	797,234
Belo Horizonte	Minas Gerais	693,328
Salvador	Bahia	655,735
Pôrto Alegre	Rio Grande de Sul	641,173
Fortaleza	Ceará	514,818

Belém	Pará	402, 170
Curitiba	Paraná	361, 309
Nová Iguaçu	Rio de Janeiro	359, 364
Campos	"	292, 292
Santos	São Paulo	265, 735
São Gonçalo	Rio de Janeiro	247, 754
Niterói	"	245, 467
Santo André	São Paulo	245, 147
Duque de Caxias	Rio de Janeiro	243, 619
Campinas	São Paulo	219, 303
Campina Grande	Paraíba	207, 445
São João de Meriti	Rio de Janeiro	191, 734
Juiz de Fora	Minas Gerais	182, 481
Pelotas	Rio Grande do Sul	178, 265
Manaus	Amazonas	175, 343
Maceió	Alagoas	170, 134
Natal	Rio Grande do Norte	162, 537
São Luiz	Maranhão	159, 628
João Pessoa	Paraíba	155, 117
Colatina	Espirito Santo	154, 966
Goiânia	Goiás	153, 505
Petrópolis	Rio de Janeiro	150, 300
Ribeirão Prêto	São Paulo	147, 361
Teresina	Piauí	144, 799
Vitória da Conquista	Bahia	143, 486
Feira de Santana	"	141, 757
Brasilia	Distrito Federal	141, 742
Campo Mourão	Paraná	141, 157
Sorocaba	São Paulo	138, 323
Cruzeiro Oeste	Paraná	135, 816
Londrina	"	134, 821
Monte Claros	Minas Gerais	132, 502
Caxias	Maranhão	129, 271
Teófilo Otoni	Minas Gerais	129, 111
Governador Valadares	"	122, 209
Lajes	Santa Catarina	121, 027
Santa Maria	Rio Grande do Sul	120, 975
Jundiá	São Paulo	118, 874
Itabuna	Bahia	118, 417

Piracicaba	São Paulo	116, 190
Aracajú	Sergipe	115, 713
São Caetano do Sul	São Paulo	114, 421
Garanhuns	Pernambuco	113, 392
Jequié	Bahia	112, 940
Olinda	Pernambuco	109, 953
Bacabal	Maranhão	108, 509
Caratinga	Minas Gerais	107, 654
Caruaru	Pernambuco	106, 231
Jaboatão	"	105, 261
Ilhéus	Bahia	104, 429
Canoas	Rio Grande do Sul	104, 257
Maringá	Paraná	104, 131
Caxias do Sul	Rio Grande do Sul	102, 702
Guarulhos	São Paulo	101, 273
Rio Grande	Rio Grande do Sul	100, 378
Santo Amaro	Bahia	100, 221
Mogi das Cruzes	São Paulo	100, 194
Florianópolis	Santa Catarina	98, 520
Volta Redonda	Rio de Janeiro	88, 740
Vitória	Espírito Santo	85, 242

(以下省略)

## Cidade (市又は町) の増加 1940年と1960年との比較

住 民	市 の 数	住 民 計	市 の 数	住 民 の 計
500人 以下	64	23, 194人	93	33, 698人
501— 1, 000	221	170, 789	370	287, 230
1, 000— 2, 000	500	721, 007	704	1, 033, 664
2, 001— 5, 000	481	1, 480, 266	867	2, 719, 088
5, 001—10, 000	167	1, 151, 488	358	2, 489, 955
10, 001—20, 000	87	1, 167, 121	199	2, 780, 212
20, 001以 上	54	6, 177, 033	172	19, 195, 516
	1, 574	10, 890, 893	2, 763	28, 539, 363

#### 4. 国家の組織

##### 立法権 (議会)

国の立法権は連邦議会 (国会) によって行使される。

##### 連邦議会 (Congresso Nacional)

ブラジル連邦議会は2院制で、上院 (Senado Federal) と下院 (Câmara dos Deputados) で構成される。

上院および下院は、各州連・邦府・連邦直轄州から選出される上院議員および下院議員と各事務局から構成される。

下院議員の被選挙資格は、公民権を行使しうる21才以上のブラジル人。上院議員は同じく35才以上のブラジル人である。

下院および上院の選挙は全国一斉に行なわれ、下院議員は政党比例代表制、上院議員は多数得票制で選出される。

下院議員の定数は、州および連邦府は最低各7名、直轄州は1名。住民15万人につき1名の割で20名、20名を越えるときは25万人につき1名以内の割で増すことを法律で定める。

上院議員の定数は州および連邦府で各3名選出する。一度到達した各議員の定数は、例えば住民が少くなるようなことがあっても定数は減少されない。

議員の任期は下院4年。上院は8年で、4年ごとに3分の1および3分の2が交互に改選される。

議員は、國務大臣・連邦執政官・州の長官 (知事ではない) 以外の官職についたときは議員の資格を失う。

連邦議会は連邦府におかれ、会期は毎年3月15日から12月15日までとし、大統領または各院の3分の1以上の発議で臨時議会が召集される。

議会内の各種委員会の構成は政党の議席数に比例して行なわれる。

副大統領は上院議長となる。

##### 法案の成立と大統領の拒否権

両院を通過した法律案の全部または一部につき大統領が国の利益に反すると

認めたときは、裁可のため送付を受けたときから10日以内に拒否の理由を付して上院議長に通告する。10日を経ても大統領が沈黙するときは裁可されたものとする。拒否が通告を受けた上院議長は両院協議会を開いて審議し、各議院3分の2の出席で可決されたときは、公布するため大統領に回付する。これを48時間以内に大統領が公布しないときは上院議長が公布する。上院議長が公布しないときは上院副議長が公布する。

#### 州、郡の立法権（議会）

憲法は州、郡の自治権を大中に認めており、州、郡の各立法権を行使するそれぞれの議会についても州の基本法（憲法の諸原則に調和させるものではあるが）で独自の立場から定めている。

州および郡の議会は各院制で、州議会を Assembleia Legislativa といい、州議会議員を Deputado Estadual という。任期は4年である。

郡議会は Câmara Municipal といい、郡議会議員は Vereador という。任期は同じく4年である。

#### 行政権（政府）

ブラジル連邦の行政権は大統領が行使する。

大統領が故障のときは副大統領が代理し、空位となったときは継承する。大統領空位となった場合の代理順位は副大統領、下院議長、上院副議長、最高裁判所長官である。大統領と副大統領が空位となったときは60日以内に選挙する。空位が大統領任期の後半であれば、30日以内に国会で議員によって行なわれる。

大統領および副大統領は、現大統領の任期満了の120日前に全国一斉の国民投票で選挙される。任期はともに5年である。

#### 大統領の権限と任務

①国務大臣、各種審議会委員、連邦官公吏等の任免、②法律の裁可、拒否、公布およびその施行のための法令の発布、③国会の承認を伴う外国との条約、協定の締結、宣戦布告、講和、④国軍最高司令官の任免および国軍の統帥、勅員令、戒厳令の発布と解除、⑤国会の召集、60日以内に予算案を下院に提出、

前年度の収支決算を国会に提出、⑥国会開会に教書をもって内外の実情を報告し、必要な措置に言及する。

次の事項に違反すると大統領の背任罪となる。①連邦制の存続、②立法権、司法権並びに州の憲法上の権利の自由な行使、③個人および団体の公民権、④国内の治安維持、⑤行政上の公正、公金の合法的保管および支出、⑥裁判所判決の履行。

国務大臣は国事行為につき大統領と連署し、大統領の命によって行なった事項であっても連署した事項に関して責任を負うことになっている。

### 政府機関

現在、連邦政府には次の機関が設置されている。大統領府、内務法務省、大蔵省、外務省、陸軍省、海軍省、航空省（空軍と民空）、農務省、商工省、労働省、交通通信省、公共土木省、教育保健省、鉱山エネルギー省、経済企画省および国家安全会議、国家経済審議会はじめ幾つかの審議会、並びに東北地方やアマゾン地方の開発庁などである（これらの活動については連邦予算の項参照）。

なお、大統領および各省大臣は特に国会から求められない限り出席しないことになっている。

### 州と郡の統治

州および郡の行政権は、それぞれ一般選挙によって選ばれた知事 (Governador) および (Prefeito) 郡長によって行使される。州によっては副知事をおくところもある。

連邦直轄州の知事および連邦府の長は大統領によって任命されて就任し、それぞれの行政権を執行する。

州および郡に対して連邦は、立法権の場合と同様に、自活権を尊重することに定められているので、各州、郡は独自の立場から行政上の必要にもとづいて行政機関を定める。従って州や郡はその大小によって機構や職制を異にし、必ずしも一様でない。

州の多くは知事の下に部 (Departamento) をおき、その長を Secretário をおく。この Secretário を長官と訳している——州農務長官、州財務長官の類

である。これら長官は知事によって任免される。

郡 (Município) は、日本の市町村に当るもので公選による郡長のもとに、日本の市役所から村役場までの差異があり、それにもとづく機関がおかれている。なお大きな郡は Distrito (区、通称 Bairro) に分けられ、郡長任免の区長がおかれることもある。

### 司 法 権 (裁判所)

司法権は次の機関で行使する。最高裁判所、連邦上訴裁判所、軍事裁判所、選挙裁判所、労働裁判所。

最高裁判所は連邦府におかれて全国を管轄し、11名の判事で構成される。連邦上訴裁判所は9名の判事で構成され、6名は裁判所より、残り3名は弁護士中より選任される。

軍事裁判所は軍法によって定められる。

選挙裁判所は、高等選挙裁判所、地方選挙裁判所、選挙評定所、選挙判事に分かれる。高等選挙裁判所の長は最高裁判所の判事より選任される。地方選挙裁判所は各州の首都および連邦府におかれ、連邦上訴裁判所の判事より3名、司法区判事より2名、市民より2名が選任される。選挙判事および選挙裁判所の権限は、政党の登録取消、法律で定めていない場合の選挙区割、選挙登録、選挙期日・方法、当選証の発給、資格審査、選挙犯罪、政党会計などである。

労働裁判所は高等労働裁判所、地方労働裁判所、労働争議調停所、労働判事に分かれる。設置等は選挙裁判所に同じ。

州の司法権は連邦裁判所に関する原則のもとに独立して行使させる。構成および裁判官の身分、各級裁判所の権限など連邦に準じる制度となっている。

郡または幾つかの郡に Comarca という司法区がある。

検察は連邦、州の各裁判所にそれぞれの級の検察機関が設置されている。

### 政 党

ブラジルには現在、約20くらいの政党がある。同国では政党を結成するためには、国民の1定数(約10万人位か)の賛成署名を得て、選挙裁判所に認可申請をする。裁判所が認可を与えた場合、公営として登録される。ブラジルでは日

本と異って、政党の公認がなければ立候補することは出来ない。

ブラジルの主な政党次の通り

U. D. N. (国民民主連合)

União Democrática Nacional

P. S. D. (民主社会党)

Partido Social Democrático

P. T. B. (ブラジル労働党)

Partido Trabalhista Brasileiro

P. T. N. (国民労働党)

Partido Trabalhista Nacional

P. S. B. (ブラジル社会党)

Partido Socialista Brasileiro

P. R. P. (共和党)

Partido Republicano

P. S. P. (進歩社会党)

Partido Social Progressista

P. R. P. (人民代表党)

Partido de Representação Popular

P. D. C. (クリスト民主党)

Partido Democrata Cristão

P. S. T. (労働社会党)

Partido Social Trabalhista

P. L. (開放党)

Partido Liberal

更に幾つかの党を挙げることができるが、ブラジル連邦および各州に勢力をもっているのは、上記のうち UDN, PSD, PTB, PDC など数党である。そして UDN は Bahia 州に有勢、PSD は Minas Gerais, Rio de Janeiro, Bahia などの諸州に有勢、PTB, PSD は Rio Grande do Sul に有力、PSP

は São Paulo 州で圧倒的に強いといわれている。なお、最近是小党統合の動きがでている。

## Ⅲ 資 源・産 業

### 1. 資源, 産業

#### 産業発達の経過

ブラジルの産業発達経過をふりかえてみると大体次のようである。

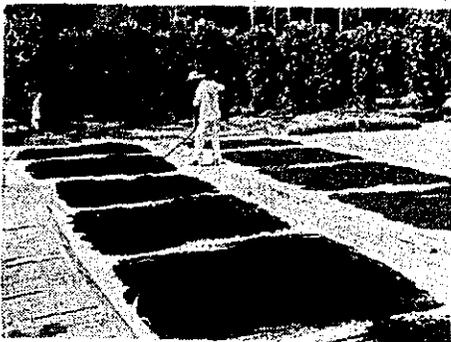
16世紀のはじめブラジルが発見された当時は、「ブラジル」という国名がこの国につけられたことでもわかるように、染料材としての Pau Brasil (ブラジル木) の採取に終始した。

その後17世紀になると、主として北東地方であるが、砂糖業の栽培が行なわれ、1,600年から1,700年に至る約100年間は砂糖景気の時代といわれ、一時はヨーロッパの全域に砂糖を供給した。しかしその後カリブ海各地に砂糖の生産が普及するにおよび17世紀後半から18世紀にかけて逐次下降した。

17世紀の後半、ミナス・ジェライス州オウロ・プレート付近はじめ各地で大量の金やダイヤモンドが発見され、1690年から1800年まで金と宝石のラッシュ時代がつづいた。

これに前後して棉花ブームの時代を現出するが、1880年の奴隷禁止と解放により逐次労働力の減少を招いてこのブームもだんだん下火となった。

1860年から1910年までの間ブラジルは天然ゴムの生産国として世界市場を独占したが、その後南洋方面にゴム栽培が抬頭し、世界供給量の88%を握っていたブラジルゴムはまたたくうちに5%に衰微した。第2次世界大戦で一時ゴム景気が再現したがこれも終戦と同時に終わった。



日本がアマゾンに造りだした新産業胡しょう(ビメンタ)の栽培

これらに比べて19世紀のはじめからブラジルの産業経済に大きな比重を占めたのはコーヒーである。1830年以来ブラジルのコーヒーは国の全輸出高の40%から70%に達して、世界市場を支配している。最近ではアフリカその他の新興国の生産がかなり急速に伸びているが、現在でもブラジルのコーヒーはブラジルにとっても世界市場においても重要商品の座を占めている。

ブラジルの経済は第2次世界大戦を契機として全体として大きく伸びた。人口も急激に増加したが各種産業の近代化が急速にすすみ、従来低かった国民所得をかなり大巾に更新した。しかし現在においてもブラジル産業の中心は農業であり、コーヒーはいざんとしてその大宗である。

### 農 業

ブラジルは熱帯、亜熱帯、温帯にまたがる気候の多様性と耕作可能な広大な沃野に恵まれている。しかしその大部分の土地は原始そのままの状態におかれ、一部の農耕地においても農法が遅れてお

り、日本などの農業先進国に比べると、あらゆる面でまだ劣っている。それは長い間の植民地的な奪略農耕によるものであるが、他面余裕地を持っていたからでもある。近年政府は農法の改良、機械化、有肥農業、農産加工、適作指導などに力を入れはじめている。

ブラジルの主な農産物は次のとおり（1961年度、金額単位100万クルセイロ）。

品名	金額(全伯)	主な産地 (1.2位の州名)
コーヒー	103,395	Paraná 47,890 São Paulo 34,568
とうもろこし	68,778	Rio Grande do Sul 14,734 Minas Gerais 13,297
米	67,393	São Paulo 13,766 Rio Grande do Sul 13,442
綿花	67,199	São Paulo 26,173 Parana 8,438
砂糖黍	43,481	São Paulo 16,324 Penambuco 6,953
マンジオカ	38,585	Rio Grande do Sul 6,121 Pernambuco 4,692
フェイジョン	37,417	Minas Gerais 8,574 Santa Catarina 5,991
バナナ	14,742	São Paulo 3,510 Minas Gerais 2,042
小豆	12,044	Rio Grande do Sul 8,743 Santa Catarina 1,778
ジャガイモ	11,339	São Paulo 4,149 Rio Grande do Sul 2,944
南京豆	11,187	São Paulo 10,768 Rio Grande do Sul 122
カカオ	9,990	Bahia 9,480 Espírito Santo 394
たばこ	9,067	Bahia 2,185 Rio Grande do Sul 2,016
オレンジ	8,233	São Paulo 2,190 Rio de Janeiro 1,383

さつまいも	6,195	Rio Grande do Sul Pernambuco	2,140 568
玉ねぎ	6,182	Rio Grande do Sul São Paulo	3,716 808
トマト	6,071	São Paulo Rio de Janeiro	3,429 895
サイガル麻 (agave americana)	4,553	Rio Grande do Norte Bahia	2,912 1,534
ぶどう	4,422	São Paulo Rio Grande do Sul	1,747 1,741
椰子	3,981	Bahia Alagoas	1,075 704
ひま	3,446	Bahia São Paulo	1,337 754
ジュート	2,118	Amazonas Pará	1,561 556
パイナップル	1,915	São Paulo Paraíba	437 381

注 マンジョカ=タピオカ芋, フェイジョン=豆

### 主要農産物増産指数

1955年=100

年	量	生産者平均価格	総 価 額
	(Laspeyres方式)	(Paasche方式)	(直接計算)
1952	84.3	58.0	48.9
53	85.4	71.9	61.4
54	89.4	86.4	77.2
1955	100.0	100.0	100.0
56	90.9	118.2	107.4
57	105.1	130.3	137.0
58	109.2	139.1	152.0
59	142.2	163.0	231.7
60	147.2	213.9	314.8
1961	153.7	256.6	394.4

1961年は推定数

1961年、農産物生産統計

100万cr \$

品名	単位	数量	金額
〔永年作物〕			
オリブ	トン	438	22
カカオ	トン	155,901	9,990
ココヒ	トン	4,457,409	103,396
紅茶	トン	2,816	253
りゅうぜつらん、サイザル(麻)	トン	170,000	4,553
桐油	トン	10,124	68
ぶどう	トン	450,230	4,422
オレシ	1,000 個	8,832,121	8,233
オレモン	トン	831,972	619
みかん	トン	1,604,683	1,080
アバカテ (梨の一種)	トン	329,790	856
バナナ	1,000 房	266,495	14,742
カシ	1,000 個	2,370,402	1,137
柿	トン	152,745	181
いちじく	トン	323,078	224
りんご	トン	101,411	202
マンゴー	トン	1,866,916	2,274
マロ	トン	122,897	135
梨	トン	300,473	226
桃	トン	549,657	529
カスターニヤ (菓)	トン	202	7
バニャ	1,000 個	418,027	3,982
くるみ	トン	234	25
こし	トン	4,687	810
〔短期作物〕			
米	トン	5,392	67,393
からす	トン	21	299
ライ	トン	17	319
大	トン	24	369
とうもろこ	トン	9,036	68,778
小麦	トン	545	12,044
そば	トン	56	1,228

フ					ト	ン	1,745	37,418
大	ニ	イ	ジ	ニ			272	3,514
さ	つ	ま	い	も			1,996	6,195
じ	ャ	が	い	も			1,080	11,340
マ	ン	ジ	オ	カ			18,407	38,586
綿				花			1,818	67,159
南		京		豆			581	11,187
砂		糖		黍			59,377	43,481
た		ば		こ			167	9,067
ジ				ト			48	2,118
皿	ユ		一				28	627
ひ				麻			234	3,446
バ	イ	ナ	ッ	ブ	1,000	個	183	1,915
アル	ファ	ル	ファ	(牧草)	ト	ン	214	1,727
に	ん	に		く			27	1,293
玉		ね		ぎ			191	6,183
西				瓜	1,000	個	80	1,576
メ		ロ		ソ			10	258
ト		マ		ト	ト	ン	388	6,072

## 資料—Serviço de Estatística da Produção

上記の農業諸表からも知られるように、コーヒーはブラジルの最重要農産物であり、国内至るところで生育するが、なかんづくサンパウロ、パラナ、ミナスの諸州が盛んである。サンパウロのコーヒーが世界市場を支配してきたことは有名であるが、最近パラナ州がサンパウロの生産をはるかに上回ってきている。しかしコーヒーが依然としてブラジルの最重要輸出品であることには変わりはない。

コーヒーにつく輸出農産物としては綿花、砂糖、バナナ、カカオ、大豆などが数えられる。

なお、自然的農産物として、ゴム (3,719—単位100万cr\$)、カルナウーバ蠟 (2,468)、マテ茶 (2)、グァラナーなどがある。

米、トマト、ジュート、こしょう、柿その他の果物類の生産は日本移住者に負うところが少ない。

肥料の輸入

(1961～62年度においてサントス港を通じて輸入された化学肥料次のとおり)

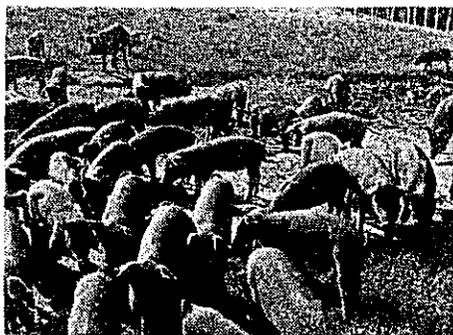
単位：トン

種 別	1961 年	1962 年
チリ硝石 (SÓDICO)	24,460.3	18,080.1
チリ硝石 (POTÁSSICO)	10,877.3	8,883.4
硫酸アンモニヤ	99,881.1	25,594.7
硝酸アンモニヤ	591.5	—
硫酸硝酸アンモニヤ	3,227.8	3,270.0
硝酸カルシウム	620.3	211.6
尿素	7,245.7	6,572.1
カルシウム・シアナミド	97.3	69.5
過 燐 酸 (普通)	15,639.6	4,156.6
過 燐 酸 (3倍)	22,392.9	25,594.7
トーマス燐肥	3,509.6	500.0
天然粗燐酸	41,778.0	80,648.3
燐酸二石灰	2,824.0	2,094.7
熔成燐肥	2,404.9	1,803.3
塩化カリ	86,027.9	80,582.3
硫酸カリ	3,840.9	4,676.1
硫酸カリ・マグネシウム	—	40.0
複 合 肥 料	553.8	419.0
合 計	326,043.0	323,196.4

林 業

ブラジルは世界屈指の植物資源をもつ国で、現在知られている世界の植物のうち、その4分の1に当る約5万種が生育している。

天然ゴムの原産地であることは前述のとおりであるが、自然木からの採取と



ブウブウ鼻をならすトシカツ君達

ともアマゾニアの各地では植林も行なわれており、コルクより軽い木、水に沈む木、香料木などいろいろ珍しいものもあり、高さ30m、径2mというまっ直ぐなパラナマ松（各地に生育しているが、パラナ州には2億本以上あるといわれている）、工業国が求めているラウリク酸を含むババサー椰子、レコードやフィルムなどの製造に用いられるカルナウーバ蠟木など特殊なものが少くない。

ユーカリなどの植林がかなり広範囲にすすめられているが、林業は今後期待される産業である。

## 畜産

ブラジルは世界有数の畜産国である。広大な原野には良質の牧草が繁り、自然の放牧地が随所にみられる。南部のリオグランデ・ド・スルは Gaucho（南米草原の牧畜）の別名があるように牧畜の盛んな州であり、ミナス・ジェライス州、マツト・グロッソ州、サン・パウロ州、パイア州などの諸州で家畜が大量に飼育されている。次表によれば約7,000万人のブラジル人が1億7,000万頭の家畜を飼育している。

1961年12月末調査による各州別の家畜数次のとおり（単位1,000頭）。

州別	牛	馬	ろば	らば	豚	羊	山羊
Rondonia	10	1	0	2	17	3	2
Acre	52	4	0	9	88	19	1
Amazonas	195	13	1	5	357	36	28
R. Branco	175	13	0	0	11	8	2
Pará	1,000	100	2	10	708	56	64
Amapá	52	4	0	0	22	1	1
Maranhã	1,575	271	151	129	2,540	241	585
Piauí	1,483	230	313	120	1,328	991	1,582

Ceará	1,582	310	380	210	1,011	1,203	1,363
R.G. do Norte	572	79	124	58	421	475	420
Paraíba	881	147	159	165	741	645	729
Pernambuco	1,217	275	204	214	858	684	1,410
Alagoas	683	119	40	80	492	312	287
Sergipe	639	76	22	45	231	215	150
Bahia	5,814	699	660	673	3,892	2,145	2,633
M. Gerais	16,470	1,480	63	751	8,594	359	416
E. Santo	738	139	2	148	1,149	28	101
R. de Janeiro	1,420	175	4	116	751	40	146
Guanabará	18	4	0	2	26	0	1
S. Paulo	10,624	918	10	689	5,086	124	448
Paraná	2,227	568	22	275	5,606	251	558
S. Catarina	1,744	431	4	76	4,570	210	167
R.G. do Sul	9,784	1,189	14	144	6,007	10,755	216
M. Grosso	10,686	480	11	65	1,840	283	77
Goiás	6,517	646	70	219	3,699	84	173
Brasília (D.F)	18	3	—	—	6	—	—
BRASIL	76,176	8,374	2,256	4,205	50,051	19,168	11,560

注—「らば」は、ろばと馬の合の子

上記の調査による牛乳の生産量は、全ブラジルで1961年度に50億7,000万リットル、金額で770億クルセイロを示し、羊毛は2万4,570トン、金額で64億2,400万クルセイロを示している。

養鶏も盛んで、同じ年の調査で、全ブラジルで1億8,500万羽、金額で310億クルセイロ。そして卵の生産は5億4,400万ダースを示している。

蜂蜜の生産は、同年全伯、7,749トン、3億9,500万クルセイロ。

養蚕はほとんどサンパウロ州に集中されているが、繭（まゆ）約1,500トン、約3億2,000万クルセイロとなっている。

### 水産

7,000キロ以上の海岸線と5万キロ以上の河川をもつブラジルの魚族資源は豊富とされている。しかし現在までのところ漁法は全くおくれしており、漁船漁具の補強も十分となしえない状況にある。

現在ブラジルには25万人の漁夫が登録され、その半数は東北および北部地方に住み、わずかに全伯漁獲高（1961年度）は120億クルセイロに過ぎず、えび、かめ、ワニ、その他である。

年間約300万ドル(主としてえび)の輸出を行ない、反対に鱈約200万ドル（1961年の如きは1,600万ドル）を輸入している。

最近は日本の水産会社の進出や技術協力並びに冷凍かん詰など漁業の近代化がすすめられている。

### 鉱 業

国土の大部分が未開発であるにも拘わらず、すでに各種の鉱物資源の存在が幾度かの実地調査によって確認されており、今後さらに調査を進めるならその量と種類はいよいよ拡大されるであろう。しかしながらこれら資源の開発はいぜんとして遅れており“眠れる宝庫”の状態である。この理由は、鉱物資源地の大部分が内奥地において交通、技術、資金、市場などに恵まれなかったことによる。

内奥地開発と工業化を目指す政府は最近、国の総合計画の一環として資源開発に力を入れており、その業績は逐年上昇しつつある。

### 鉱物採掘指数

1955年=100

年	量 (Laspeyres方式)	平均額 (Paasche方式)	総額 (直接計算)
1952	89.1	71.0	63.3
1953	94.0	88.3	83.4
1954	92.0	106.0	97.5
1955	100.0	100.0	100.0
1956	117.7	122.4	144.1
1957	159.3	149.1	237.5
1958	232.5	154.8	359.8
1959	276.9	255.1	706.3
1960	329.6	287.8	948.6
1961	353.4	462.8	1,635.6

資料：Laboratório de Estatística, IBGE

主要鉱産物

品名	量 (1,000 t)			額 (100万cr \$)		
	1959	1960	1961	1959	1960	1961
〔金属鉱物〕						
アルミニウム	97	121	98	18	35	24
ベリリウム	1	2	2	29	82	79
鉛	45	105	165	181	594	628
銅	72	70	69	48	37	32
ニッケル	0	0	0	13	34	17
クロム	6	6	15	3	10	26
錫	0	3	1	81	843	227
鉄	8,908	9,345	9,782	1,301	1,458	1,938
マンガン	1,033	999	999	523	538	2,678
ニッケル	5	5	4	3	3	6
チタン	0	0	0	2	6	9
タングステン	2	1	1	182	207	195
ジルコニウム	10	6	7	11	9	23
〔工業用鉱物〕						
アスベスト	84	98	111	25	42	52
燐灰石	133	203	244	22	28	53
重晶石	51	40	63	13	22	31
下ロマイト	155	226	272	54	178	104
燐	873	676	408	67	55	244
石炭	183	103	161	36	27	125
黒鉛	1	1	1	14	18	29
マグネサイト	48	63	77	6	18	29
雲母	1	2	5	57	41	69
石英	1	1	1	321	343	228
塩	854	923	889	776	1,125	1,293
滑石	21	20	22	28	39	63
〔建築用材〕						
大理石	56	50	38	83	94	124
〔燃料〕						
石炭	2,330	2,330	2,390	2,229	2,765	3,660
〔飲料〕						
水	99	98	108	343	396	693
石油 (1,000バレル)	23,590	29,613	34,807			
天然ガス (100万m <sup>3</sup> )	427	535	527			

注 数字は単位において4捨5入。量欄「0」で額欄あるものは切捨による。

数量および金額などの経済面からみて重要視される鉱産物は、高品位の鉄鉱石、マンガン、石油、ドロマイト、塩などであるが、金、ダイヤモンド、その他の宝石類も存在し、最近は核物質資源もまた豊富に存在していることが確認されている。

鉱物のうちマンガンは最も注目され、その埋蔵量は世界一といわれている。しかし現在のブラジルが最も重要視しているのは鉄鉱石で、ミナス・ジェライス州イタビラ付近には品位66~69%という良質鉱が露天掘りされており、その産出量は全ブラジルの5分の4を占め、同地一帯には10億トンを越える鉄鉱床が横たわっている。

石油は、ラテン・アメリカで最も大量に消費する国であるブラジルの開発は遅れており、約10年前から PETROBRAS という公社が中心となって、北東部・北部の各地で開発を進めて左記(表)の生産をあげている。

石炭は南部のサンタ・カタリーナ州やリオ・グランデ・ド・スル州地方に広く存在し、50億トン以上と推定されているが品質は概して良くなく、現在年産約200万トンである。

宝石はその種類多く、かつてダイヤモンドの産出は世界の主産地として知られたが、現在でも年間4万カラットに及んでおり、エメラルド、アクアマリン、ガーネット、ベリル、トパーズ、トルマリン、アンダルシッテ、アメチストなどが採取されている。

#### 時価100億クルゼイロのダイヤ

ミナス州内のバルナイバ川で、いつものように砂金採りをしていた貧しいガリンベイロが、732カラットという世界でも珍しい大物ダイヤを探し当てた。いままでブラジルで発見された最大のダイヤは“ジュツリオ・バルガス号”726.6カラット、アメリカで発見された“ジョンカー号”726カラットで、この度のものはこれらにまさり、時価100億クルゼイロは下るまいと話題となっている(パウリスタ新聞65.9.7)。

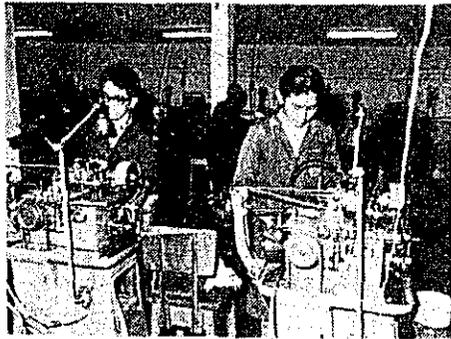
## 工 業

ブラジルはラテン・アメリカ諸国はあつては工業国として上位にある。1947年から61年に至る14年間の工業生産年平均の成長率は10%を越えた。殊にクビ

チェック政権以来の工業的發展は目を見張らせるものがある。

ブラジルの工業發展状況を工業生産指数によって示すと次のとおりである。

工業指数表によると、1947年から61年に至る14年間に年平均成長率10% (年間16%から6%)、14年間通算365%、49年から61年に至る



サンパウロの時計工場で働く日本人技術移住者  
る12年間に295%、55年から61年に至る6年間に178%という高率を示している。

工業事業所の国内分布の状態は、表示のとおり全ブラジルの工場数84,626のうち、約35.8%に当る30,353工場がサンパウロ州内に存在し、ミナス・ジェライス州、リオグランデスル州がこれについている。

また工業種別では食品工業が最も多く、非金属、木材工業などがこれにつき、冶金、機械、電器などの工業はこれまたサンパウロ州に集中している。

主な工業製品

(全ブラジル、1961年度)

製 品 別	数 量
セメント	4,680,000 t
鉄	1,821,000 t
鋼	1,535,000 t
アルミ材	7,170 t
金	3,690kg
銀	7,214kg
自動車 (各種)	145,674両
トラクター	2,540 台
紙	502,000 t
ゴム (チューブ、タイヤ)	10,774,000本
原油	79,980,000バレル
アルコール	421,829 t
電力	5,205,152kw

## 製 鉄

鋼塊の世界生産総量は3億トンと見積られているが、これに対しブラジルはわずか200万トンを生産するにすぎない。このうち国立製作所が約50%を占めている。

10年前には鋼塊89万トン、鋼材72万トンを生産していたが、1961年には銑鉄1,995,000トン、鋼塊1,821,000トン、鋼材1,535,000トンに上昇し、それぞれ12.3%、12.4%、11.3%と成長を示した。

1962年度におけるブラジルの鋼鉄生産量は330万トンに及んだが、このうち270万トンは国産によって充当された。また、新製鉄所の建設および既成工場の拡張によって1965年度には、500万トンに増大すると推定される消費量が国産で賄われることが期待されている。

この拡張計画には、国立製鉄所(Cia. Siderúrgica Nacional) Belgo Mineira Aços Especiais Itabiraなどが含まれており、さらに、1962年末に操業開始されたUsiminasは年500,000トンの鋼塊が生産される。同時にコークス製造の副産物も重要な物資であるため、ウジミナス製鉄所付近には、いろいろな関連工業が設立されるものと期待されている。

次にCosipa(パウリスタ製鉄)の活躍も大きく期待されており、生産計画で

## ブラジルの鉄鋼生産

単位：1,000トン

製 品	1959	1960	1961
銑 鉄	1,560	1,750	1,821
鋼 塊	1,608	1,843	1,995
鉄 鋼 材	1,256	1,358	1,535
鋳 鉄 鋼	139	156	166
ク ロ ム 鋼	1	2	1
マ ン ガ ン 鉄	15	19	18
ニ ッ ケ ル 鉄	0.3	0.3	0.3
硅 素 鉄	7	7	7
硅 素 マ ン ガ ン 鉄	5	5	7
ス ピ ー ゲ ル	—	0.1	0.3

は年産500,000トンが予定されている。

1962年度の鋼塊生産高はこれまでのレコードを作り1,164,000トンとなった。しかし、銑鉄の方は、やや低調で768,000トン、前年に比べて48,000トン減少した。

自動車の生産

年	数	量
1956		173両
57		33,225
58		53,981
59		95,244
60		131,834
61		145,865
62		190,848
63		174,067
*64		134,046
計		959,283

\*印は1964年9月末現在

資料：Banas Informa Nov. 30. 1964

電 力

ブラジル内のエネルギー部門においては、何といたっても電力が第一で、最近の工業用動力としてその消費量は著しく増大しているが、これを他の動力と比較すると国内における動力全体の50%が電力によって占められている。工業化の進展に伴ってその消費量も増大しているのであるが、62年度における電力の生産量は240億kwhとなって前年に比べて、10億kwh増大した。これは約6.7%の上昇である。発電設備能力も1962年度において5,783,000kwに達し、これも前年に対して11.1%の増加となった。

近く完成されようとしている新発電所を加えると620,000kw増えることになり、1965年には700万kwを超える電力設備を有するようになる。

計画の第1に挙げられるのは、ウルブングー発電所で、これが完成すると300万kwの電力が保証され、現在の電力の約50%に当るものであり、ウルブ

ンガー電力会社(CELUSA)がトレスマリアスやフルナスおよびその他の発電所と協力すればブラジルの南部・東部全域直接にこの恩恵を受けるようになる。

### ブラジルの電力

単位：1,000kw

地 方 別	設 備 能 力		増 加
	1961	1962	
北 部	58	81	23
北 東 部	127	136	9
東 部	2,098	2,304	206
南 部	2,432	2,688	256
中 西 部	39	99	60
会 社 グ ル ー プ	451	475	24
合 計	5,205	5,783	578

### 石 炭

ブラジルの石炭は良質とはいえないが、南部のサンタ・カタリーナ州を含む州が主で、国の工業発展に大きく寄与している。火力発電所その他国内市場上において非常に有望であるといえるが、国産炭は質がやや劣るので外炭の輸入を度外視することはできず、現在製鉄所では輸入品を多く使っている。

しかし全体として石炭の消費量は増大する一方で、その大部分は冶金部門、火力発電、鉄道に使用される。ブラジルの石炭の生産総量は1960年2,390,000トン、61年2,330,000トンとなっている。

### ブラジルの石炭生産

単位：1,000トン

州 別	1959	1960	1961
バ ラ ナ	51	60	43
サンタ・カタリーナ	1,619	1,627	1,643
南 大 河	860	643	704
合 計	2,330	2,330	2,390

石炭の推定消費量

単位：1,000トン

	1959	1960	1961
鉄道	468	339	352
汽船	58	24	24
冶金	729	1,012	1,013
火力発電	417	438	452
ガスの生産	348	372	378
工業その他	30	20	21
合計	2,050	2,205	2,240

石 油

国内の堆積層地質の大部分にわたって、試掘作業がつけられ、技術の向上とあいまって新油田の開発がなされた結果、ペトロプラス（政府石油会社）の石油生産は飛躍的な進歩を遂げたが、現在なお石油の国内需要を充たすために相当量を輸入している状態にある。

1961年に国内で精油された原油1億400万バレルのうち7,000万バレルは輸入原油であった。ブラジルの現在の精油能力は充分に内需を賄い得るものであって、日産310,000バレル以上と推定されている。このうちペトロプラス会社の能力は250,000バレルを越える。同内消費量の増大に追いつくためボルト・アレグレ、ペロ・オリゾンテに新精油所を建設すると同時に、リオ州のツッケ・デ・カシアス、サンパウロのプレジデンテ・ベルナルデス、パイア州のランドルフ・アルベス等の各精油所の拡張が計画されている。

1962年度における潤滑油の輸入は61年度に比べて32%の増大となったが、燃料油は同期間内に91%、ガソリンは48%、灯油37%とそれぞれ減少した。

ブラジルの原油輸出量は、1962年度には298,000トンを記録したが、これは前年度に比べて72%の減少となった。これは、ブラジルでは、パラフィン性の原油を処理する精油所が完成していなかったために、国産原油を外国に輸出し、その見返として精製ガソリンを輸入したのであったが、近年に至って各精油所が完成したので国産原油の大部分は国内で精油されるに至ったからで

ある。

ペトロブラス会社所有の油送船は40隻を数え、その総トン数540,000トンとなっており、発注済みのものが加われば60万トンを上回ることになる。

またペトロブラス会社は、サン・セバスチオン〜クパトン間(120km)、リオ〜ペロ・オリゾンテ間(365km)およびトラマンダイ〜カノアス間(100km)の油送パイプ施設の完成が期待されている。

## IV 交通・通信

### 1. 交通

「南船北馬」という言葉があるが、ブラジルではこれと反対で、北船南馬とでもいえようか、国の北半域殊にアマゾニアの一般的な交通は、大小の川筋を舟で行きかう交通である。アマゾナス川をはじめほとんどすべての河川には堤防がなく、川辺の台地に散在する村や町をつなぐ道路といえるものはほとんどない。従って都市とその近郊および大農場の内部を除いては車両による交通があまり見られない。

これに反して北東地方の一部から中央部以南の大部分は概して車馬の交通が可能で、道路も逐年整備されてきている。

#### 道路

ブラジルの道路は主として南部諸州に発達している。リオとサン・パウロを結ぶドウトラ国道 (Via Dutra) やサンパウロとサントスを結ぶアンシェッタ国道 (Via Anchetá) などのハイウェイは世界的にも有名な道路で、定期バスが時速 100km 内外で走るものであり、主要都市を結ぶ道路はいずれも立派なものである。また新首都ブラジリアの出現によって、北のベレーンから新首都、そして南のポルト・アレグレンへのブラジル縦断道路や、リオ、ペロオリゾンテ、サン・パウロからブラジリアへの近代的な道路が建設されつつある。

#### 鉄道

以前ブラジルは、鉄道を敷いた者には、その燃料使用のため両側の森林伐採

権などの利権を与えたので、外国会社の手による鉄道も相当に敷設されたが、現在では権益を与える政策は採られず、また鉄道は大部分が連邦政府や州政府の所有となり、全国の鉄道網を調整、管理するために連邦鉄道院が設けられている。主な鉄道は、ブラジル中央鉄道（リオ、サンパウロ、ペロ・オリゾンテを結ぶ）、ビトリアーミナス鉄道（ペロ・オリゾンテ、ビトリア間、ミナス製鉄所、イタビラ鉱山などを結ぶ）、ソロカバナ鉄道（サンパウロ州内）、ノロエステ鉄道（サンパウロからマツ・グロソ州のkolンバに達し、ポリビア鉄道に連絡し、またマツ・グロソ州の南端ポタ・ポランでパラグアイに連絡）、サンパウロ・パラナ・サンタカタリーナ鉄道（同名の州内を走る）、サンパウロ鉄道（サンパウロ、サントス、ジェンジアイを結ぶ）、レオボルジーナ鉄道（リオ周辺）などその他がある。

1961年12月末調査による全ブラジルの鉄道延長は38,287kmで、これを所有別にみると、連邦29,940km、州3,446km、民間4,901kmとなっている。

軌間は 1mのもの 34,017km

1.4—1.6 3,459

0.76以下 811

## 水 運

ブラジルの海岸線の総延長は8,850キロ、これに国内の可航河川が約43,000キロで、海と川の水運は交通上極めて大きな役割を果たしている。沿岸の海港はサントス、リオ・デ・ジャネイロなど大小33港が外国船のために指定されているが、ブラジルの船舶は古船が多く（次頁、ブラジルの商船隊参照）、主として沿岸航路と河川に就航している。現在各種の造船が盛んに進められているが、外国との交易は外国船に依存している。とくに北伯開発には水路交通、船の活動が大いに期待されている。

### 主な港および入港船扱い貨物量

1961年1年間の貨物扱い量40万トン以上の港を掲げると次表のとおり。

1958年以來ブラジルの港に入る船の数はだんだん減少の傾向にある。たとえば、1960年における船舶の入港数は31,081隻を数えたが、61年には29,793隻に減少している。しかし入港船トン数は1960年の5,900万トンが61年度には6,100

港名	入港船数	トン数 (1,000 t)
Manaus	1,160	456
Belém	813	1,390
Macapá	1,298	474
Natal	324	512
Cabedelo	338	740
Recife	1,437	3,415
Salvador	1,431	4,574
Ilheus	759	829
Vtoiar	1,027	3,667
Niterói	524	1,143
Rio de Janeiro	3,940	13,213
Angra dos Reis	313	982
Santos	4,043	14,829
São Sebastião	1,073	3,681
Paranaguá	843	2,257
Itajaí	704	516
S. Francisco do Sul	332	509
Porto Alegre	1,778	1,499
Rio Grande	905	2,479
BRASIL	29,793	60,985

ブラジルの商船隊 (100トン以上の現存船舶)

(1961年12月31日現在)

	貨物及び混合船	油送船	合計
隻数:			
長距離航路用	45	41	86
沿岸航路用	281	3	284
内地航路用	117	3	125
合計	443	52	495
トン数(1,000トン):			
長距離航路用	230	460	690
沿岸航路用	578	4	582
内地航路用	27	5	33
合計	835	469	1,305

万トンに上昇した。

サントスおよびリオ・デ・ジャネイロの2大港に全体の27%が集中している。

61年度にこの2港に集った船は7,983隻を数えたが、前年度に比較して614隻、すなわち7%の減少となった。

沿岸航路は逐年その重要性を増しつつある。すなわち1960~61にかけて760万トンから850万トンが海運全部の貨物輸送量となっているが、沿岸航路の輸送量は、この12%を占めた。

### 航 空

ブラジルは国土が広大なこと、従来奥地がほとんど開発されていなかったこと、鉄道や道路の開発がおくれていたこと、近年奥地開発に着手されたこと等々の理由から、ブラジルは鉄道の時代を飛び越して航空時代に入ってしまった感がある。ブラジルには現在2,000を越える飛行場もしくは発着所があり、政府の方針によって航空機数は増し、事業の採算ベースは補なわれ、技術的にもかなり高い水準に達しつつあるようである。

ブラジル航空業界の世界的水準は次の表で推察することができる。

#### 世界の航空輸送

種 別	単 位	1960	1961
乗 客	100万人	106	112
乗 客/km	10億	109	116
荷 物-ton/km	100万	2,108	2,450
郵 便-ton/km	100万	610	750

サンパウロのコンゴニヤスやビラ・コッポ空港、リオのガレオン、サントスのゾモン空港などは世界的にも有名な空港で、その発着機数の計は129,000機、新首都ブラジリアも最近著しく整備されて、1962年の統計では発着数16,707機が記録された。

国内、国際定期便のほかブラジルにはテコテコと愛称される空のタクシーが空港には待機しており、客の求めによってどこへでも飛んでいくものがある。

ブラジル交通関係資料

		1959	1960	1961	1962	1963
1. 道路総延長	1,000km	475	476	500	519	545
うち連邦道路	"	30.8	34.1	35.4	36.9	
2. 自動車保有台数	1,000台	1,014	1,133	1,308	1,406	1,595
内わけ	乗用自動車	"	482	538	675	867
	貨物自動車	"	482	540	571	606
	バス	"	50	55	62	73
		"				
3. 鉄道延長	1,000km	37.7	38.1	37.5	36.6	
うち連邦鉄道	"	28.8	29.3	29.2	28.6	
4. 鉄道輸送量(旅客)	100万人km	14,639	15,395	16,855	—	
うち(貨物)	100万トンkm	12,212	12,268	13,080	15,019	16,611*
5. 商船保有量	1,000トン	1,115	1,300	1,308	1,355	1,412
内わけ	客貨物船	"	792	828	836	853
	油送船	"	323	472	472	502
6. 国内海上輸送量	1,000トン	6,233	7,866	8,164	9,891	8,970
内わけ	ドライ・カーゴ	"	5,208	4,691	4,297	3,815
	油類	"	1,025	3,175	3,867	6,076
7. リオ・サントス 両港入港船数	隻	9,210	8,597	7,983	7,261	6,333
リオ・サントス 両港入港トン数	1,000トン	27,793	28,410	28,042	28,626	27,829
8. 航空輸送量(旅客)	100万人km	2,870	3,529	3,606	4,112	3,810*

(註) 出所 1. 3. 4. 欄に Anuário Estatístico do Brasil よる。

2. 欄は Comissão Executiva de Defesa da Brachaによる(Banco do Brasil 年次報告所載)。

5. 6. 欄は Comissão de Marinha Mercante 年次報告による。

7. 欄は Serviço de Estatística Econômica e Financeiraによる(Banco do Brasil 年次報告所載)。

8. 欄は航空省民間航空局(DTCC)資料による。

\* 推定値

## 2. 通 信

郵便・電信・電話・ラジオ・テレビジョンは Ministerio de Viação e Obras Publicas (交通土木省) の管理下にあつて、1961年調査によると、地方管理局(Diretoria Regional), 31局、郵便局3,170局、郵便・電信局2,516局、電信局17局、ラジオ局9局が設置されており、その従業員数は53,094人となっている。これを郵便行政上の収支面からみると、歳入(収入)約47億8,000万cr\$ に対して歳出(支出)約168億3,000万cr\$で、約120億cr\$が赤字となっている。

電信電話事業は国家事業と併行して外国会社による営業がよりさかんに活動しており、大都市の内部および市外の主要都市間の通信は比較的 inconvenience なく、ヨーロッパやアメリカの間には数条の海底電線をはじめ空間通信も整っているが、国内奥地の通信はまだ不便である。ラジオやテレビも都市においては問題はないが、電気のない所ではトランジスター・ラジオによっている。

## 3. 電話、電信

ブラジルの電話網はまだ未発達で、電話は現在約100万器で、大都市内に限定されている。

北部、東北部地方ではその州内にある電話の83.9%、東部では87.6%、中西部で52.4%、南部で77.3%がそれぞれの州の首都に集中している。

マイクロ・ウェーブは、Rio—S. Paulo, S. Paulo—Campinas, Rio—Belo Horizonte, B. Horizonte—Brasília 間に架設されており、テレックスも利用されている。

電話および通信機工業は外国一流会社の企業進出もあつて、ほとんどすべてが国産できる状態にあるが、現在は80%が国産で、20%は採算的理由から輸入している。

電信・電話会社としては古くからドイツのSiemens, スウェーデンのEricson, アメリカの Standard Electric および Automatic Telephone & Electric などがある。

## 電話器数および加入者数

(1961年末現在)

州 別	電話器架設数		加入者数	
	合 計	首 都	合 計	首 都
Amazonas	3,077	3,017	2,041	1,995
Pará	8,014	7,314	8,633	7,944
Amapá	96	96	39	39
Maranhão	2,103	2,103	2,106	2,106
Piauí	1,600	1,100	1,477	980
Ceará	17,953	16,411	14,730	14,018
Rio Grande do Norte	3,889	2,677	3,094	2,026
Paraíba	3,782	1,331	3,615	1,305
Pernambuco	8,083	6,577	7,193	5,724
Alagoas	1,010	713	1,007	711
Sergipe	1,720	1,651	1,701	1,632
Bahia	13,953	11,843	11,417	9,368
Minas Gerais	82,241	44,048	68,648	31,674
Espirito Santo	7,049	7,049	5,484	5,484
Rio de Janeiro	50,479	18,743	36,939	13,672
Guanabara	346,222	346,222	233,480	233,480
São Paulo	441,743	372,625	311,480	243,876
Paraná	33,084	15,321	20,939	9,202
Santa Catarina	10,086	2,820	8,876	2,156
Rio Grande do Sul	58,623	30,259	37,580	14,657
Mato Grosso	4,825	1,000	4,364	972
Goiás	8,517	6,000	8,475	5,980
BRASIL	1,108,149	898,920	793,318	609,001

## 電話機の輸入 (国別)

(1961年度)

				重 量 (kg)	価 額 (US \$)
西	ド	イ	ツ	126,316	896,374
ア	ル	ゼ	ン	3,308	60,141
ベ	ル	ギ	ー	24,160	305,181
デ	ン	マ	ク	223	9,410
北			米	10,006	153,118
フ	ラ	ン	ス	4,478	35,986
イ	タ	リ	ー	21	363
日			本	4,187	17,954
オ	ラ	ン	ダ	648	15,989
ポ	ー	ラ	ド	14,226	29,597
イ	ギ	リ	ス	70,150	730,491
ス	エ	ー	デ	219,447	1,982,301
ス		イ	ス	79	1,592
チ	ェ	ッ	コ	7,075	20,060
合			計	484,324	4,257,557

## 通信機器の輸入 (国別)

(1961年度)

				重 量 (kg)	価 額 (US \$)
西	ド	イ	ツ	3,401	115,150
デ	ン	マ	ク	295	7,320
北			米	2,680	49,157
フ	ラ	ン	ス	5	117
イ	タ	リ	ー	532	13,054
日			本	2,836	29,471
オ	ラ	ン	ダ	38	762
イ	ギ	リ	ス	150	3,513
ス	エ	ー	デ	7	1,081
合			計	9,944	219,625

# V 経 済・財 政

## 1. 経 済

従来ブラジルは農業国であり、国際貿易においても農産物の供給国であった。第2次大戦後は世界的に農産物の増産が行なわれ、それにより価格は相対的に下落し、ブラジルの輸出数量が増加したにも拘わらず外貨収入は減少するという状態におかれた。国の発展をはかるためには今後、コーヒーの増産とその輸出だけにたよる単一農業国から脱して農工兩建を図らなければならないので、工業化を強力に推し進めるよう経済政策の中心を移動させた。

### ブラジルの大企業

#### 資本金からみたブラジル10大企業

1964年12月に行われた国内会社資産再評価の結果、大企業は次の通りとなった。

- ① Belgo Mineira(鉄鋼)：700億クルセイロ、
- ② 石川島造船：540億、
- ③ Matarazz(雑貨)：520億、
- ④ Volkswagen(自動車)：450億、
- ⑤ Willys(自動車)：440億、
- ⑥ Brahma(飲料)：380億、
- ⑦ Mercedes Benz(自動車)：370億、
- ⑧ Souza Cruz(煙草)：360億、
- ⑨ Ford(自動車)：310億、
- ⑩ Esso Brasileira(石油)：290億。

なお65年2月USIMINAS(製鉄)1,500億クルセイロに増資した。

(ラテン・アメリカ時報1965. 3. 1号)

クビチェック大統領時代の Programa de Metas (メッタプラン=経済開発5カ年計画)はその顕著な現われであって一躍して近代的な工業国になろうとする国の意欲を現わしたものである。

工業化政策の強力な実施によって各種の重点工業は異常な伸びを見せつつあるが、反面においてこの工業化に要する資金、原材料、科学技術等が急には間に合わず、ために財政資金や民間資金は枯渇し、外資の導入、信用の増発、国

際収支の悪化、為替の暴落、通貨の下落、財政の赤字、物価の騰貴、生活費の上昇、賃上げ要求、ストライキ、政情不安という一連の悪循環がこのところ加速度的に高まった。確かにここ数年來のブラジル経済は一面においては却かしい成長を示したが、他面インフレーションによる経済危機を孕んできびしい動きをみせている。

しかしこのような“発展過程”をあえて探らなければならなかったところにブラジルという国の特殊事情があったともいわれている。それは、現在の世界総人口をも収容するに足りる広大な沃野をもっているにもかかわらず大部分はまだまだ開拓されておらず、地下資源においても巨大な豊庫と知られながら開発は今後に残された状態にある。海岸地方や大都市の一部に見られる文化的な生活は世界のハイ・レベルにあるにも拘わらず奥地には原始さながらの状態がつづいている。民主主義による連邦共和国は、労働者国民大衆の支持する革新的な左翼政権によって過去30余年間政治が行なわれて来ており、基本的人権はあくまで擁護されつつ、人々は年々高率に殖えてきた後進的要素を包含しつつも米州およびラテンアメリカでは有力な中心的国家活動を行なっている等々、内外の諸情勢に基因して、ブラジルは経済的にも、そして政治的にも“新しい道”を歩もうとしていることが感じられる。

激しくゆれ動いている戦後の世界経済の中でブラジル経済もまたより激しく揺れ動いている。その動揺のさ中であってブラジルの財政、経済をつかもうとすることはなかなかむずかしいことである。ここでは、この書の目的は、批判や論及することにはなく、ただあるがままの最近の経過を公正な資料にもとづいて知ろうとするだけである。

### インフレーション

ブラジルのインフレ現象は、ときに波動がなかったわけではないが、1930年以來慢性的な様相を呈してきており、例えば敗戦といったような特別な事態にもとづくものではないが、それだけに観測や対策の立案がむずかしく、ここ数年の進行には著しいものがあった。

以下、その経過をたどってみる。

## 物価諸指標

(1948=100)

	工業品価格	農産物価格	輸入品価格	一般卸売物価	インフレ率
1947	99	85	94	91	
1948	100	100	100	100	3.7
1949	105	113	86	109	9.3
1950	109	137	78	124	11.9
1951	129	166	96	148	14.9
1952	139	189	106	168	8.6
1953	160	214	101	188	18.6
1954	211	276	141	245	20.2
1955	240	311	207	277	16.7
1956	298	360	275	330	25.5
1957	349	391	288	371	11.8
1958	408	424	369	417	16.3
1959	587	562	505	574	27.2
1960	724	776	528	751	25.4

資料：Conjuntura Econômica, setembro de 1961.

Fundação Getúlio Vargas, Revista de Economia, março de 1962

この表についてみると、農産物価格が輸入品および工業品の価格を上回っている。これは人口の急増（1950～60年の平均3.1%）と、急激な都市集中化（サンパウロなど代表的な工業地域の人口増加率は、同じ10年間の平均が63%となっている）によるものである。ブラジルの経済成長率は1947～61年の15年間に平均5.8% 1人当たりでは3.9%と推定されるが、同じ期間に農業生産は87%増であるのに工業生産は262%を示している。

ブラジルのインフレーションを見る場合、コスト・インフレか需要インフレかは議論のあるところであるが、それはしばらくおくとして、貨金の増大および貨幣の供給増もその要因とみられる。

ブラジルにはすでに最低賃金制度が確立されており、1952年以降全国に実施されている。実施以来、最低賃金は次のとおり改訂（詳しくは労働の章参照）されてきているが、この賃金政策もインフレ要因の一つとされる。

1952年までのインフレはそれほどつよいものでなく、貨金が物価水準を越えることはなかったが、物価上昇とともに実質賃金の獲得を目指す労働攻勢が

## 賃金指標 (グァナバラ)

	名目賃金		生計比	実質賃金	
	平均	最低		平均	最低
1940	100	100	100	100	100
1950	357	—	369	96	—
1951	375	—	412	90	—
1952	445	500	467	95	107
1953	464	—	526	88	—
1954	520	1,000	836	82	157
1955	876	—	780	112	—
1956	957	1,583	937	101	169
1957	1,251	—	1,054	117	150
1958	1,426	—	1,222	117	130
1959	2,004	2,500	1,943	129	128

Exposição Geral da Situação Economica do Brasil.

## 法定最低賃金

実施時期 年月	リオデジャネイロ		サンパウロ	
	1ヶ月の最低額	増 %	1カ月の最位額	増 %
1952. 1	1,200	—	1,190	—
54. 5	2,400	100	2,300	93
56. 9	3,800	58	3,700	61
59. 1	6,000	59	5,900	59
60. 10	9,600	60	9,440	60
61. 10	13,440	40	13,216	40
63. 1	21,000	56	21,000	59
64. 2	42,000	100	42,000	100
65. 2	66,000	57	66,000	57

1952年から65年の13カ年間に法定最低賃金はリオ市で55倍、その他の地区でもそれと同等もしくはそれ以上にアップされた。

ついた。52年の最低賃金の実施で生計費の上昇率を上回まり、それが平均賃金にも波及し、54年の最低賃金改訂の復旧平均実質賃金が遂に40年の水準を越えた。以後最近に至る様相は賃金がインフレの一翼を担ったことは事実といえよう。

## 貨幣の供給増

第2次大戦中に輸出が増大し、輸入が困難であったため貿易戻は、1941~45

年の間に約7億ドルの黒字を示した。この期間の貨幣の増加は約300億クルゼイロで、その40% (120億cr\$) は経常収支の黒字残によるものであった。戦後から1950年に至る期間も貿易収支は黒字を示したが、経常収支においては約10億ドルの支払超過となった。その後も貿易収支の赤字は累積したが、貨幣供給は1945~60年の間に次表のように増発された。

貨幣供給

(単位: 100億cr\$)

年	供給量	増加量	年	供給量	増加量
1945	38.7	4.9	53	124.1	19.9
46	45.8	7.1	54	151.5	27.4
47	47.1	1.3	55	177.9	26.4
48	50.2	3.1	56	217.3	39.4
49	58.4	8.2	57	290.9	73.6
50	78.3	19.9	58	353.1	62.2
51	90.7	12.4	59	500.6	147.5
52	104.2	13.5	60	692.0	191.4

1945/52 The Economic Development of Brazil.

1953/60=Anuário Estatístico do Brasil.

外国貿易の影響

外国貿易の変動もインフレに影響を与えた。ブラジルの輸入能力は1951, 52および54年に増大したが、44年以後のその他の年は減少した。しかし輸入能力の増大は主に資材(機械設備など)に向けられたので直接にインフレとは結びつかなかったが、注目すべきは輸出価格と輸入価格との関係である。

輸出ドル価格は1954年をピークとしてその後下落しているのに対して輸出クルゼイロ価格は、52年を例外として、継続的に増大している。これはアジオ(Agio)制度の実施により、政府が輸入為替の売却にプレミアムを付し、輸出品にはボーナスを与えた結果である。つまり輸出クルゼイロの増加は外国為替収入と比例せず、輸出ボーナスは実質的な為替切下げであり、アジオのプレミアム(付加金)は輸入品の値上げである。為替相場下落はコーヒー等の輸出を不利にし、政府のインフレ含みの政策的裏づけによって促進されてきたことになる。

## 貿易收支

年	輸 出		輸 入		殘 高	
	10億cr \$	100万 \$	10億cr \$	100万 \$	10億cr \$	100万 \$
1941/45	45.8	2,430	33.0	1,735	+12.8	+695
1946/50	106.2	6,000	97.7	5,430	+ 8.5	+570
1950	24.9	1,355	20.3	1,085	+ 4.6	+270
51	32.5	1,769	37.2	1,987	- 4.7	-218
52	26.1	1,418	37.2	1,981	-11.1	-564
53	32.0	1,539	25.2	1,319	+ 6.9	+220
54	43.0	1,562	55.2	1,634	-12.3	- 72
55	54.5	1,423	60.2	1,307	- 5.7	+116
56	59.5	1,482	71.6	1,234	-12.1	+248
57	60.7	1,392	86.5	1,489	-25.8	- 97
58	63.8	1,243	103.3	1,353	-39.6	-110
59	109.5	1,282	161.3	1,374	-51.8	- 92
60	147.1	1,269	201.2	1,462	-54.1	-193

Anuario Estatístico do Brasil—1960.

## 貿易指數

(1948=100)

	輸出量	輸入量	輸 出 價 格		輸 入 價 格		交易条件	輸入能力
			us \$	cr \$	us \$	cr \$		
1944	80	90	57	57	65	65	88	70
45	84	94	60	60	69	69	87	73
46	102	79	80	80	75	75	107	109
47	97	110	101	101	94	94	107	104
48	100	100	100	100	100	100	100	100
49	90	115	106	106	86	86	119	107
50	78	140	152	152	78	78	195	152
51	82	173	186	186	96	96	194	159
52	64	158	178	178	106	106	168	108
53	75	164	169	191	98	101	172	130
54	75	207	197	288	84	141	235	177
55	82	145	155	320	85	207	182	149
56	83	148	150	327	88	275	171	141
57	77	157	147	336	89	288	166	127
58	74	143	134	349	83	369	161	119
60	90	162	107	662	73	528	146	131

Conjuntura Econômica, novembro de 1961.

### 急激な工業化

輸出高が減じ、輸入高が増加している中で高度の成長を維持しつつ輸入代替産業および新しい輸出産業の確立と育成をはかる工業化を急激に達成しようとしたことは、時期的にみて、インフレを避けることにはならなかった。

とくに1956～61年にわたるクビチェック政権の「経済開発5カ年計画」の急速な実施は、産業の10分野にわたる大がかりなもので、それぞれの分野に高い達成目標が掲げられた。その終期において、目標に達したもの、達しないもの、中には自動車産業のように目標を突破して生産過剰気味になったものなどいろいろあるが、この計画の実施はほとんどが民間資本の蓄積によったものでなく、主として財政赤字と外資の導入によったものであるため、これまたインフレの要因となった（5カ年計画の内容についてはその項参照）。

### 財政の膨張

1945年以降のブラジル連邦の財政膨張の経過は次表のとおり。

財政赤字の大部分は、政府銀行と民間銀行とを兼営しているブラジル銀行連邦歳入出表

(単位：10億cr\$)

年	歳入	歳出	残高
1945	8.9	9.9	- 1.0
46	11.6	14.2	- 2.6
47	13.9	13.4	+ 0.5
48	15.7	15.7	+ 0.0
49	17.9	20.7	- 2.8
50	19.4	23.7	- 4.3
51	27.4	24.6	+ 2.8
52	30.7	28.5	+ 2.3
53	37.1	39.9	- 2.9
54	46.5	53.7	- 7.1
55	55.7	63.3	- 7.6
56	74.1	107.0	- 32.9
57	85.8	117.5	- 31.7
58	117.8	148.5	- 30.7
59	157.8	184.3	- 26.4
60	233.0	264.6	- 31.6
61	317.5	420.0	-102.5

Relatório do Banco do Brasil.

〔注〕 財政の項に掲げる数字と一致しないものがあるのは出典の違いによる。

(Banco do Brasil S.A.) よりの借入金によつたため、伯銀の貸出額は政府分が民間分をオーバーしてしまつた。そしてこの財政赤字の大部分が公共投資や基本産業への政府出資および補助金等の形で支出された。補助金についてみれば1940年の2億クルセイロから60年には172億クルセイロへと増加した。そしてこの中に鉄道や運貨事業などの赤字補填が多額に含まれている。

## ブラジル銀行の貸出

(10億cr\$)

年	ブラジル銀行			
	対政府部門	対市中銀行	対民間企業	計
1945	10.7	0.3	8.8	19.8
46	14.8	0.4	8.9	24.1
47	15.2	1.1	9.5	25.7
48	15.8	1.7	10.7	28.2
49	19.9	1.9	12.9	34.7
50	21.8	2.9	14.9	39.7
51	14.3	2.8	24.6	41.7
52	16.7	4.1	34.4	55.2
53	27.1	7.3	40.4	74.8
54	38.6	7.7	57.3	103.6
55	41.4	7.2	64.9	113.4
56	70.3	7.0	75.0	152.3
57	106.7	6.4	91.7	204.9
58	91.9	10.0	116.0	217.9
59	86.8	10.7	134.0	231.6
60	189.4	12.2	184.2	385.7

Relatório do Banco do Brasil.

## 公債発行

さらに連邦政府および州・郡の公債は次のとおり発行された。

各年度末残高および1963年におけるその評価額

(単位：1億cr\$)

年	年末残高	1963年評価	年	年末残高	1963年評価
1942	2	100	1956	149	1,146
43	7	350	57	180	1,286
44	16	530	58	226	1,413
45	26	867	59	394	1,336
46	43	1,433	60	392	1,352
1952	53	883	61	532	1,330
53	60	857	62	832	1,380
54	82	911	63(推定)	1,440	1,440
55	111	1,009			

資料：ブラジル経済情報

### その他のインフレ要因

ブラジルの予算制度では、当初予算の作成時において「赤字（不足金）」を計上することは特別なことでなく、例年の慣行となっており、また予算外支出も認められているので、「財政赤字」は常に国家予算の中に組み込まれている。そして政府は政府兼民間銀行である伯銀を通じて予算外操作を行なうことができる仕組みになっている。例えばアジオ制度による外国為替の売却利益金の操作などもそれである。

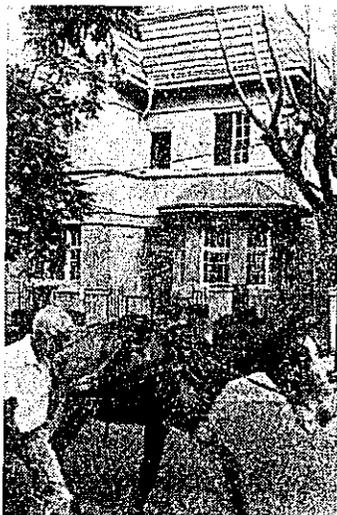
1963年度の当初予算は1兆230億クルセイロで、この中に歳入不足分として初めから2,857億クルセイロが計上された。そしてこの年度に赤字はさらに4,891億クルセイロに追加されている。

歳入の主要部分が税収であることに変わりはないが、税の内容は間接税が77~81%で、直接税は18~23%を占めており、税制、徴税機構および徴税技術が十分でなく、予算に計上された税収額が予定通りに実現されてはいない。

法律によって裁判官、教員、新聞記者、政党、教会、病人、その他が免税されることになっており、またコーヒー園などの大農場（Fazenda）は特殊な企業形態（というよりも領主と領民といったような社会構造）であって、その収支を事実上判定することはむずかしいため、課税、徴税が不十分なようである。従って中間層の少ないブラジルにおいては商工業企業や中以下の階級が税の90%を負担しているかたちである。

ブラジリアの建設——これはクビチュック時代にブラジルが成し遂げた偉業とされているが、経済効果を度外視した点からみれば大きなインフレ要因である。この建設のために巨額の外資や社会保障基金の資金が注ぎ込まれたことは明らかである。また完全に首都としての機能を発揮しているわけではないが、その建設のために直接投じられた金高は当時の連邦予算の3倍にあたる2,200億クルセイロと示されているが、事実上、1兆クルセイロを越えたものと推定されている。

銀行活動と金利——ブラジルでは“インフレの金不足”ということがいわれている。銀行金利は年12%と一応決められているが、手数料その他の名義で35



財政赤字の重荷はつらい

～40%という高金利であって、しかもほとんどが短期ものに限られている。従ってこのような高い金の大部分は土地や外貨、その他の思惑投機に流れてインフレを一層助長する要因となっている。公には明らかでないが、ブラジルの民族資本の大きな額が外国へ流出していることも事実のようである（外資制限法やその他の法規からその事実を推測することができる）。

以上、ブラジルのインフレーションの要因について凡その説明を加えてきたが、インフレについては労働、社会、生活などの項でも若干ふれることになるので、サンパウロ郡庁が公表したクルゼイロ貨の減価表を掲げて一応この項をおわる。

### クルゼイロ減価表

サンパウロ郡庁公表にクルゼイロ貨の購買力の減価を示す。

(1939年=100)

年	減 価 比	年	減 価 比
1939	100.00	1952	16.77
1940	91.66	1953	14.38
1941	82.37	1954	11.68
1942	71.17	1955	9.98
1943	59.70	1956	7.89
1944	43.46	1957	6.64
1945	37.78	1958	5.66
1946	31.76	1959	3.97
1947	25.76	1960	3.15
1948	24.54	1961	2.28
1949	23.93	1962	1.49
1950	23.07	1963/5	0.95
1951	20.73		

資料：ブラジル経済情報 No. 176

2. 財 政

最近数年の連邦財政収支

(単位：億cr\$)

年	歳 入	歳 出	赤 字
1959	1,578	1,985	407
1960	2,197	2,974	776
1961	3,175	4,550	1,375
1962	4,979	7,788	2,809
1963	9,303	14,350	5,047
1964	14,787	21,103	6,316
1965予算	30,000	37,750	7,750

(注) 1963までは伯銀の発表、64年は官報による。  
 1964年は3月革命の後、各省経費の節減、徴税機構の改善、所得税、消費税の増税により赤字の減少をはかっているが公務員、軍人等の給与の引上げによる支出増加もあり、大きな赤字減少は望めない。

1963年度連邦予算

(単位：100万cr\$)

歳 入		
通 常	歳 入	
租 税	収 入	
	消 費 税	408,065
	所 得 税	242,946
	印 紙 税	91,790
	輸 入 税	86,810
	電 力 税	11,937
	地 租	87
	公 課	4,127
	(小 計)	845,758
財 産	収 入	8,422
工 業	収 入	7,736
雑	収 入	13,916
	(小 計)	30,074
臨 時	収 入	54,458
	( 計 )	930,290
赤 字	入 合 計	504,691
		1,434,981

## 歳

## 出

立	法	府	8,692
司	法	府	11,699
会	計	院	1,441
大	統	府	23,268
審	議	府	47,025
各	会	会	
	議	省	
	各		
	大	歳	464,934
	交	通	292,709
	陸	軍	87,128
	教	育	70,097
	航	空	54,081
	海	軍	53,202
	衛	生	41,223
	勞	働	37,842
	農	務	35,462
	飲	山	21,903
	法	務	11,500
	外	務	5,991
	商	工	2,560
記	帳	予	1,270,754
		算	
		計	
		……(a)	
		(当初予算+追加)	
		(a)の未支出分	-157,638
		(差引)	1,113,116
		未記帳支出分(b)	
		負債清算	+45,968
		48条支出	+197,573
		その他の支出	+78,324
		(b)の小計	321,865
		歳出合計	1,434,981

## 赤字補填操作

この予算に「赤字」として計上された5,046億9,100万クルセイロは次の操作によって補填された。

前年度よりの繰越金	12,300
国庫債券の発行	55,515
借銀より借入	439,714
緊急借入(法4069号)	4,105
強制借入(法4242号)	18,657
	530,291
次年度へ繰越金	25,600
	504,691

通貨

ブラジルの通貨の名称は1942年に、従来の「ミルレイス」(単位は Rei で、1,000レイがミルレイス) から「クルセイロ」(cruzeiro=cr\$) に改められた。クルセイロの国際通貨基金への登録価は、1米ドルに対して18.50クルセイロと定められている。しかし、自由相場はその時々外国為替や通貨事情によって変動する。例えば1960年11月には大体、1米ドルが190乃至200クルセイロであったが、1965年5月には1米ドルが1,850クルセイロとなった。外貨の交換レートにも公定、自由、ヤミその他がある。公定レートも数次にわたって改訂されている。

邦貨との換算は、仮りに、1米ドルが360クルセイロのときは、1クルセイロが1円であり、\$1=Cr\$720ならば50銭、同じく1,850クルセイロとすれば1 cr\$は19銭5厘ほどである(本書の随所に掲げてあるクルセイロ表示も、その時点の換算率を頭において理解しなければならないことになる)。

単位クルセイロの下に Centavo (センターボ) という単位 (cr\$の100分の1) があるが、名称だけが残っている程度である。地方的にはまだ「ミル」や「コント」いう旧称が使われることもあるが、milreis=cruzeiro, Conto =1,000cruzeiros のことである。

通貨の種類

現在発行されているブラジルの通貨次のとおり。

硬貨	10, 20, 50 センターボ。
	1, 2, 5, 10, 20, 50, 100, 200 クルセイロ。
紙幣	1, 2, 5, 10, 20, 50, 100, 200, 500, 1,000, 5,000クルセイロ。

通貨発行高の推移

	百万クルセイロ	増加率		百万クルセイロ	増加率
1955(12月末)	69,334	—	1960( " )	206,140	33.3%
1956( " )	80,819	16.6%	1961( " )	313,858	52.3%
1957( " )	96,575	19.5%	1962( " )	508,780	62.1%
1958( " )	119,814	24.1%	1963( " )	888,768	74.8%
1959( " )	154,621	29.1%			

資料: SUMOC

### 3. 金 融

1808年までの植民地時代のブラジルに通貨の流通はほとんど無かった。物資蒐集のためポルトガルの王室硬貨が少しは出回ったが権力的な行使と物々交換の変形に過ぎなかった。その後金が大量に発見されたので貨幣鋳造所が設置が公許され、サルバドルやリオの取引に用いられるようになった。

ナポレオンの侵攻に追われたポルトガル王室は1万人以上を引き連れてブラジルに移ったのが1808年で、この年にブラジル銀行が王室の国庫として、またダイヤモンドや染料木、金、ゴムなどの商品を操作する銀行として発足した。しかし11年後の1821年に王は銀行の資産および預り物の全部を持ってポルトガルへ引き揚げてしまった。これで折角芽生えた金融機関の芽もじゅうりんされて全く姿を消した。

その後ブラジルは共和国となり、農産物の生産も増し内政も逐次整って経済の安定期を迎え、私設のいくつかの小銀行が合併して1905年にブラジル銀行法が制定され、官民合資の特殊法人として再び発足した。その後ミナス、パイオ、南リオグランデの諸地方にも銀行が設立されて、次表の状況に至っている。

#### 銀行預金残高状況

1963年12月末の銀行預金残高を各都市別に国内10位まで示せば次のとおり（単位：100万cr \$）。

	(単位：1,000cr \$)
1. Rio de Janeiro	500,283
2. Brasilia	494,207
3. São Paulo	470,644
4. Belo Horizonte	49,669
5. Porto Alegre	45,651
6. Recife	41,809
7. Santos	32,160
8. Salvador	29,438
9. Fortaleza	28,206
10. Curitiba	27,565

資料：Revista Bancaria.

## 4. 外国資本

## 外資の流入

1947年から60年に至る14年間の外国資本の流入状況次のとおり。

(単位：100万cr\$)

年	額	年	額	年	額
1947	333	1952	204	1957	485
48	76	53	611	58	754
49	164	54	420	59	739
50	91	55	224	60	885
51	293	56	387	計	5,666

上記のように最近の14年間にドルおよびドル換算で計56億6,600万ドル、年平均4億500万ドルとなっている。しかし47年から52年まで6年間は比較的安く平均僅か1億9,400万ドルであったが、1953年に大きな借款が成立して以来増加した。

## 融資・投資の別

外資を融資と投資に分けると次のとおり。

年	融 資	投 資	年	融 資	投 資
1947	278	55	1955	145	79
48	9	67	56	248	139
49	119	45	57	307	178
50	52	39	58	626	128
51	222	71	59	589	150
52	110	94	60	763	122
53	551	60			
54	369	51	計	4,388	1,278

この表でわかるように利子を加えて返済に要する融資額は直接投資額の3.4倍以上となっており、融資額の増大は国際収支の赤字補填に当たった政府の借款が大部分を占めて増加していることである。

しかし直接投資も比較的伸びており、これは外国企業家のブラジルでの活

動条件が調えられていること、政府の方針による資本財の無為替輸入が効果的であったといえる。

### 外資の償還

年	償 還 額	年	償 還 額
1947	113	1955	312
48	241	56	356
49	208	57	370
50	198	58	431
51	188	59	540
52	182	60	582
53	211		
54	271	計	4,203

上記の14年間には42億300万ドル、年平均3億ドル弱が償還された。このように償還額も年々増加しており、同期間の融資額にはほぼ匹敵する償還額を示しているが、償還額は融資分割返済と所得で、その内容は次のとおり。

年	元 本	所 得	年	元 本	所 得
1947	58	55	1955	198	114
48	138	103	56	215	141
49	107	101	57	242	128
50	88	110	58	324	107
51	31	157	59	398	142
52	61	121	60	410	172
53	46	165			
54	134	137	計	2,450	1,753

このようにブラジルの外債負担は重く、分割償還額も年々巨額にのぼり、為替赤字も累積するので政府はアメリカ、欧州諸国、日本などより長期借款を得て、繰り延べにより事実上の支払を延期している。

この14年間の外国資本の所得は17億5,300万ドルとなり、その内訳は利息6億2,500万ドル、利益および配当11億2,800万ドルである。なおこの11億2,800万ドルはブラジル国内再投資5億6,500万ドルと本国への送金5億6,300万ドルとなっている。

## 5. 外国貿易

### 外国貿易

ブラジルの外国貿易について、ブラジル銀行の年次報告書は毎年その実情を報告しているが、ここに1962年、63年、64年の各年の報告書からその概要の要点を併記して参考に供する。

#### 1962年

1962年度におけるブラジルの輸出総額は12億1,420万ドルで最近10年間における最低額を記録した。またこれに並行して経済開発および資本市場において外資の入国少なく、結果として貿易バランスは2億6,100万ドルの赤字となった。

コーヒーは依然として輸出総額の53%を占めているが値段は前年に比べ安かった。このような輸出不振はコーヒーの世界的生産過剰と国際協定の調整によるものであり、同じ理由で値下りしたのはココアで、4,160万ドルにも達しなかった。砂糖の輸出も前年を下回る3,950万ドルに過ぎなかった。

ただ鉄鋼石の輸出は伸びて6,830万ドルに達し将来が期待される。マンガン鉱は国内需要との関係で、前年度より14%少い2,750万ドルであった。

ブラジルの輸出額の減少は、一般に国際相場の下落が原因であるが、棉花についても同じことがいえる。ただし輸出量が増加したので250万ドルの増となった。このほか松材・シザール・ひまし油・牛肉などは多少伸びたが、カルナウーバ(ろう)、原油・米などは前年より減じた。

輸入抑制策としていろいろな対策がとられたが、1962年度の輸入総額は14億7,500万ドルに達し、前年度に比し1,500万ドル増加した。この内容をみると国内経済の伸長に益する設備、機械の輸入が大きな比重を占めている。油関係の輸入では原油(1億7,420万ドル)が断然多く、小麦の輸入も国産によって減少させる域には至らず、1億6,100万ドルで、前年を16%も上回った。外貨の直接投資はわずかに1,900万ドルに過ぎなかった。

以上国際貿易の現状は、国内資本がまだまだ不足しており、このような段階

では国際収支の不均衡は免れがたい。

#### 1963年

1963年のブラジルの外国貿易はここ7年間で最もよい成績を示した。輸出総額は14億650万ドルであったが、FOB価格では貿易尻1億1,300万ドルの黒字を示した。

コーヒー輸出は7億4,800万ドルで輸出収入の53%を占め、前年と同率であった。これはブラジル側の活動によって国際輸出入業者間に契約条件の改善が行なわれたこと、及びブラジル・コーヒーの減産から世界市場への供給減が予想され高値傾向が続いている。棉花は大体前年の輸出を持続している。

鉱石の輸出は、計9,820万ドルで前年より2%低下した。主なものは鉄鉱石7,090万ドル、マンガン2,460万ドルである。新市場の開拓に努めているが余り期待は望めない。理由はアフリカの鉱山開発に膨大な投資が行なわれており、その鉱石は欧州共同市場との特惠があるため、ブラジルの鉱石輸出の障害が見られる。

砂糖は前年の3,950万ドルに対し、7,240万ドルと大きな業績を取めた。これは輸出量の18%増と世界市場の高値およびアメリカの優先買付によるものであった。

輸入はFOBで12億9,400万ドル(CIF 14億8,700万ドル)で、前年に比し1,000万ドルの減となった。

1963年4月のSUMOC指令で為替は1ドル=600/620クルセイロを維持したことは輸入を増大した筈であるが、反面預託金を場合により契約額の200%とした結果中和された。

燃料および潤滑油の輸入は1,119万トンで2億1,844万ドル、前年に比して32万トン増加したが金額では161万ドル減少した。これは製品が減って原油が増えたためである。

小麦の輸入は16,200トンに減ったが、船賃の値上りで前年より305万ドル増額した。

#### 1964年

1964年度の貿易収はFOB価格で差引2億8,000万ドルの黒字となった。これは前年度に比べて1億6,700万ドルの増加である。

64年度の貿易はクルセイロ貨の価値低下に併行して輸出および輸入為替の売買レートに伸縮性をもたせて振興を計ったため輸出は伸び、輸入は能力の限度内に抑えた。これは為替補助などを廃止することにあった。

64年8月外資法を改めて外貨の導入を計ることとした。またSUMOCは小麦、石油、石油製品、新聞用紙、石油公社用設備機械、政府関係の送金およびコーヒー輸出以外のすべてのものが自由為替で取り扱われることになり、公定レートを600クルセイロ(買)、620クルセイロ(売)と改めた影響は大きかった。

さらに革命後コーヒー輸出も自由とし、小麦、石油系に対する為替補助を打ち切った。これによって64年6月には伯銀為替レートは1,160/1,200クルセイロに改められたが、8月には1,550/1,610クルセイロ、そして1825/1850クルセイロと低落した。

このため輸出は非常に停滞した。そして主要輸出品である棉花、砂糖、ココアの輸出は減じた。これは東北地方旱魃による生産量の不足、世界的生産過剰による棉花、ココアの値下がりにも基因した。

コーヒーの輸出が減少したのはアメリカ業者が1963年10月以降64年上期までストックしたため相場が暴騰し、標準物で1ポンド32.95セントであったものが1964年3月には49.85セントとなった。しかし1964年4月以後ブラジルの出荷時期には45.18セントに下がったことと、前年の数量1,132万俵に対して1964年には742万俵に止まった。

1964年度の国際収支は約10億ドルの支出額に達し、有史以来の赤字が予想された。革命政府は債権国に対して支払延期を要請するほかなく、2年間繰り延べに成功した。政府はこれと並行してインフレ収束策を打ち出したが、これはまだ完全に現われていない。通貨当局は国際収支のバランスを保つためにスワップを行ない、金塊6,000万ドルを売却した。

以上が3カ年にわたる各年度の貿易の実情である。

伯国の貿易実績表 (1952~1963)

1952~63年間の輸出入

(単位: 100万ドル)

年	輸 出 (f.o.b)	輸 入 (c.i.f)	差 引
1952	1,418	1,986	-568
1953	1,539	1,319	+220
1954	1,562	1,634	- 72
1955	1,423	1,306	+117
1956	1,482	1,234	+248
1957	1,392	1,489	- 97
1958	1,243	1,353	-110
1959	1,282	1,374	- 93
1960	1,269	1,462	-193
1961	1,403	1,460	- 53
1962	1,214	1,475	-261
1963	1,406	1,487	- 80

輸出相手国別表

		1961		1962		1963	
		100万ドル	%	100万ドル	%	100万ドル	%
計		1,403	100.0	1,214	100.0	1,406	100.0
地 域 別	アメリカ、カナダ	582	41.5	507	41.8	553	39.3
	ラテン・アメリカ	98	7.0	79	6.5	84	6.0
	LAFTA	95	6.8	76	6.3	76	5.4
	ヨーロッパ諸国	473	33.7	427	35.2	545	38.8
	EEC	313	22.3	289	23.8	394	28.0
	ボンド地域 ソビエト地域	89 75	6.3 5.3	79 73	6.5 6.0	77 92	5.5 6.5
国 別	アメリカ	563	40.1	485	40.0	531	37.8
	西ドイツ	114	8.1	110	9.1	112	8.0
	オランダ	71	5.1	74	6.1	109	7.8
	イタリア	48	3.4	35	2.9	83	5.9
	イギリス	62	4.4	54	4.4	55	3.9
	フランス	51	3.6	41	3.4	54	3.8
	アルゼンチン	67	4.8	48	4.0	46	3.3
	スウェーデン	44	3.1	43	3.5	43	3.1
	ソビエト	19	1.4	39	3.2	40	2.8
	ベルギー、ルクセンブルグ	30	2.1	30	2.5	36	2.6
	日本	43	3.1	29	2.4	32	2.3
	デンマーク	25	1.8	26	2.1	29	2.1
	カナダ	19	1.4	22	1.8	22	1.6
	その他	247	17.6	178	14.6	214	15.2

輸入相手国別表

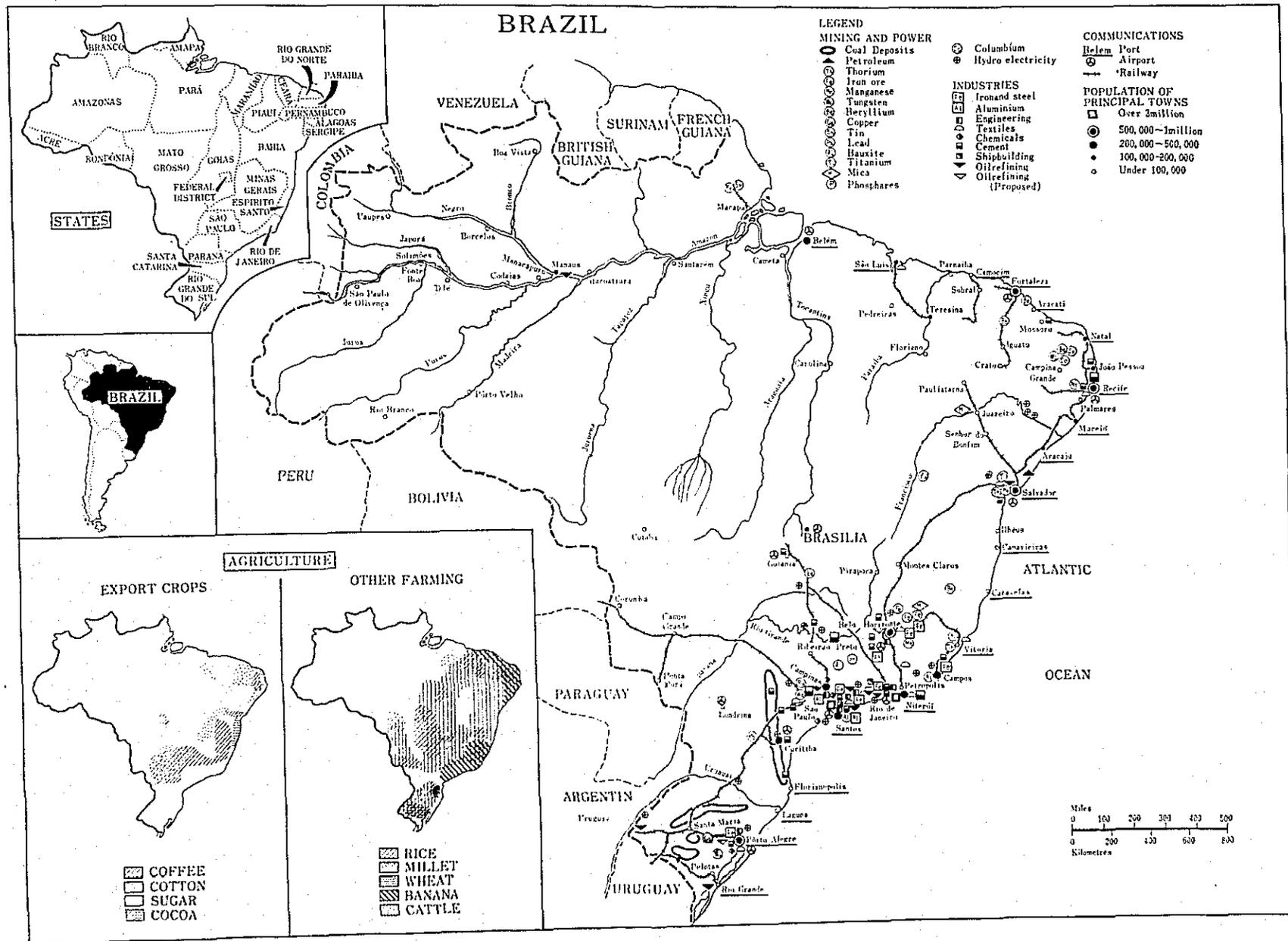
		1961		1962		1963	
		100 万ドル	%	100 万ドル	%	100 万ドル	%
計		1,460	100.0	1,475	100.0	1,487	100.0
地 域 別	アメリカ、カナダ	541	37.1	482	32.7	482	32.4
	ラテン・アメリカ	146	10.0	238	16.1	262	17.6
	LAFTA	45	3.1	129	8.7	164	11.0
	ヨーロッパ諸国	425	29.1	454	30.8	419	28.2
	EEC	262	17.9	302	20.5	297	20.0
	ボンド地域	98	6.7	95	6.4	93	6.3
	ソビエト地域	70	4.8	65	4.4	76	5.1
国 別	アメリカ	515	35.3	457	31.0	457	30.7
	西ドイツ	141	9.7	152	10.3	134	9.0
	ベネズエラ	99	6.8	108	7.3	97	6.5
	アルゼンチン	30	2.1	86	5.8	88	5.9
	フランス	43	2.9	66	4.5	77	5.2
	日本	79	5.4	60	4.1	62	4.2
	イギリス	47	3.2	46	3.1	53	3.6
	サウジアラビア	37	2.5	49	3.3	48	3.2
	イタリア	44	3.0	42	2.8	45	3.0
	ソビエト	19	1.3	32	2.2	37	2.5
	スウェーデン	36	2.5	35	2.4	32	2.2
	カナダ	26	1.8	25	1.7	25	1.7
	クエート	25	1.7	26	1.8	22	1.5
	オランダ	51	3.7	25	1.7	20	1.3
その他	265	18.2	266	18.0	290	19.5	

## 輸入品目別表

輸 入 品	1961		1962		1963	
	100万ドル	%	100万ドル	%	100万ドル	%
計	1,460	100.0	1,475	100.0	1,487	100.0
機 械 類	520	35.6	503	34.1	437	29.4
車 両 部 品	124	8.5	137	9.3	120	8.1
電 気 機 械 装 置	89	6.1	89	6.0	58	3.9
工 作 機 械	55	3.8	75	5.1	39	2.6
燃 料 機 械 油	268	18.4	263	17.8	262	17.6
原 油	138	9.5	174	11.8	176	11.8
食 料 ・ 飲 料	199	13.6	238	16.1	251	16.9
小 麦	139	9.5	161	10.9	164	11.0
金 属 製 品	165	11.3	154	10.4	196	13.2
鉄 鋼 板	35	2.4	29	2.0	52	3.5
銅 (精 錬)	24	1.6	29	2.0	33	2.2
化 学 製 品	146	10.0	163	11.1	179	12.0
新 聞 印 刷 用 紙	30	2.1	25	1.7	24	1.6
ゴ ム (天 然 ・ 人 造)	25	1.7	22	1.5	19	1.3
そ の 他	107	7.3	107	7.3	119	8.0

## 主な輸入品の買付先

輸 入 先	1961		1962		1963	
	100万ドル	%	100万ドル	%	100万ドル	%
機 械 車 両	520	100.0	503	100.0	437	100.0
ア メ リ カ	151	29.0	194	38.6	—	—
西 ド イ ツ	80	15.3	86	17.1	—	—
日 本	49	9.4	41	8.2	—	—
イ ギ リ ス	21	4.0	24	4.8	—	—
燃 料 ・ 機 械 油	268	100.0	263	100.0	262	100.0
ベ ネ ズ エ ラ	99	36.9	92	35.0	—	—
サ ウ ジ ア ラ ビ ャ	37	13.8	49	18.6	—	—
小 麦	139	100.0	161	100.0	164	100.0
ア メ リ カ	118	84.9	86	53.4	—	—
ア ル ゼ ン チ ン	9	6.5	48	29.8	—	—
ソ ビ ニ ト	12	8.6	27	16.8	—	—



## 6. 3 年計画

クビチェック政権当時の「経済開発5年計画」は開発的プラスと財政的マイナスのうちにクビチェック大統領は任期を終り、赤字財政すなわちインフレ撲滅を旗印として立った反対党のジャニオ・クアドロスに政権は移ったが、議会勢力乏しかったためジャニオの選挙公約を果たそうとする努力はみならず、僅か半年で自から大統領の地位を放棄した。このあと副大統領ゴラルの昇格問題は混乱し、軍が行動する事態にまで陥ったが、とにかく大統領に就任した。しかしその置かれた新制度上の立場の故もあって、ゴラルは目新しい経済政策を打ち出そうとはしなかったので、クビチェックの5年政策の方向がいぜんつづく形となった。

この間、財政経済労働およびインフレーションの項で述べる状況とゴラル政権の左傾的傾向が軍はじめ政財界の反感をかき、ついに「3月革命」のぼつ発となった（次項、ブラジル経済最近の動向を参照）。

革命によって誕生したブランコ政権の基本的政策が「3年計画」で、その内容のあらまきは次のとおりである。

インフレ抑制を最重点目標とする。

生産的投資（15,000 km の道路建設，1,200 万 kw の電力需要等のため3兆2,400億 cr\$）。

コストが製品価格率を越えない対策。

企業に対する信用統制。

労働者住宅700万戸不足の改善。

農業労働と生産のための農業改革。

工業製品の輸出。

税制を改めて税収を増し、国民貯蓄の安定化を図る。

内外の資本を工業振興に流入する。このため外国資本制限を排除する。

給与に国民総生産を並行させる。

## 7. ブラジル経済最近の動向

1) 1956年のクビチェック政権以来、ブラジルは経済開発特に工業化政策を推進し、年々6—7%程度の経済成長率を示してきたこと、近年、インフレが過熱状態を示し、1963年には年間の物価上昇率80%という記録の高率に達し、同年の経済成長率は、2%強に落ち、人口増加率にも及ばなかった。

特に、ゴラル前大統領は、63年下半年より経済ナショナリズム及び社会化政策を旗印にして、強引に外国系企業の接収や活動制限、農地開放など革新的な経済政策を次々と打出し、また、自己の政権擁護のため、組織労働者および下級軍人を徒らにせん動する労働政策を採ったため、賃上げあるいは政治目的のストライキが続発し、上記インフレの昂進と相俟って、経済界は混乱と停滞に陥り、ついに同政権の経済政策は行き詰まった。

2) ゴラル前大統領に対する4月革命は、軍部及び一部政治家を中心に国民一般の圧倒的な支持のもとに、極めて短時日の間に、しかも無血で成功した。革命後成立したカステロ・ブランコ將軍による新政権は、当面する緊急経済政策としてインフレの漸進的終息策をとり上げ、連邦政府の財政建て直しのため、64年度実行予算の30%削減、石油、小麦および新聞用紙の特恵輸入レート適用の廃止、税制改革及び脱税防止の徹底などの措置をとった（前政権による予算編成時、連邦政府の1964年財政赤字は6,316億クルセイロと見込まれていた）。

3) しかしながら、従来からの墮性、64年2月の最低賃金の倍額引上げの影響、上記輸入特恵レート適用の廃止によるはね返りなどにより、革命後も物価値上りの歩調はゆるんでいない。革命直後、新政権は「政策よろしきを得れば、年間インフレ率は70%に止め得る」と言明していたが、ヴェルガス経済研究所の調査によれば、1—6月間にすでに42%の物価上昇を示しており、特に食料、日常必需品あるいは公共サービス料金的大幅値上げは庶民生活を圧迫しはじめている。この間、通貨発行高をみるに、63年末現在8,888億クルセイロであったのに対し、1—3月750億クルセイロ、4—6月1,000億クルセイロ発行されており、この面でも改善のあとがみられない。最近、陸軍部内におい

て、これらの事態を憂慮し、全国的な物価動向調査を始めたが、新政権としても、国民の支持を得て初めて革命が最終的に完成するという立場にあり、今後の経済政策如何がその成否の重要なかぎとなろう。

4) 一方、ブラジルの対外債務の繰延べ交渉は、64年2月より前政権の手で日本、米国及び西欧諸国との間で始められたところ、新政権はこれを引継ぎ7月1日、ブラジルの対外債務のうち、64、65年内に返済期限の来るもの約6億ドルの70%の支払いを延期することに原則的了解をとり付けた。

また、新政権の目指している比較的穏健な経済政策の方向（例えば、海外利潤送金規制法の改正による外国資本の制限緩和など）に好感して、米国が5,000万ドルの新規援助を約束したほか、「進歩のための同盟」でも、最近東北伯地域の縦断道路建設など新しい建設プロジェクトを承認した。また、ドイツの対伯2億マルク借款も、5月上旬のドイツ大統領訪伯を機に軌道にのり始めた。

新政権は、経済開発の推進に有効な外資導入を図るため「外国利潤送金規制法」の改正を国会に提案中であるが、ゴラール政権時代見られたような外国系企業や外国資本に対するかたくな態度はとられず、一定の枠内で、外資を受け入れようとしているように見受けられる（ラテンアメリカ経済情報 昭39.9号より）。

## Ⅵ 生活・労働

### 1. 住民の社会的生活

#### 国籍の取得と喪失

日本からの渡伯者または外国人がブラジルの国籍を取得するために、帰化の条件・手続を定めた法律の規定（省略）に従うこと、および両親が外国人であってもブラジル国内で出生した者はブラジル人とみる。在ブラジル日本人の場合、子の出生を日本領事館に届出を行なって日伯両国の国籍を取得させておく例がある。

本人の自由意思で他国に帰化した者はブラジルの国籍を喪失する。国の利益に害ある行動をして法律の規定によって判決されたとき帰化は無効になる。

#### 人権とその保障

ブラジル連邦憲法(第4編第2章 権利宣言)は、人権とその保障について広範詳細に規定している。その中から関係あると思われる部分を列举すれば次のようである。

憲法はブラジルの国内に居住するブラジル人および外国人に対して、下記により生命、自由、個人の安全および財産所有に関する権利の不可侵を保障している。

すべての者は法の前に平等である。

何人(なんびと)も、法律によるほか、作為・不作為を強制されることはない。

法律は、完全な法律行為による既得権を害することはない。

個人に対するどのような権利侵害も裁判を除外することはない。

思想の発表は検閲をうけることなく、自由である。ただし法律に定めあるとき、および自由の濫用については各自責任を負うものとする、匿名は禁ずる。反ばくの権利は保障する。

図書および定期刊行物の発行は許可を要しない。ただし戦争、政治および社会秩序破壊のため暴力手段または人種、階級的偏見の宣伝は許さない。信書の秘密は不可侵とする。

信教の自由は不可侵とする。

宗教礼拝の自由な施行を保障する。ただし公序良俗に反するものはこの限りでない。

何人も宗教、哲学、政治上の信念を理由とされてその如何なる権利をも禁止されることはない。ただし良心のゆえをもって一般ブラジル人に課せられる義務を回避することはできない。

何人も武器を所持せず集合することができる。官憲は公序確保の場合のほか集合に干渉することはできない。公序確保のため官憲は集合場所を指示することはできるが、集合を無効または不可能にすることはできない。

適法な目的のための結社の自由を保障する。いかなる結社も裁判によるのほかに解散させられることはない。

基本的権利を保障する民主制度に反対する政党、結社およびその連合体の組織登録に活動する。

いかなる職業を営むことも自由とする。ただし法定の条件、資格を守らなければならない。

住居は不可侵の安息所である。他人の住居には、犯罪もしくは災害の被害者に助力するときのほか、何人も許しなく侵入することはできない。

家族は解消することを得ない婚姻によって構成され、国の特別な保護が与えられる。婚姻は民事手続きによると、宗教的挙式によるとを問わず、当事者または関係者のいずれかが登記所に登録しなければならない。

産婦、幼児、児童に対する援助はブラジル全土になさるべき国の義務である。多数の子女をもつ家族の保護は法律をもって定める。

ブラジルに存在する外国人の財産の相続はブラジルの法律によって行なわれる。

金銭による正当な償いを約した公の必要または社会的利益のための公の収用のほか財産権は保障される。

発明、商標、著作権は法律によりその者の特権として保障される。

何人も現行犯、または法定の文書辞令によるのほか逮捕されることはない。法定の保証をなすときは何人も刑務所に送られたり、留置されることはない。逮捕または拘留はただちに判事に通告され、適法でないときは釈放される。

不法行為または権限の濫用で、行動の自由に暴力、圧迫が加えられているときは、何人に対しても人身保護令が適用される。

告発をうけた者に訴による防衛手段を保障し、24時間以内に官憲において措置される。

陪審制度を維持する。

いかなる刑罰も犯人以外には及ばない。

死刑、流刑、終身刑は存しない。

政治犯および言論に関する罪による外国人、並びに理由のいかんによらずブラジル人を外国へ引き渡すことは許さない。

法律によるのほか税の増徴は認められない。

官吏の権限濫用に対して何人も告発し、その責任追求の権利を保障する。

法律にしたがい、すべての人はその財産を所持してブラジルに入国し、滞在し、出国することができる。

公序に有害な外国人はブラジルより追放することができる。ただし、その配偶者もしくは経済的に依存する子がブラジル人であるときはこの限りでない。

経済および社会の秩序（第5編抜萃）

経済秩序は、企業の自由と労働の価値とを調和させる社会正義の原則にもとづいて組織させていなければならない。

すべての人に正しい生存をなしうるための労働を保障する。労働は社会的な義務である。

連邦は特別法によって、経済の領域に関与したり、特定の事業活動を独占することができる。ただしその関与は公共の利益にもとづくものであって、憲法で保障する基本的権利を限定することはない。

財産の使用は社会の福利に反しないことを要する。

市場の独占その他の経済力の濫用は法律をもって抑制する。

地下資源、水力発電開発に関する事業は連邦政府の許可を要する。これらの許可はブラジル法人に限り与えられる。

沿岸航路は内国船舶に限り許可される。ただし公の必要あるときはこの限りでない。内国船舶の船主、船長はブラジル人、その船員は少なくとも3分の2がブラジル人でなければならない。

植民および公有地の利用を立案し、農村住民の定着を容易ならしめる。これにはブラジル人失業者、疲へい地の住民を外国人に優先させる。1万ヘクタールを越える公有地の譲渡、使用特許は上院の議決を経なければならない。

土地を所有しない者で、他から異議をうけず、他人の所有地として認められることなく、ひきつづき10年間、25ヘクタールを越えない土地を占有して自己の労力で耕作地となし、その地に居住する者は、宣言判決によって登記することにより所有権を取得する。

労働法規、社会保障法規は労働者の労働条件を改善することを目的とするものであるが、①賃金は性別、国籍別により差別することはない。②企業の利益の分配等には労働者は直接かつ義務的に参加する。③1日の労働時間は継続8時間とする（以下労働の項参照）。等を原則とする。

## 労働

ブラジルにおいて労働は、尊重されている。民主主義、資本主義の国柄ではあるが、ヴェルガス大統領以来最近に至るまで30余年の永い間、勤労大衆の党（労働党・社会党など）を与党として国政が進められてきたために勤労者の立場は高く評価され、つよく擁護されるようになっている。

労働に関する法規は十分に整備されており、資本家の企業活動に支障があるとさえいわれるほどである。現行の労働法規の主なものには1919年から実施されており、傷害保険、婦人と少年保護、商業衛生、有給休暇などが次々に加えられ、また外国人との関係において企業の従業員数および支払う賃金、給料等の額は各3分の2がブラジル人によって占められ、与えられなければならないという所謂3分の2法などがあり、以前から最低賃金制が敷かれている。

参考までに労働法の中から特色的なものを摘記すると次のようである。

同一労働においては男女の別なく同一給が支給される。

18歳以上の労働提供者は労働手帳を所有し、雇主は賃金、休暇等の必要事項を明記しなければならない。

1日の就労は原則として8時間、週6日の労働制。

超過勤務には20%アップの手当を支給。

各1日の労働の後には11時間の休息時間をおくこと。

休日、祝祭日および年次有給休暇制の実施。

最低賃金は衣食住、保健、交通費を満足させる額であること。

最低賃金以下の雇傭契約は無効とされる。

使用者側の所有、合併、変更等は労働契約に影響させてはいけない。

労働契約上の権利は破産、解散等の場合も存続する。

破産や和議の場合労働者の請求権の3分の1は優先権とし、残余は普通債権として設定される。

勤務中の発明等による利益は折半される。

給料等の支払い期間は1カ月を超えてはいけない。月払いは遅くも翌月の10日まで、半月払いや、週給は5日以内に支払うこと。

使用者は本人の同意なく契約と異なる地へ転勤させることはできない。

契約期間ある場合、正当な理由なくして契約を廃棄することはできない。

もし廃棄した場合はそれによって生ずる損害を賠償しなければならない。

10年以上の勤続者は、重大な過失、不可抗力の事情のない限り解雇されることはない。

この永久従業員になることを妨げる使用者は規定賠償の倍額を払わなければならない。

不可抗力等で給料等を減額する場合は25%以内とし、最低賃金を割ることはできない。減額の理由が止んだときは原給に復する権利が与えられる。すべて3人以上雇傭する使用者は3分の1より多い生来のブラジル人を使用すること。また給料の額においてもこの比率を守らなければならない。

上記の数および額の割合を変更しようとするときは理由を明かにして労働大臣の判定に従う。

外国人が行なうと同等の仕事に従事するブラジル人に、より少い給料を支払ってはいけない。

仕事の不足、廃止で人員整理を行なう場合、外国人よりブラジル人を先きにしてはいけない。

企業利潤の分配に労働者が直接参加する。

100名以上の事業場には従業員やその家族に無料で初等教育を施す義務がある。

合法的な罷業権は認められている。また労働裁判所は労使間の個人的または団体的争議の係争に関する調停と裁判を行なう仕組みになっている。

労働組合は1931年以後正式に認められており、また労働法規は労使組合の結成も自由として認めている。労働組合の連合組織は大統領の裁可事項となっている。

#### 最低賃金制

最低賃金制は1962年1月から、法律によりブラジル全国に実施されており、その賃金の額は物価、生計費等一般経済の動向に応じ、法律により改訂される。

現行(1965年2月)の最低賃金は別表(インフレの項に掲げた)とおりでであるが、52年に実施されてから13年間にリオデジャネイロ市で55倍、その他の地区でもほぼ同程度のアップが行なわれている。

なお最近はこの最低賃金に僅かの修正を加えたものが農業労働者にも適用さ

れることになった。

### 工業技能者の不足

ブラジルの工業界にとって工業労働能力を得ることは大きな課題である。一方労働者に直ちに工業能力を求めても不可能であり、現在は SENA I (工業実習訓練所) で職業訓練教育をはじめているが、全ブラジルで僅か 3~4 万人しか収容能力のないこの機関で或る程度の間に合わせて教育を行なっても、多種多様の工業化が進んでいる今日、そして 50 万以上の青年労働者の質の向上には追いつかない。政府は大いに技術教育を拡大しようと検討をつづけているが、統計は次の数字を示している。

### 業種別年間離職率

(業 種 別)	(離 職 率 %)
紡 績 工 業	34.4
金 属 工 業	38.9
化 学・薬品工業	48.8
食 品 工 業	33.8
非 鉄 金 属 工 業	34.6
土 木・建 築 業	82.7
衣 料・製 靴 業	35.3
電 機 通 信 工 業	41.3
機 械 工 業	26.8
印 刷・出 版 業	23.0
輸 送 資 材 工 業	38.7
飲 料 工 業	49.8
製 紙 工 業	45.0
ゴ ム 製 品 工 業	64.6
家 具 工 業	31.0
た ば こ 工 業	17.8
皮 革・毛 皮 業	41.5
木 材 工 業	27.4
そ の 他	62.4

これは未熟練工がより好条件の勤め先を求めて常に入れ替っていることである。土建業の例をとれば、年初に 300 人の労務者を集めて工事にかかっても 1 年の終りには 52 人になってしまうという現象である。

そこで問題は職業教育を行なうにしても、4,000万から4,500万に達する文盲にどのようにして初等教育を施すかである。政府が1970年までに達しようとしている教育計画は

	1961年	1970年
初等コース(14才未満)	7,800,000人	14,000,000人
中等コース	1,642,000	3,000,000
上級コース	121,000	300,000
計	9,563,000	17,300,000
総人口	72,900,000	96,700,000
%	13.1%	17.9%

この計画実施のためには20万人の小学校教員、10万人の中学校教員、3万5,000人の上級教師が必要とされ、同時に平常予算以外の予算が必要となる。過去の長い期間にも同じ社会的な要求があったのに実施に移されなかったが、国家経済はいぜん同じことをつよく要求している。

熟練工分野を強化するために外国移民導入の促進が計られ、外務省は教育を受けた熟練工を優先するよう入国条件を改めつつある。(資本を持った農業者か専門的な工具または技術者とすることに)。しかし世界各国が技能者を必要とし、他国ではブラジルよりも高い給料を支払っているのが現状である。政府と企業家の考え方が大きく変わらなければこの要求が満たされそうにない。

いずれにしてもブラジルは毎年100万人の新しい労働力が社会に職を求める国であり、年々10億ドルの新規投資もしくはそれに相当する経済の上昇が必要とされる国である。

### 社会保障

ブラジルの社会保障制度は1923年以来、鉄道従業員の退職、恩給制度確立この方にわかに発達し、現在では商・工・農・家事従業員などにも及んでおり、労災・老年・疾病保険・遺族扶助等がある。産業実習事業団 (SENAI) は産業労働者の福利を図り、実習学校を経営し、その生徒には医療・衛生・スポーツ・社会運動などの便宜が与えられている。これと大体同じ目的で産業社会事業団 (SESI) が設けられ、産業労働者の健康診断、治療、出生、育児、栄養、

住宅問題などの援助を行なっている。また商業実習事業団 (SENAC) と商業社会事業団 (SESC) とは商業従事者保護のため創設され、公務員のためには公務員災害予防救済会 (IPASE) が退職・家族手当・医療・住宅・貸付などの福利事業を行なっている。

### 公衆衛生

ブラジルの衛生状態は住民の文化程度・地域・環境などによって著しく差異がある。主な都市の衛生状態は村落・僻地に比べると遙かに良好である。リオヤサン・パウロ、ペロ・オリゾンテなどの死亡率は欧米の大都市に比べて何等の遜色はない。最近ブラジルの公衆衛生は著しく高められ、連邦はじめ州、郡市はこの施策に大きな予算を計上している。また、アメリカ事業団との提携で資金、技術の供給を受け、病院・ヘルスセンター・浄水装置・下水処理・蚊の撲滅・水害対策・巡回医療班の活動など、諸般の衛生対策が進められている。ブラジルの主な都市の衛生・医療施設はだいたいにおいて完備しており、医術の程度は高いが、内奥地ではまだ医師、病院、看護婦が不足している。

## 2. 教育と文化

### 教 育

憲法 (第6編) によれば——教育は、すべての人の権利であり、家庭および学校において行ない、自由の原理、人類連帯の理想を鼓吹すべきものとされている。そして制定される教育法規には次のことが採択さるべきであるとしている。

- ①初等教育をうけることは国民の義務とし、教育はブラジル語で行なう。
- ②公立学校の初等教育は無料、それ以上の公立学校の教育は、資力不十分な者に対して無料。
- ③100名以上の従業員をもつ企業は初等学校を設置し維持する。
- ④宗教教育は公立学校の教科とする。ただしその編制は任意とし生徒の信仰告白によって授けられる。
- ⑤公立学校の教官は終身制と学説の自由が保障される。
- ⑥教育の維持発展のため連邦政府は税収の10%、州郡は20%以上を使用する。

### 現在の教育制度

憲法の規定をうけて現在、連邦政府は税収の1割、各自治州および直轄州は各税収の2割またはそれ以上を支出して、初等教育は無料で、5年であるが、その中3年は義務教育である。地方の初等学校は3年制のところが多く、すべてポルトガル語（ブラジル語）で教育されている。最近は中等教育も大いに進み、4カ年の基礎教育を行なう中学校と、3カ年の専門教育を行なう高等学校に分けられており、技術学校、商業学校、師範学校などは中等教育の分野とされている。

産業の発達とともに専門学校の必要に迫られ、特別法が公布された。これによると公立専門学校は4年制の工業学校で職業教育をうけ、さらに期間3年の技術学校へ進むか、または2年制の専門教育を受けることができる。

高等教育としては現在ブラジルには総合大学が11（連邦立3、州立5、私立3）、リオ、サンパウロ、サルバドル、ペロ・オリゾンテ、クリチーバ、ポルト・アレグレなどにある。このほかに単科大学と大学予科が高等教育機関として全国に総計516校あり、1953年の統計では高等教育機関の在校生総数は55,091名であった。

1950年調査の統計によると初等教育修了者約530万人、中等教育修了者95万人、高等教育修了者19万人となっている。

### 文 盲

1950年の調査による政府の統計によると、10才以上のブラジル人3,655万余人のうち「読み書きの出来る者」は48.35%、「全く文字を解さない者」は51.65%となっている。しかしその10年前の1940年には「読み書きの出来る者」のパーセンテージは41.43%であったから、最近はかなり文盲の数は減少しているものと思われる。

### 文 化

中南米をラテンアメリカと呼ぶのは、ラテン文化の流れをくむスペイン人、ポルトガル人によってこの地域が発見され、開拓された文化圏内にあるからで、アングロ・サクソン文化を受けついで北米やカナダに対してラテン・アメ



ブラジリアの見事な造形と空間

リカというようになった。このラテン系アメリカ諸国の中でブラジルだけがポルトガル語を話し、他はみなスペイン語である（この二つの国語は東北弁と関西弁の差ぐらいしかないといわれる）。これはブラジルがポルトガル人によって発見、領有、開拓されたからである。

したがって、同じラテン系といってもブラジル人の気質はメキシコ人やアルゼンチン人とは必ずしも共通しない一面も持っている。大体スペイン系は情熱的で激しやすいといわれるが、ブラジル人はそれに比べると温和である。これはブラジルの建国以来の歴史をみてもわかるように、ブラジルの独立には一滴の血も流されていない。

また国民構成の要素であるアフリカ系黒人と先住民であるインジオの影響をうけついでいるので、アングロ・サクソンに見られるような根強い人種的な偏見もない。雑多な異人種と溶け合いながら国を発展させてきたブラジル人は世界でも稀な賢明な国民というべきであろう。

そこで、このような民族性の根源を探れば、ラテン文化の根本であるカトリック教の影響であることに気がつく。しかし近年になって国家意識が盛んになり、ブラジル人の文化、特色的なブラジル文化が大いに発展しつつある。

特に建築・彫刻・絵画・文学・音楽・スポーツなどの諸分野で特色を発揮しつつある。

## 建 築

ヨーロッパの建築が教会と城塞の建築から発展したといわれるように、ブラジルの建築もカトリック寺院の建築から見てくる必要がある。ブラジルでは村や町の中心、人目に最もつきやすい場所には寺院の尖塔が見える。その建築様式は典型的であるが、その建てられた時代を反映して、専門家にとっては興

味深いものがある。

サンパウロ市のアベニダ・パウリスタ、リオ市のアベニダ・リオ・ブランコはブラジル建築の標本を並べたようである。荘重なローマ風の古い建物の間に軽快なデザインをあしらったアメリカ的建物がふえており、その新旧のコントラストには心を惹かれる。

近年のブラジルの建築設計と技術は世界最高のレベルに達している。少し古い建物の代表的なものとしては、リオの João Caetano 劇場や A Noite ビルがあり、建物全体を数本の柱で宙に浮かすような建築様式を考え出し、また Brasilia の偉観は、世界の建築専門家をして驚嘆させている。

著名な建築家としては、フランシスコ・セラドール、エミリオ・バウムガルト、オスカル・ニーマイヤー、ジョゼー・レイス、ジョアキン・カルドーゾ、ステリオ・アルベス、アレシャンドレ・バルダシーニなどが挙げられる。

なお、オスカル・ニーマイヤーはニューヨークの国連本部ビルおよびブラジリアの主任設計者として有名である。

## 彫 刻

ラテン民族のつくった国だけあって、高級な美術品が市民の日常生活の中にとり入れられている。公園や広場にはすぐれた彫刻や塑像が多く見られる。しかし、国民一般の芸術観はそれほど高くはない。芸術の本山であるヨーロッパとの交流おおく、世界的な芸術家の来訪が盛んである。新しい国だけに民族的な特有の芸術はこれからに期待され、いまはまだヨーロッパの亜流と見てさしつかえないだろう。

ブラジルの彫刻界は建築や絵画、音楽などに比べて、ブラジルらしさを余り出してない。それは主として人体に主眼が注がれて来たためであるが、イピランガ記念碑の壁面彫刻やイピラプエーラ公園のバンデイランテの群像のようにモニュメンタリテイの問題と取り組んで成功しているものもある。

有名な彫刻家としてビクトル・ブレッシュ（仏人）、ブルーノ・ジオルジ、マリア・マルチンス、マリオ・グラヴォなどが挙げられる。

彫刻に関して特筆すべきは、寺院の壁面や数々の聖者の像の中に、すでにヨ

ヨーロッパでは見ることの出来なくなった古い時代の伽藍彫刻が、国内の古い市や地方に残っていることで、観光旅行者の興味の対象となっている。また、もう一つ特筆に値いすることは、リオ・デ・ジャネイロ市の建築法令で、これには「建築家はその設計の中に、たとえそれが僅かでも、絵画または彫刻を採り入れなければならない」と規定されていることである。これは画家や彫刻家に秀れた仕事をするための場を与えようとする文化的な公の意図である。

### 絵 画

絵画界もまた国際的な水準に達している。ブラジル絵画の要素は、原住民、ムーン人の後裔であるポルトガル人・スペイン人・アフリカ人など混血体が、ヨーロッパからの影響をうけて、熱帯的な風物と融合したところに発生・発展している。従って国内的には題材の関係から地方的な色彩に富み、画風もリオ派、サンパウロ派、ポルト・アレグレ派、ベロ・オリゾンテ派などと画家たちの間にセンターが分れている。ブラジルの国際的に著名な画家としてはシカンドット・ボルチナリ、ラザール・セザール、タルジラ・ド・アマラル、アルベルト・ギナルド、エミリアーノ・デ・カバルカンチなどが挙げられる。

### 出 版

1955年の統計によるとブラジルでは次のような書籍が一般的に読まれている。

著 書 種 類	著書数	冊 数
一 般	489	8, 816, 002
哲 学	62	237, 715
宗 教	464	8, 042, 899
社 会 科 学	640	3, 028, 818
言 語	244	2, 651, 122
化 学	108	1, 111, 054
応 用 化 学	274	1, 243, 730
美 術・趣 味	102	564, 329
文 学	752	4, 066, 202
地 歴 伝 記	250	1, 336, 458

## 音 楽

ブラジル特有の音楽といえば、アルゼンチンのタンゴにも比すべきサンバとバイオンである。タンゴはスペインから移り、アルゼンチン風に変化したものだがサンバは北部ブラジルの土民の間から生まれた純粋な郷土音楽である。

一般に楽器は絃楽器よりも打楽器が用いられる。

1世紀前にヨーロッパで死んだカーロス・ゴメスはブラジルの土民を主題にした歌劇“ガラニー”を作曲して欧米にも有名となった。

1900年頃からブラジルの音楽が従来より一層独自の風格を帯び、ヨーロッパのオペラの影響から離脱して、地方的な交響楽や室内楽の作品が現われはじめた。アルベルト・ネボムセーノ、ブラジリオ・イチベン、アレシャンドレ・レビらは共にブラジル人の国民情操の融合につとめ、その歌曲の調子は大衆的なメロディをもつものとなった。またエルネス・ド・ナザレのピアノ曲は全ブラジルを風靡し、舞踊マツシエは海を越えてロンドンやニューヨークにまで流行するに至った。有名な作曲家としてはエイトール・ヴィラ・ロボス、ルツアーノ・ガレ、フルツオーゾ・ピアナ、ジャイメ・オパーレーなどがある。

## 映 画

国家の補助をうけている撮影所 Vera cruz があるが、活発な活動はこれからである。

国際的に好評を博したのものとしては、「オ・カンガセイロ (山賊)」、「オルフェウ・ド・カルナバル (黒いオルフェ)」、「オ・バガドール・デ・プロメッサ (サンタ・バルバラの誓い)」などが有名である。そして最近わずか3年の間に22の国際芸術賞を得たということもブラジル人の自慢のたねである。

しかし製作本数においてまだ少く、多くの市民は外国映画に興味をもち、アメリカやヨーロッパの映画が好評である。最近では日本映画もなかなか評判もよく2,3の常設館で常時上映されている。

## 定期刊行物

1956年調査によるとブラジルには次の刊行物が定期的に発行されている。日

刊新聞143種、計332万7,000部、定価平均1.90クルセイロ。日刊以外の新聞112種、計103万2,000部、定価平均2.60クルセイロ。雑誌364種、計1,062万5,000部、定価平均12.20クルセイロ。その他の定期刊行物44種、108万5,000部、定価平均46.80クルセイロ。

#### おもな定期刊行物

新聞 O Comercio, O Estado de São Paulo, Folha da manhã, Folha da noite, A Gazeta. など。

雑誌 O Cruzeiro, Visão, Mancheta, などは著名な雑誌であり、邦字刊行物、パウリスタ新聞、サンパウロ新聞、日伯毎日、南米時事その他の邦字新聞が発行されている。

#### マスコミ界の実情

##### 1964年の動向——パーナス誌

雑誌 従来ブラジルの新聞・雑誌等の出版事業は、広告収入が主で購読料におもきがおかれていなかった。それは郵便通信業務が不十分なため予約者からの集金経費が高くつくからである。そのため最大の新聞でも予約購読者は12万を出ず、とくに最近発行されている技術雑誌などは広告料収入一本で無料で配布しているものが少ない。

長いこと関税上の恩恵をうけていた用紙の輸入免税が廃止されたので各出版社の経営は苦しくなった。

#### 出版社と主要出版物

ビゾン社	ビゾン、ジリジェンテ、インドストリアル
アンシェニェッタ社	マンシェッタ、フォトスエ、ファットス
クルセイロ社	オクルセイロ
アブリル社	クラウジア

テレビ、ラジオ テレビ、ラジオともに業界の競争は激しい。大都市ではテレビが優勢で、ラジオは地方化の傾向にある。

テレビ業界も番組面ではナマ放送がフィルム物より評判がよいが、いずれにしてもドルが高くなり、国内フィルムは零に等しいので苦勞している。

**新聞** 新聞用紙に対する補助金の打切り、記者、印刷工の給与改訂が新聞原価を高め、政変等による取材費の増大、信用の縮少などのため活動はにぶった。広告主は広告を大巾に削減したので、新聞社は6月と11月の2回にわたって広告料の値上げを行なわなければならなかった。用紙の値上げで販売部数は大きく落ちた。

広告免税を利用した広告主と組んでの水増し広告料も免税の解消により無意味となった。

市場（読者）が小さいため、政府の援助がなければブラジルではマスコミは育たない。

販売拡張のアレルギー反応でつづいてきた。

## スポーツ

**フットボール** ブラジルの国技ともいうべきものはフットボール（フ式）だ。国内どこへ行ってもやっている。リオのマラカナンやサンパウロのパカエンブーなどの競技場は南米で最も大きい。ブラジル人の生活の中で占めるフットボールの重要性は、スペイン人の闘牛、アメリカ人の野球に比較できる。日々の新聞やラジオ、テレビ、街路での立話しの論議の種はいつもフットボールだ。

気候的条件に恵まれているので、ブラジル人はおしなべて熱烈なスポーツファンであり、スポーツ好きであり、新鮮な野外の大気を好む国民だ。フ式蹴球は最も国民の興味をひくスポーツだが、これは約50年前にサン・パウロに住む一英人が導入したことにはじまる。南米式フットボールは非常な速度と演技をとまなう。その演技は巧妙な奇術師そのものの技で見物人を喜ばせる。毎年12以上のクラブ・チームが欧州、北米、南阿、近東地方などに遠征する。

収容人員20万のマラカナン競技場で催される大きな選手権争奪戦などは、常に150万クルセイロ（邦貨約300万円）以上の入場料収入をあげている。リオのマラカナンとともにサンパウロのパカエンブー競技場は国際的に有名である。

**テニス** ブラジルのテニス選手はロナルド・モレイラは、デ杯戦で濠州のリュー・ホウドを破った。1956年にはブラジル庭球界のホープ、カルロス・フェルナンデスはシングルの世界選手権を獲得したほか、ノルアン・ベリーと組ん

でマイアミでのダブルス戦にオレスジ・バウルを破ったこともあり、なかなか盛んである。

**ボクシング** 前世界バンタム級チャンピオン エデル・ジョフレは、さきごろ日本のファイティング・原田に敗れその座を譲ったが“世紀のチャンピオン”として世界にその名をとどろかした。

**フィールド競技** 有名なハイ・ジャンパーであるアデマル・フェレイラ・ダ・シルヴァは16メートル56を跳んで、かつてメキシコにおける汎米試合で世界記録を樹立した。また、1956年のメルボルンのオリンピックでは16メートル26で別の世界記録を作った。

**水泳** シルヴィオ・ケリー・ドス・サントスはスペインのサン・セバスチャンの国際大学試合に名声をあげた。

**バスケットボール** 1956ブラジルチームはつねに世界の最高レベルにあり、国際試合で好成績を挙げている。

**自転車競走** 1956年に世人の注目を引いたレースは、リオ市一週レースと、リオ＝フリブリゴ＝テレボリス＝リオのレースだった。ルイス・クッシングとクラウジオ・ロザの二人はブラジルの代表選手だ。

**競漕** ロドリゴ・フレィタス湖上の美しい夜のボート・レースは、毎年のスポーツ行事に華を添えている人気あるスポーツである。

**バレー・ボール** リオ海岸のバレー・ボールは大衆をひきつけ、旅行者にも珍しい観物を提供している。

**ゴルフ** ゴンザレス兄弟とマリオ（以上はプロ）とビンドニッカ（アマチュア）は相変わらずブラジルのベストゴルファーの地位を保っている。ガヴェア・ゴルフ・クラブは1955年に大きな国際試合を催した。

**ヨット** ブェノス＝リオ間の競漕は1955—6年のシーズンの一大アトラクションであった。この競漕にはブラジル、アルゼンチン、ウルグァイ、キューバ、北米、英国の選手が参加して盛大に開催された。

**競馬** 南米の競馬界の最も重要な行事であるブラジルの『グラン・プリ』はなかなかの盛況で、優勝馬への賞金は1,500万円以上も出している。

### 3. 保健衛生と疾病並びに医療

1. まえがき 2. ブラジルの保健衛生 3. ブラジルの主な病気 4. ブラジルの医療

#### 1. まえがき

ブラジルへ行って、衛生環境のよい衛生施策の進んだ日本内地と比較してみると、ブラジルも日本も同じだと思ふ人は誰もいないだろう。しかしブラジルにも都市もあれば田舎もあって、この兩者の間における衛生医療施設、住民の衛生知識および生活程度には想像以上の懸隔があることに気づく。例えばサンパウロ、リオデジャネイロ、ベロオリゾンテのような都市では生活環境が非常によく、日本内地に居ると同じ心構えで、多少の不便を忍べば困ることはない。ところが一步田舎に足を踏み入れると生活上の諸条件にかなり異ったところが見受けられる。

この記述は必ずしも十分でない短期間の調査に基づくものであるが、なんといつてもブラジルという国は、余りにも大國であり、熱帯地もあれば亜熱帯地もあるので、全域に亘って記すことは到底不可能である。よつて主として諸君が渡伯されてからの生活に最も関係の深いミナス州の首都ベロ・オリゾンテおよびイパチンガ周辺における保健衛生と疾病について述べる。

イパチンガはもともと大変な僻地であつたが、目下製鉄所の建設が行われ、近代都市の面影を現わしかけており、衛生諸施設も目下盛んに建設されている現状であるので、渡伯者の一人一人は会社、國の諸施設に期待をかけると共に、なんといつても個人衛生に留意しなければならぬのが実情である。

なお、この記述は短期間のブラジル衛生所見であるから内容の浅薄を免れないが、幸にも現地には貴重な、豊富な体験をもつ幾多の先輩が居られるのでその方々の良き指導と助言とを得てこの記述の不備不足を補つて戴きたい。

#### 2. ブラジルの保健衛生

(1) 食生活から見た保健 ブラジル現地人の食餌をみると多脂肪（豚脂、植物油）、高蛋白食（乾肉、鰯詰）等でありの嗜好品として香辛料（ニンニク、とうがらし等）を加味した加熱食餌をとり、果実も豊富に摂取しているのが目につ

く。これは熱帯地における高温多湿気候と多量の発汗による高度のカロリー消耗とビタミン消失とを補うためであり、また胃も消化液分泌減少による食欲不振と消化機能低下は嗜好品を採ることによりその亢進を図っているのである。加熱食餌は現地のような非衛生的な土地における多年の経験から生れた防衛的殺菌食餌摂取の意味もある慣習である。このような食生活の習慣は新しく渡伯する人にとっては大いに参考としなければならないところである。

そもそも人間が生活するためには、栄養素として蛋白質（牛獣肉、魚肉、卵、豆類及びこれ等の成品に多く含まれて居る）、脂肪（豚脂、バター、植物油）、含水炭素（米、麦、芋類、とおもろこし、マングョカ粉およびこれ等の成品）、ビタミン、鉱物質および水が必要であることは衆知のことである。人間労働のエネルギー源は殆ど脂肪と含水炭素と一部蛋白質であるが、若人の成長には蛋白質中の必須アミノ酸と鉱物質が必要であり、成人の体細胞の老衰死滅を補うものもまたこの必須アミノ酸と鉱物質である。

このほか各種のビタミンを必要とすることは無論のことである。この大切な必須アミノ酸は人体内で、合成不能な蛋白質なので、そのものズバリの天然のものを嫌でも応でも食べねばならない。これは前記のような動物性蛋白には豊富に含まれているが、植物性蛋白中には豆類を除いては含まれてないので、植物性蛋白を摂取するときは豆類の混食を忘れてはならない。

以上記したブラジルの熱帯気候と、人間生活上の食餌理論とを併せ考えると、日本内地における一般人の食餌生活をそのままブラジルに移すときは、やや蛋白にすぎ、また蛋白質不足になるようであり、幾日かの後に体力と気力の低下を來すから食品材料は能う限り現地人の採っているものを参考にして、その調理は原始的でなく文化性を持たせ、販先きをかえて日本人好みに工夫して、食意を失わないよう気を配ることが大切である。

ブラジルでの食習慣中に、糖分を過剰に摂取する傾きがあることは体液（主として血液）のアンダーシス（酸性化）を來し、骨や歯牙の脱灰（カルシウム不足）を惹きおこす懸念がある。またブラジル人は新鮮野菜を余り食べないようで、その代りに果実を摂っておるが、ブラジル生活に野菜食不要の理はないの

で、果実を食べると共に新鮮野菜の摂食につとめ、ビタミンB、Cの補給につとめなければならない。ブラジルの奥地では海草不足のために沃度欠乏症（甲状腺腫）があるほどだから適宜海草料理をとる必要もある。

われわれ人間は摂取食物が、全部吸収されてカロリー化されるものではなく歯牙、胃腸、肝臓および脾臓が健全であっても、約7%の未吸収がある訳で、泥んやこれらの消化器に欠陥があれば、そのロス是一段と大きくなるので、摂取した食物を最高度に利用するためには、これら消化器の保全衛生にも留意しなければならない。

(2) 住居と保健 社宅、社員アパートなどは勿論、総じてブラジルの近代住宅は防暑、伝染病予防の見地から石造り、レンガ造りの厚壁で、構造設備共に良く配慮されている。但し防暑配慮のため南側に太陽光線射入不足を想わせる部屋のある住宅があるが、涼しさのみに気をとられて乳幼児を迂闊に日光の入らない部屋のみ寝かせておるとビタミンD代謝障害（くる病）を起すこともあるから、適当に日光に親しむ必要がある。また夜間想像以上に冷えて感冒の原因となることがある。

マラリア、シャーガス病予防のため網戸が取りつけられてあるが、その主旨にそって日没前にキッチンと締めることを忘れてはならない。

出張その他の用件で社宅外に宿泊の必要が生じたときは草葺きの宅、土壁の割目のある家屋への宿泊はシャーガス病予防のため止めるがよい。

(3) 気象と保健 ペロ・オリゾンテの気候は日本の軽井沢のような点もあって、暑さ知らず且つ寒さ知らずの良い所である。

イパチンガは12月より翌年3月に至る間が気候の悪い時季で、気象表によれば気温は33度止まり、これを超えることは年間に数日であるようだが、気温日差が著しく、所謂内陸性気候を示しており、昼夜の気温差が16度にも達することがある。従って夜間のひえ込みに対する用意を就寝前にととのえておかないと、午前2時頃悪寒戦慄を覚えてビックリすることがあり、感冒の困となる。1、2月は雨期で湿度が高く気温も上って時には耐え難い暑さとなることもあるので、この時季に胃腸病やマラリアの流行があり、体力の低下も来すことが



開拓の初期にはとくに医療は問題である

の4カ月間に食餌栄養およびその他の摂生に十分注意して、旺盛なる体力と気力を蓄積して、年間最悪の暑気をのり越える心掛けが絶対に必要である。

(4) 飲料水と保健 世界各地を旅行した人からよく聞くことであるが、日本とスイスを除いて、生水は飲めない。ブラジルの水道水もサンパウロ市の水道を除いては硬度が高いから、渡伯後数カ月間これに慣れるまでは、温泉の鉱泉を飲んだと同じように、強く下痢するので注意するがよい。殊にイパチंगाの上水は細菌学的な面からも生水飲用は勿論ウイスキーを生水でうすめて飲むこともまだ心配のようである。市販のビン詰めの飲料水を利用するか、沸かして飲むがよい。

(5) 伯人サラリーマンの日常生活の一面と健康保持 ブラジルの会社にも就業規則が勿論あるが、労働時間を守る点では日本以上に真面目のように見える。日本の労働時間配分と先方のそれとはかなり異っている。即ち午前労働と午後労働の間には午睡も可能なほど昼食時間が長く、また午後の労働を終って帰宅するとシャワーを浴びて2時間位睡眠してから夕食をとったりする家庭もある。従って渡伯後直ちに必要とあればブラジル人の風習にきりかえて、伯人ペースに合致させないと睡眠不足となり、疲労回復がおくれ、遂には病気になることもあろう。三交代勤務となると一段と時間配分に工夫を要する。

リオデジャネイロやサンパウロに行くと、深夜おそくまでダンスに興じている伯人を見かけるが、これは日々働いているサラリーマンではなく、主として親

多い。従ってこの期間を如何にうまく過すかはブラジルでの健康生活をおくるポイントともなる。これに引きかえ6, 7, 8, 9月はイパチंगाにおいても暑からず勿論寒くない暮しよい時期で、食欲も進み体力もつくシーズンである。従って健康保持の年次計画は6, 7, 8, 9月

光客であるということである。稀にサラリーマンでこのような伯人があるとしても、彼等は日本人に比して極めてタフであるので、このマネはしないほうがよい。

(6) 食品・食器・野菜等の消毒法 果実・野菜の消毒はおおむね次の要領である。

消毒水槽内で有効塩素が100 P. P. M. になるような晒粉溶液(約10000倍稀釈の晒粉溶液)に20分間浸漬した後取り揚げて水洗いするとよい。

食器、電気冷蔵庫(殺菌灯付冷蔵庫は除く)等はハイアミン(塩化ベンゼトニウムの10W/V%水溶液)、オスパン(塩化ベンザルコニウム10W/V%水溶液)を使用するがよいが、食器類は1,000倍稀釈、布巾類は400倍稀釈液に10分間浸漬、電気冷蔵庫は400倍、家屋内は200倍溶液でふくがよい。電気冷蔵庫は常に清潔品、晒粉消毒済みの果実野菜を貯蔵するように心掛ければ、1週1回の拭きとりでよいと思う。

注意 ニス塗リ器具、合成ゴム成品はこれで消毒してはならない。

(7) 赴任飛行旅行の疲労と病氣 ブラジル派遣が決まると精神的緊張を感じ、且つ身辺の整理、送別会、挨拶廻りなどと引続き、甚だしく精神的肉体的疲労を覚えるのが普通であろう。かかる疲労累積状態での赴任旅行は極力さけないと、航空病や動推病を起こし易く、現地到着後体調不全に苦しむことがあるので、出発時には最良の体調であるように心掛けなければならない。

航空病とは4,000m以上の高度を飛行すると酸素不足、炭酸ガス不足、寒気およびその他の影響で、中枢神経機能、脈搏、呼吸に異常を起こして諸種の症状が出る。今日の非常に進んだ航空機でも人によって程度の差はあるが、全身倦怠、嗜眠、決断力減退、記憶力減退、悪心、眩暈、頭重感、視力減退、元氣消沈、および腸内ガス貯留による腹部膨満感を覚え、現地到着後その回復に3—10日間を要するようである。従ってこの間は焦らず充分に睡眠をとりビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンCを内服するがよい。(アリナミン、シナールを携行するがよい)。

動推病とは航行中の加速度、振動が内耳および視覚を介しての中樞神経刺激

によって起る。従って神経過敏、胃腸病、貧血、ニコチン中毒および胆石症の人は本症を誘発し易い。

精神的不快感、頭重、倦怠、眩暈、食思不振の軽症か呼吸速迫、食物吐出、胆汁吐出に達するものもある。

予防法としては機内で適宜に動き廻り、また適當の談笑をなし注意をそらすこともよい。本症を起し易い素質の人はクタン、トラベルミン、アトラキシンを1—2錠服用して自律神経の鎮静を図るがよい。

(8) 疾病の発病要因 総じて疾病発病は個人の身体条件と侵入細菌、毒素の強弱および量の多寡に関係するもので、受傷感染本人が身体強傾で体調が良好であれば、たとえ病原菌の侵入感染を受けても発病しないこともあり、また、かりに発病しても軽く経過し得ることがあるので、常に体調の最良保持に留意することが肝要である。

〔注意〕 体温計は必ず所持すること。体重は健康のパロメーターである。

### 3. ブラジルの主な病氣

ブラジルは温帯日本と異りその大部分は熱帯圏であるため伝染病の仲介昆虫も大抵は死なずに年越しをしてしまうことと伝染病原菌の繁殖も旺盛であるから、伝染病流行には日本より遙かに好条件が揃っている訳である。近年この圏の熱帯医学研究の目覚ましい進歩によって、アマゾン河の奥地でさえ、あの恐ろしい黄熱病や熱帯マラリアの予防は完成の域に達したとさえいわれ、文明国人にしてこの種病氣にかかる人は著しく減少したが、何といても日本とは衛生環境が異っているので、予防注射や予防薬の服用など個人衛生上の注意を怠ってはならない。

以下ブラジルの特異の病氣を個々に挙げてその病態を簡単に述べる。

(1) 原虫感染症 a マラリア (マレックタ) ペロ・オリゾンテ市では殆どその発生はなく、インパチンガ付近でも近年著しく減少したといわれているが、マラリア媒介蚊の発生が一年中あること、およびマラリア菌保有労働者がこの地に集まること等から考えると、本病が絶無になることは、いま暫らく年月を要すると思われる。従ってこの病氣に感染する機会はあり得ると見なければな

らない。

この地のマラリアは3日熱、4日熱、悪性マラリア等であるから、3日目、4日目にキチンキチンと発熱するものと、毎日不定期不定型に発熱するものがある。初め悪寒がありガタガタふるえ出し、約30分位で39—40度の高熱が5、6時間続くと、悪性マラリア以外は発汗下熱してケロリと楽になる。悪性マラリアは不定型の熱がつづく。

体調の極めてよいときはマラリア原虫を有する蚊（アノフェレス）に刺されても発病せずすむこともある。しかし保菌のままでは外傷、分娩、下痢および過労などにより体力が衰えた時に発病するので、時には蚊のいない季節、場所においても発病することがある。

予防には蚊に刺されないようにすること、栄養、体力を落さないようにすること、レゾリン、カモキシン等の予防薬を3日目毎に1個宛飲むこと。

**b アメーバ赤痢** この病気は日本内地には殆どないが朝鮮、旧満州、中共等に非常に多く、戦時中従軍した者の中には体験者もあると思う。インド、中国、アフリカおよび中南米に流行する大腸炎である。

前駆症状が殆どなく突然に下痢、腹痛、裏急後重（なんべん行っても又ゆきたく、行っても思うように排便せず便意を残して粘血液便が少量出る）が強く、発熱しない。いわば発熱しない赤痢である。

予防は生水を飲まないこと。生水で汚染された生物を食べないこと。ピラシカバ川流域の町村の下水は完全な衛生処理のないままこの川に流れ込んでいるから、上水が完全滅菌に至るまでは生水飲用は危険である。薬品では ALAL EN, AMEBAGO, IROXIN, EMETIN, アオレオマイシン、クロロマイセチン等があるが MEBIOL 最も有効である。

**c シャーガス病** ブラジルだけに見られる未だ良い治療法の見つからない最も嫌な病気である。山野にすむ「タツ」と呼ぶ黽鼠に寄生する吸血昆虫バルベイロが仲介者である。バルベイロは昼間は古い朽ちた草葎きの屋根、土壁の割目にひそみ、夕暮れから夜中暗黒時に活動して獣、人間の露出皮膚（顔面頸部）を刺し、吸血して生命を維持する昆虫である。従って病原菌（トリパノ

ゾーマクルジ)を保有するバルベイロの棲息する非衛生的な家屋に居住すれば、夜間この昆虫に刺され、その局所が腫れ上り、子供では高熱、脳膜炎様の急性症状をとり驚れるか知能の發育障害を來たす。成人では多くは慢性症となり、慢性心臓病(不整脈、動悸、いき切れ)、食道肥大、大腸肥大等の慢性消化器障害を來たす。また知的障害を來たすこともある。

今のところ良い治療法がないので、罹らぬよう注意することである。即ち草葎きの屋根、どろ壁の家にすまぬことである。バルベイロが日没時に家屋内に侵入しないよう網戸を早く締めること。壁は漆喰白壁、蚊帳を吊って寝ることである。DDT、BHC等の殺虫剤を散布するとか、2カ月に1回 GAMEX-AME No. 22 を燃やすこと。バイエルの7620(AC)、9736および ICI の3024 がよいということである。

## (2) 消化器寄生虫病

a 肝ジストマ ブラジルで嫌な病気の一つに肝ジストマがあるが、患者はバイア州に最も多いとされ、近年ミナス州にも南下して、イパチンガ地区でも患者が見られるようになった。これらの患者の殆どは下層階級の、衛生知識に乏しいものである。従ってかかる患者が排泄(野糞)した大便、尿中にある肝ジストマ菌が、沼沢中に棲んでいる水蝸牛の体内に入って人間に感染し得るまでに成長し、水中に出て遊泳しており沐浴、釣りその他の目的で水中に入った人間の皮膚を通して感染する。この虫の侵入した局所皮膚(手・下肢)は潮紅、腫脹して痒みを覚え熱を持ち、全身的には微熱と軽度の下痢を發し、体内に侵入した虫は門脈(肝臓に入る血管)内に達して産卵し、血行障害を起こし、永い経過の中に皮膚は土色となり、肝臓肥大、脾臓肥大を起こして逐次衰弱し、やがて他の種々の病變を現わして死に至る。

予防は水蝸牛の棲む沼沢中に裸足のままで進入しないこと。この虫は流川や水深2mで、岸から10m離れた所には棲んでいないとのことである。

薬品には TATARO, EMETICO, TARTARATO, Duplo de Sodioe, Amtimonilido gluconato de Antimomio, Sodio TWSb, Fradina, Amtimoniapenta Valentis 等があるが、その効果は余り期待されない。バイエルの

製 Miracil—D が非常に効果があるということである。

**b 十二指腸虫病 (鉤虫病)** 野糞を通じ皮膚から侵入し、また十二指腸仔虫で汚染された生野菜、生水を摂取することによって感染発病する。イパチンガ地区ではこの虫の寄生者が可成りおり、衛生思想が低級な人々が多いので裸足の出歩き、未消毒の生野菜、生水を摂取しないことが肝要である。

**c 蛔虫病** この病気は未消毒の生野菜を摂取することによって経口的感染発病する。イパチンガ地区住民の寄生率は日本内地の終戦直後のそれに匹敵する程であるので、十二指腸病と共にその予防には各個人が注意することが必要で、年2回検便を受けてこれに対処するがよい。

### (3) ビールス感染症

**a 黄熱病** 往年野口英世博士が発見したスピロヘータはその後の研究で本病の原因菌ではなく、熱帯シマ蚊の有するビールスが本病の原因菌であることが分った。この蚊に刺されると発熱し高熱と溶血性黄疸で衰弱死亡する恐ろしい病気であるが、今日ではアマゾン地方でも殆どなく、イパチンガには全くないとのことである。

**b 小児麻痺** この病気は周期的に流行するもので、近年その流行は全世界的なものとなり、この國に特に多いということはない。伝染源は患者および不顕性感染者（保菌者）であり、不顕性感染者数は患者の数百倍もいるので、成人の相当数のものは不顕性感染を経て終生免疫を得ている。好発年齢は1—2歳であり、10歳を超えれば発病し難い。

このビールスは乾燥に極めて弱い。従って雨期およびその後に流行し、すべて咽頭粘膜から侵入する。蠅、油虫がこの病気の伝染に仲介役となるので、これ等の虫の殺虫に注意するがよい。

初めの症状は感冒の様で、2、3日にして多少下熱する頃、麻痺が上肢または下肢に現われて小児麻痺であることが初めて分る。

麻痺の初期はマッサージをさけ、安静にしアセチルコリン、グルタミンールコリン、ビタミン B<sub>1</sub> の髄腔内注射を反復する。最近ソ連製のガラントミン注射も有効であるという学者もある。

予防にはソーワクチンが最も有効でグロブリン、母性血液の筋肉内注射も効果がある。

#### (4) 細菌感染症

**a 細菌性赤痢** 赤痢菌の発見者は日本人志賀潔博士であるが、皮肉にも近年日本国内では四季を通じ赤痢がかなり多数発生し、赤痢菌の汚名を着せられているので、日本からブラジルに渡って赤痢についてそれ程驚くには当たらないが、イパチンガ地区は日本をやや上回るから注意するがよい。

原因は病人および保菌者の汚物から直接感染するのと、汚染された飲食物摂取から感染するのがある。即ち汚染された生水、ひやっこ、刺身、酢のもの、豆腐の白あえ、にぎりずし、ウニおよびカキの生物等が危険なことが多い。

症状は熱を伴う以外はアメーバ赤痢に似ている。

薬品はテラマイシン、クロロマイセチンが最も有効でサルファ剤でも効く。

**b 腸チフス** 発病が肺結核の初期のようであり、感冒のようで夕方発熱し、翌朝下熱する日が数日続くうちに、どんな下熱剤でも無効で高熱が持続するようになり、激しい頭痛と脱力感がある。舌は白苔が生え口唇がカサカサに乾燥し、遂に頭がモウロウとしてきて 39~40 度の高熱が 2 週間も続く、腸出血、心臓衰弱がなければ治る病気である。

原因は、生水、生物の飲食で腸チフス菌の感染によるものであるが、体力の低下が発病を容易ならしめるから注意を要する。薬品はクロロマイセチンが非常に有効で、副腎皮質ホルモン（メタゾロン、ケナコルト、プレズニン等）を併用すれば殆ど死亡することはない。

#### (5) 破傷風（毒素産生性菌感染症）

土木現場、沼地のうすぎたない沼、土の中での外傷、古釘の踏立て傷、野原山、畑のトゲや切株などが刺さった場合、十分な消毒をしないと破傷風菌に感染し、傷が治って忘れた頃この病気を発して全身けいれんを起すようになる。

予防は外傷を受けたとき傷口が泥、土で汚染したときは直ちに沃丁で充分消毒すること。傷が深くて自分で消毒不可能なときは医師の治療を受けることが

最もよい。必要があれば破傷風治療血清の筋肉内注射を受けるがよい。

(6) その他の病気

**a リュウマチ熱** この国に比較的多い病気で鼻咽喉粘膜から溶血連鎖球菌またはビールスが侵入して発病する。初期に扁桃炎、鼻咽喉頭（鼻かぜ）のようなカタル症状で微熱、不規則な発熱、全身不快、関節の緊満感や疼痛を伴って発病する。時には悪寒、高熱を伴うこともあって、7～8日で下熱治療することもあり、また咽喉頭の自覚症が軽く、感冒とも肺結核の初期とも判然としない不明熱で、不規則に遷延して月余におよぶこともある。

予防は常に体力の低下を来たさないように注意し、塵芥を吸ったときは咳嗽し、咽喉炎急性扁桃炎を起したときは直ちにペニシリン、サルファ剤、アクロマイシン、クロロマイセチン、テラマイシン、アイロタイシン、およびタオン等の服用または注射により充分な治療を受けないと、腎臓炎や心臓内膜炎を併発することがある。

**b 癩病（レブラ）** ペロ・オリゾンテの街頭で散見する。患者の鼻汁および潰瘍面の膿汁中にレブラ桿菌を見出す。接触感染によって伝染する病気である。

**c 一匹ピッショ** 一種の金蠅の幼虫が毛根から侵入して皮下に巣を作って棲み、その頂点に小さい穴があいて呼吸をしているので、一見瘡または皮下蜂窩焔炎に似ている。その穴の所をよく見ると中に毛の生えた蛆がいるのが見える。そっとしておけば羽がのびて飛び出すまで棲んでいる。これは恐ろしいものではなく医師の手でエーテルまたはクロロフォルムで蛆を麻痺させて頭を捕えて引き出すのが最も確かである。

**d 毒蛇** ブラジルには幾多の蛇がいるが、毒蛇は概ね次の三種である。スルク、カスカベル、ジャララカである。イパチンガ地区の毒蛇は明確に調査し得なかったがそう多くはないということである。咬傷を受けたときは速かに（少くとも6時間以内）治療血清の注射を受け、絶対安静を守り医師の指示に従うことである。治療血清（診療所に貯蔵してある）は蛇の種類によって異った治療血清が製造、準備されているので受傷したとき蛇の種類を確認し

ておけば最も有効適切な血清の注射を受けることが出来る。もし蛇の種類を確認し得なかったときには三種混合血清の注射を受けても効果があるようになっている。

e **トラホーム** 幾年か前まではトラホームのない地方はない程のトラホーム国であったそうであるが、富の向上につれ衛生思想も向上し、また治療薬品サルファ剤および新抗菌剤の発見で非常に減少しており、気にする程のことはないようである。

f **結核** この国にも肺結核のあることを知っておかねばならないが、新しい結核剤の応用によって甚だしく減少し意に介するほどのことはない。

g **砂ビッショ** 草葎き小屋や物置などの乾いた地面の砂の中に住んでいる。雌が受胎すると人間や家畜の皮下に侵入し、吸血して卵の成熟をまち呼吸と産卵のために体の先端を皮膚外に出しているから、局所を沃丁で消毒して掘りとるがよい。

h **渡伯者と不眠症** 渡伯者の身边には不眠症を誘発する原因が非常に多い。ここには案外気付かずに見逃され易い1, 2の原因についてのべる。

われわれが他人の宅に一晚泊っても仲々寝つきが悪く、国内旅行でも最初の一晩位は大変寝つきが悪いものである。況んや日本の故郷に色々と想いを残し地球の裏側に旅しただけでも多少の寝つきが悪くなるのは誰しもであり、この程度の軽度の郷愁は間もなく治るものである。

渡伯して起る不眠症の原因として考えられるものは、伯人の生活ペースに何時までも溶け込まないで午睡もとらず労働することで、遂には体力消耗の後、不眠症を起すことである。またブラジル人気質は日本人気質とかなりの差異があり、極めてのんびりで大国人であるので、交っていて面喰うことがあり、言葉の思うように通じないことも加わって、一段と焦慮すると思うが、このようなことは上司と相談する一方、伯人の良き交友を持ちポルトガル語をよく会得することで、郷愁解消の大切な一方法であろう。

ともあれ、夜ねむれないようになることに最もいけないことであるから、軽度の不眠症はその原因の除去につとめるのは勿論、就寝前の小量(適量)のア

ルコール飲料を飲んで就眠するとか、習慣に陥らない程度に睡眠薬を服用することがよい。

#### 4. ブラジルの医療

日本人派遣員並びに家族はウジミナス従業員家族診療計画に基づいて診療を受けることになっているが、ブラジルにおける医療体系は完全な医薬分業であり、日本の医療制度になれた日本人にかなり不便であり面倒である。

一応開業医（ペロ・オリゾンテでに会社の医局員または会社指定の市内開業医、イパチンガでは会社の診療所医）の初診を受け、ここで治療を受けるか専門医の診療を必要とするか、或いはまた入院を要するときはこの初診の紹介案内によることになっている。

ブラジルの医学水準に日本に劣ることはなく（僻地を除いては）、ペロ・オリゾンテの専門医および病院の施設並びにその医療内容は信頼がおける。イパチンガ地区も病院建設の計画があるが、現在のところは診療所である。

ブラジルの薬局は医師の指示によって投薬および注射を、有資格の薬剤師が行っている。勿論保健薬や普通売薬は医師の指示なくとも販売されており、日本の売薬とその内容は類似している。

## Ⅶ 風俗・習慣

### 内 容

はじめに ブラジルの祝祭日 挨拶 敬称 握手 抱擁 感謝 敬老 愛児 婦人優先 母の座 動物愛護 歩き方 婦人と歩くとき 呼び止め方 タクシー 電車バス 乗合 タクシー テコテコ 町名 地番 ビルの階数 エレベーター 服装 男の服装 女の服装 持ち物 指輪 鍵 食べもの 会食 飲料水 妻ようじ 出逢い 訪問 入室 誕生日 アミーゴ 贈り物 結婚 チップ Matabicho 買い物 つり銭 小銭 紙幣の扱い 物の値段 度量衡 サイン 証票書類 地権 戸籍(国籍) 電話のかけ方 郵便 私書函 電報 汽車時間 勤務 貴族趣味 キスト 少数民族 3分の2法 叱り方 謝罪 意味は反対 ホテル 理髪店 運び屋 靴みがき 物乞い カトリック 日本語の中のポ語 休日と訪問 洗礼 日本宗教 代父代母 コンパドレ アフィリャード バイレ 接待 口笛 家事使用人 アマニャン主義 三猿主義 ジェスチュア 入浴 便所 千鳥足 手出し 禁語句

### は じ め に

ブラジルには日本と異った風俗習慣がたくさんある。しかし、およそ人の生活の在り方は、本質的には共通するものであって、要するに、一般的な教養と常識にもとずいて行動すれば大きな間違いを惹き起すようなことはない。殊にブラジルはアメリカなどと同じ頃に、ヨーロッパやアフリカから移り住んだ人々によって構成され、また近くは日本をはじめアジア各地からもさかんに移住が行なわれている。世界中の人々が、それぞれの生活様式や風習を持ち込んで「ブラジル」というルツボの中で精練され、良いものが残され、悪いものは願

みられず排斥される。

ブラジルの風俗や習慣はこのような環境の中から保存され高められているものであるから、ブラジル固有のもの幾分と、外国からの良いものがブラジル化されていると言えよう。

以下、現実的な面からその風俗習慣について断片的に拾いあげてみる。

### ブラジルの祝祭日

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 1月1日  | 新年の日                    |
| 6日    | 主顕祭（東方の博士がキリストのもとに着いた日） |
| 20日   | リオ市記念日（リオデジャネイロ市）       |
| 25日   | サンパウロ市記念日（サンパウロ市）       |
| 26日   | サントス市記念日（サントス市）         |
| 2月10日 | 謝肉祭（四旬節の前3日から1週間にわたる祭）  |
| 12日   | 聖灰木曜日（四旬節の第1日）          |
| 3月26日 | 足洗いの木曜日（復活祭直前の木曜日）      |
| 28日   | 復活祭                     |
| 4月21日 | チラデンテス                  |
| 5月1日  | メーデー                    |
| 7日    | 昇天祭（復活祭後40日目の木曜日）       |
| 28日   | Corpus Christi（聖体節）     |
| 6月24日 | 聖ジョアン（北部、北東部）           |
| 29日   | 聖ペトロ、パウロ                |
| 7月9日  | 憲法革命（サンパウロ）             |

8月15日	聖母被昇天祭
9月7日	独立記念日
10月30日	商業労働者休日
11月1日	聖人の日
2日	= (All Saints)
15日	共和国宣言日
12月8日	無原罪懐胎 (マリア)
24日	クリスマス・イブ
25日	クリスマス
31日	新年イブ

以上の中に地方的なものも若干含まれているが、このほか、地方により、独自の祝祭日もある。

### 挨拶

これは大体同じで、ただ言葉が違うだけ。しかし日常の平易な挨拶はその通りだが、長い挨拶には一般にお世辞がよく、修飾や誇張の語が可成りに用いられる。「Bom dia」は朝から正午、または昼食まで。「Boa tarde」は昼から夕刻までの「今日は」。「Boa Noite」は「今晚は」の挨拶語、ただ問題は、すべて発音は明瞭を要するが、握手や抱擁の項でも述べるように緊張し過ぎた語調や態度よりは優しいほほ笑みの中で交わす方が効果的である。

### 敬称

一般的に言ってブラジルでは、対等者や近親の間では、日本のように「さん」とか「君」をつけず、“呼び捨て”で差しつかえない。

英語のミスター・Mr. に相当する語は Senhor=Sr. (セニョール) で、婦人に対しては Senhora=Srs. (セニョーラ) で、例えば、山田(男)さんと言う場合は、Senhor Yamada と言う。未婚の若い娘さんには Senhorita セニョリタを用いる。

### 握手

人に逢ったり話を始める前に、日本では「オジギ」をするが、ブラジルでは握手 (aperto de mão) をする。また親しい人の間では抱擁 (Abraço) をする。握手の手の出し方は、勿論右手を、同等者や目下の日には、自然の感じでほほ笑みながら差しのべて、互いに握り合えばよい。婦人や目上の人に対する場合は、態度や感じは同じでよいが、先方から差しのべられるのを待ってすぐ応ずること。

なお、握手したり話したりする場合、日本人はよくベコベコと頭を下げたり、頭をかいたりするくせがあるが、この意味は相手に通じないし、感心した態度ではない。

### 抱擁

これは特に親しい人に限られる挨拶のし方であるが、いかにもブラジルの、その親しさは一層である。互いの右手は握手の形で、左手を先方の肩先きを軽くうつもの。その手を更に肩口から相手の背中に回すもの。それを更に深くして頬を寄せ合うもの、などいろいろある。それは親しさの自然のなりゆきから生れるもので、あまりつよく意識すべきではない。子供などに対しては額や頬のあたりにキスする挨拶もあり、また貴婦人などに対しては片膝を曲げて相手の手にキスする礼もある。

### 感謝

在伯同胞間の川柳に「obrigado 一つ覚えてノシ歩き」と言うのが、オブリガードというのは「有難う」という語で、これさえ知っておれば何でも間に合うという意味。但し口頭だけでなく感謝の心が大切。何か頼んで、して貰った時には必ず“Obrigado”、と言う。商店で物を買った人や、タクシーから降りる客が「有難う」と言うことは、ブラジルでは珍しいことではない。

双方が利益するからである。

### 敬老

自動車など飛ばしていると、老婆などが手をあげて止めようとするところがある。近づいて、「これはタクシーではない」と言っても、「乗せて行ってくれ」とせがまれることがある。急ぐ用事するときなどはそうもしてられないが、行く先を聞いて、そこがあまり遠くないような時には、乗せて送ってやることも止むを得ない場合がある。それは敬老思想が普及しているブラジルでは、ときたま見かけるほほえましい情景でもある。

### 愛児

敬老も美德の一つだが、新興国ブラジルでは幼児や年少者も大切にする。小学校や幼稚園などの登校や下校時には、交通の激しい校門の近くには、交通整理の巡査がやって来て、子供たちの道路横断などが安全にすむまで、一時的に車馬の交通を止めてしまうことがある。そのために自動車は何十台もノンビリと待つわけだが、誰も不平を言わない。急ぐ用事の時はそういう時刻や場所を避けることもあらかじめ知っておきたい。

### 婦人優先

空港、駅、電車、バス、あるいは郵便局や映画館などで切符を買ったり、入場したりするために行列をつくって待つ場合がある。そんな時に後から来た婦人が、一言ぐらいことわるだろうが、列の中途へスッと割り込んでしまうことがある。誰も何んとも言わない。だからむしろ、後から婦人が来たら「どうぞ」と言って、自分の前にでも入るようにすすめるとよい。婦人の中には、黒人、白人、その他いろいろあるが、もちろん平等に「婦人」として見なければならぬ。

### 母の座

カトリック教国の主座は聖母マリヤである。敬虔なブラジル人の家庭教育は、幼児の頃から、キリストを抱いた聖母の姿を母親の愛に結びつけて養育している。だからブラジル人は母親を軽蔑されたり、罵倒されるとその子弟たちは身命を賭して戦う。また男が女を大切にするには女尊男卑の風習というので

はなく、教養あるブラジル人の中には中世の騎士道が潜在意識となっていて、これが社会道徳の一つの規律となっている。

#### 動物愛護

これは法規にも定められていることであすが、家畜を愛護することはブラジルでは特別の感がある。広大な放牧場に牛や馬などがゆうゆうと放牧されているが、これに危害を加えてはいけない。

ときに柵から出て通路に寝たりしていることもあるが、スピードを尊ぶバスや公的な車両でさえ、警笛をならしたり静かに追い立てたりして通過することがある。豚や鶏などもブラジルでは至極大切に取扱われている。轢いたり、ケガをさせたりすると単にその代金だけでは済まないことになる。

#### 歩き方

室内でも外でも、音をたてて歩くのは品が悪い。キュッキュッと鳴る靴や金銀を余計に打った靴は、音を出すから注意するように。またズルズル、スーッスーッと擦って歩くのもよくない。一般的には、膝を曲げたり、前かがみになったり、体を左右に振ったり、頭をあちこち動かしたりしてはまずいことは日本と同じ。よく、首を回す時には肩ごと回わせ、とか、物が落ちていても拾うな、と言われているのも参考になろう。

#### 婦人と歩くとき

常識的には、より安全度の高い方を婦人や老人、子供に歩かせる。同じ程度の場合は男が婦人の左側となっている。古い日本には主人の後から夫人がついて歩く習慣もあったが、同列か少しは夫人を先にするように、軽く腕でも支えてやるようにいたわってやる必要がある。男が素手で、婦人が大きな包を持って一緒に歩くというのではない。横断歩道も車に乗るおも婦人を先にしなければならぬ。

#### 呼び止め方

先方を歩いている人や、こちらに気付かずにいる人を呼び止める場合、日本では大声を出して「オーイ」とか「何々君」と呼ぶが、ブラジルでは「プシエツ・Psitu」とつよく発音して注意を惹いて呼びとめる。この音は小さいよう

だが習慣になっているので周囲の人が振り向くから呼ぶ相手に合図をすればわかる。なお街頭などで追いかけて走るようなことはしない。走って追いかけるとドロボーか何かと間違えられることがある。

### タクシー

街頭でタクシーを拾う場合は大体日本と同じだが、慣れない土地では行き先と料金を明確にしてから乗るようにする。料金を支払うために適当な金を用意しておかないと、チップをやる習慣があるので、例えば150クルゼイロスの料金を200クルゼイロスの紙幣を出すと、50クルゼイロスをチップと思われることがある。もしチップをやるとしても5クルゼイロスか10クルゼイロスで十分である。

### 電車・バス

都市の電車やバスは、日本のように“次はどこどこ”と停留所名を予告してはくれない。乗客は降りる停留所に近づいたとき、ベルを押すか吊り紐を引いて運転手に信号を送って停車させる。この信号がない限り、電車やバスは終点まで行ってしまう。

バスは大い乗車口が後方であって、降車口は前方にあるかと、降りるのには中を通して先へ出なければならぬ。すぐ降りるような時には注意して早く先の方へ出ること。切符を売る車掌もあるが、多くの電車やバスは、料金だけを取って切符を発行しない。料金を入れないと出口が開かないバスもある。外国人の多いブラジルでは口をきかなくても乗車できるよになっているが、車掌に問えば答えてもくれる。

### 乗合タクシー

バスも電車も行く先やコースがわからないと乗れないことになるが、大都市にはロターソン (Lotação) という乗合タクシーがある。同じ方向へ行く5人を一緒に乗せて走り、途中下車や空席があれば途中乗車も自由にさせる。これはタクシーの料金よりははるかに安く、バスや電車よりずっと早い。相客の賛意があれば多少の回わり道もサービスしてくれる便利もある。

### テコテコ

テコテコ (teco-teco) とは小型飛行機の俗称で、ブラジルの至るところの都市附近や開発拠点などには飛行場が設けられており、国際国内の定期、不定期航空のほか「空のタクシー」(Aero-taxi)つまりテコテコが盛んに活用されている。



日曜日にリオのコパカバーナの海岸で楽しむ人たち  
 ××までなら幾らで、と話が決まるとスーッと飛び立って好むところで降りてくれる。広いブラジルでは土地売買や調査などのためにも大いに利用されている。

### 町名

新しい市街の町名は、大体、道路が基準となって、道路を中にして道路名が、日本で言う町名になっている。例えば Rua Timbiras とか Avenida Amazonas のように、Rua とは普通の通りのことで、Avenida とは街路樹のある通りのことである。これらの通りに面して土地が区画され、裏の通りとの中間で背中合せとなっている。角地は大体に大通りの通り名が附されている。だから公道はどんな小道でもチャンと名前がついている。

### 地番

日本では何町何丁目何番地というところだが、町名が道路名と一致しているように、番地つまり地番も道路によっている。

例えば、ある市では中心となる寺院を基点として、そこから道路が四方に延びるように考え、その道路の初めを地番の初めとし、その道路をメートルで測り、例えば、右側は奇数番、左側は偶数番のように分け、その道路の50メートル地点には、右が、49、左が50のように、地番が決められている。1250番といえばその道路の初めから625メートルの地点であり、また中途の地番を1、2軒見れば方向と距離は判断できる。Rua Timbiras, 2349 とか Avenida

Amazonas, 491 のように表示される。そこで間口が広ければ地番は沢山あるわけだが、門とか玄関、入口のある地点の地番がその住宅の地番として使われている。

### ビルの階数

日本では平屋を一階と呼び、その上に階がのっていると2階というが、ブラジルでは地上最初の階は計算しないで、日本でいう2階が *Primeiro andar* (1<sup>o</sup> andar=直訳では1階だが) と呼ばれる。2又は3階といえば日本的には3又は4階というわけである。だから単に No. 205 といえば道路に面している1階の5号室のことである。

### エレベーター

大都市には10階、20階という高層ビルが沢山あって、昇降にはエレベーターが利用されるが、乗り口にはよく PAR とか IMPAR と書いてある。これは偶数と奇数という意味で、いうまでもなく PAR のエレベーターは 3, 5, 7 …… の奇数階には止まらず、IMPAR は偶数階には止まらない。なお、エレベーターに婦人が乗り合わせたときには帽子を脱ぐのが例であり自分の降りる階数をあらかじめ告げることは日本と同じである。

### 服装

バナナとリンゴが同じ土地で収穫できるブラジルは、必ずしも暑いばかりの国ではない。それは大國だから地方によっては一年中雨のないときや、蒸し暑くて眠れない夜のある処、寒い南風が吹いて来て小雪に見舞われる地方、また昼は暑い夜は冷えたり、年中海水浴が楽しめる処などいろいろである。だから服装もそれらの自然の中から工夫されて、ローカル・カラーが豊かである。極端に言えば一糸まとわぬ生活から、燕尾服、イブニングドレスの服装生活もブラジルにはある。

ただ面白いというのは失礼な現象だが、ブラジル人は一般的にみて、北へ行くほど皮膚は黒みを帯び、南へ行くほど白くなる。服装はこれと反対に北へ行くほど白味を帯び、南へ行くほどくすんでくる。服装はこのように土地柄によって決まるが、仕事や職業によってきまる方が大きい。ただ大切なことの一つ

は、ブラジルの服装の中にはヨーロッパ的な風調が可成り深く浸透しているということである。それはむしろ、古いヨーロッパのいわば折り目の正しい良さが現在のブラジルに引き継がれている。

### 男の服装

職場での服装は別として、男の服装にはいろいろと注意しなければならないことがある。街中では、暑いからといって上衣を脱いで持って、歩かぬこと、袖まくりをしないこと、ネクタイなしでは映画館やホテル、レストランなどに入れない。半袖シャツは余り見かけない。半ズボン普通の大人は用いない。地方によっては1日の中に温度の上下が甚だしく、朝の仕度では昼暑苦しく、昼の姿では夜冷える所や季節があるが、その時の衣服調節は下着やスエーターなどで加減し、上衣を脱いだりはしない。

### 女の服装

まず服装上の男女の違いについていえば、男の服装にはいろいろと制限というか、一応の社会的なキマリのようなものがあるが、女の服装については全くといってよいほど無制限である。かつてはカトリック教会のミサに臨む婦人はズボン姿ではいけないといったような制限もあったようだが、最近では世の中の流行とともにそれも移り変っている。要するに婦人の服装は全くの自由とされている。

### 持ち物

コーモリ傘は柄の曲った太くガッシリしたものが男性用で、その他は女性向きとされている。最近の折りたたみ式コーモリなどは便利ではあるが、ブラジルの感覚では未だ男性向きとはいえない。扇子は婦人が使うもの。風呂敷も便利ではあるが、物を紙で包んで持ち歩くのはよく見るが、布に包んだものはなるべく持ち歩かないこと。紙で鼻汁をかむ習慣も少いから、外出時にはハンケチを用意すること。財布は口金のついたガマ口は余り見ず、2つ折りのドル入れが多い。

### 指輪

既婚者は男女を問わず「結婚指輪」を左手の薬指にはめる。もしこの指輪を

していないと未婚者と間違えられても仕方がない。ブラジルでは未婚者（独身者）と、既婚者（家族持ち）とでは社会的信用が大きく違う。また別に、指輪をしていないために未婚者と間違えられて、それによって発生するトラブルについては、指輪をしていなかった方に罪があり、責任を問われることになるということである。

### 鍵

日本でも外出時に戸締りをするとか、金庫の鍵は大切に扱うなど、鍵は重要視されるが、ブラジル人が鍵を沢山持っているのには驚く。彼らの殆どは鍵サックを腰につけておいて、数個の鍵を持っている。彼らの家の中や事務所には至る処に鍵のかかる箱やロッカーや抽出しがあって、みなキチンと鍵をかけておくことが習慣になっていることが判る。社会生活の安全を保つためには、大切な物が紛失しないようにあらかじめしっかりと保管するのがよい。鍵の中には日本と反対回わしのもがままある。鍵穴が把手の上であって開閉ともに日本の逆である。また1回転させずに半回転で開く式のものがある。

鍵は他人に渡すべきではなく、殊に異性に対して渡すことは誤解を招く場合がある。

### 食べ物

一般に脂濃い食事が摂られている。日光の強い国だから特に勤労に従事する人々は、肉類や豆や油脂を用いた食事を摂るように心掛けること。多少暑いことや故國を偲ぶ心地から漬物や冷や奴で「茶漬け」といきたいところだが、時には良いとしても、日本食の連続では体が保たない。

ブラジルは各国から来た人々によって構成されているので、その食事もなかなかバラエティに富んでいる。1流ホテルやレストランのメニューはフランス式で2流以下の所ではブラジル風の料理が1～2皿加えられている。一般のレストランや食堂では必ずしもフルコースを注文する必要はなく、1品ずつ注文してよい。大体において1品の量は日本よりは多い。

普通ブラジル人の食事は、主食は米（豚脂にニンニクのいため炊き）と脂炊のフェイジョン豆、肉類、それに野菜や果物が加えられる。軽食はパン、コー

ヒー、卵、マンジョカ、鶏などである。

郷土料理というか地方的に特色ある料理としては、——リオの鍋もの（ポルトガル式の魚介料理）。サン・パウロの伊太利人独特のカマロン料理。パイア地方の黒人料理（バター、モコト、パイア式エビ飯、独特のフェジョアード、クスクスなど）。パラ州の家鴨のツクビー料理、アマゾンの亀料理やビラルター料理、これらはマンジョカを加味した土人料理。南部地方では牧童の焼肉料理や乾肉料理が有名だ。その他ドイツ人の好む豚の酢漬けやトルコ系の羊肉料理などが有名である。



中伯のある街角で

家庭料理は主婦の手によるが、ブラジルでは黒人の女が支那人のコック以上に腕前を発揮している。ブラジルは暑い国だから概して辛味とニンニクなどが利用され、肉にはピメント、魚には唐辛子が合う。日本料理も進出していることであり、いずれにしてもブラジルの食べ物とは多種多様である。

### 会食

大きな晩餐会やパーティ以外の、レストランでの普通の会食では、招待者も被招待者もそれぞれ自分の好きな料理を注文する。主人側は客が最も好きなものを食べてもらうのが最もよい接待であると考えているから、遠慮することなく、好きなものを注文すればよい。酒など飲みものについても同じこと。ブラ



リオのカーニバル（佐伯氏撮影）

ジルでは希望しない人に酒をすすめるようなことはしない。ムリにすすめることは失礼であり、時には相手を怒らすことにもなる。ただし相手が飲まないからといって自分が飲みたいのを遠慮することはない。

#### 飲料水

ひと口に言ってブラジルの水は悪いはずい。生水は飲むなと言われている。ホテルなどでは水の代りに <sup>777</sup> <sup>1222</sup> Agua mineral（鉱水）の瓶詰を出すし町でも売っている。安いものだが水を買って飲むという習慣がわれわれにはないと、暑い時には冷たい生水が欲しいが気をつけること。最近は各都市や工場などはいずれも上水道を立派に建設して飲料水対策を実施しつつあるから、飲料水問題も片づくことになろう。

#### 妻ようじ

日本人は食後、テーブルを離れて歩きながら妻楊子で歯をつついたり、くわえたりしても別に気をとめないが、これはブラジルでは不作法であるから、絶対にしてはいけない。食卓で妻楊子を使う時でも左手で口を掩うようにして、

歯をみせないようにする。

### 出逢い

外出時などに、国旗や宗教行事の行列、結婚式場から出てくる新郎新婦、葬儀の列や車に出逢うことがままある。この場合、帽子などを冠っていたら脱いで胸の辺にとどめ、それぞれの場合にふさわしい態度で、敬虔な気持ちで敬意を表したり、祈りを捧げたり、祝福したり、哀悼の情を示したりすべきである。知らぬ様子で行き過ぎることは宜しくない。特に国旗に対しては、すべての国民が敬意を表わさなければならない。自分が寺院や墓地の前を通るときも心構えは同じである。

### 訪問

他人の家を訪問する時は、入口のドアをノックするかベルなどを押して家人の応答を待つべきであるが、ベルの設備がなかったり、ドアに離れているような場合、日本では大声で相手の名前などと呼んで訪意を伝えることがあるが、ブラジルでは大声で呼ぶようなことはしない。よく見かける情景としては、硬貨などを取り出して堅い箇所をカチカチ叩いて知らせる。それか、拍手など打って知らせたりする。

### 入室

家へでも部屋へでも入る時は、必ずノックして許しを受けてからでないと入ってはいけない。親が息子の家を訪ねる時でも、許しなしや不在中に入るようなことはしない。部屋の中で異性と話し合うドアを開けて対談すべきで、殊に男1人の部屋へ婦人が1人で訪ねて、ドアを閉めた場合はどう解釈されても仕方がない。これは他人を訪ねたり、訪問を受けた場合の常識である。

### 誕生日

都会でも地方でも、誰れ彼れの別なく、誕生日を喜び祝う風習がある。だから、親しい人々や交際上必要な人々の誕生日は忘れないようにメモでもしておいて、必ずお祝いの言葉を贈ることは必要で、誕生日祝いには、親しい人々の間では招いたり招かれたり、大小に拘わらず贈り物を贈ったり、贈られたりすることが多い。

### アミーゴ

ブラジルでは一般に、アミーゴ Amigo にならないと一緒に仕事は出来ないといわれているほどで、Amigo というのは「友だち」という意味だが、それ以上に、親しい友だちとか親友とでもいうべき感じである。古くは日本にも“兄弟契約”などという風習もあったように、将来を固く誓って仲よく提携してやっていくのが Amigo であろう。別に数に制限があるわけではないから、職場に良いアミーゴをつくることが望ましい。

### 贈り物

日本では贈り物を贈、たりする場合“これは粗末な物ですが”とか、“失礼な物ですが”などといったり、書いたりするが、ブラジルではそんな卑下した考え方で贈り物をする人はない。また贈り物を受けた場合には、それをすぐその場で開いてみて、本心から喜び合う習慣である。受けたものを見ずにお礼を述べて、そっと脇に置いたり、片づけたりはしない。

### 結婚

ブラジルはカトリック教国であるため離婚は禁じられている。そのため結婚は非常に慎重である。また家族制度の中心にかなり保守的な面もあって、ごく下層社会を除いては、自由な男女の交際は行われてはいない。誕生日などの機会にダンス・パーティが催され、若い男女の知り合う機会が作られるが、家庭を離れて2人だけで交際することは少ない。婚約すると男は相当長期間女の家庭を訪問するが、外出時には必ず女の家庭の誰かが同席することになっている。

### チップ

外国に行って悩まされるものの一つにチップがある。ホテルでもレストランでもエレベーターに乗っても、タクシーに乗っても時には頼みもしないカバンを運んだボーイにもチップだ。そこでチップの出し方だが、まず食事では支払の一割、カウンターでランチを食べるような所ではボーイの手を煩わさないからチップはいらない。ホテルのチップはこの頃では計算書に加えてあるから、チップを別に考えることはないが、ホテルや空港で荷物を運ばせればやらなけ

ればならない。その額ほどの位か、一概にはいえないが、1個についてはその国の新聞の朝刊の値段の倍が基準単位で、その重さ、量などによっていくらか違ってくる。(大体10クルゼイロス)。

ドア・ボーイやエレベーター・ボーイにはその都度やる必要

はなく、とくに深夜に運転させたり、数日泊って帰る時など、この基準単位でやればよい。

チップはあまり多くやる必要がない。小銭のない時はいくらチップをやるからツリをくれといっても差支えない。何か一寸したことでも、定められたこと以外に人(主に目下の人)を使ったら「トマ・カフェ」(コーヒーでも飲み給え)といって、必ず小銭をやるようにする。その額は多くて5クルゼイロ程度で、普通は2〜3クルゼイロでもよい。

### Mata Bicho

マタ・ビッショ(直訳では虫を殺す)は、俗に“酒代”とか“袖の下”を意味する句で、また1杯とか、ここは目をつぶって欲しいという時に出す1種のワイロのことである。ブラジルではこの効果も少なくないので、全然ないわけではない。ただ異って感じられることは、これがかかなり堂々と授受されることで、大小に拘わらず権限のあるところ、臨時収入を伴うの感が無いでもない。よいことではないが、事と場合によっては、否、そういうことがあるということも知っておきたい。

### 買い物

百貨店などはすべて正札制で値引きはしないが、案外大きな店舗でも値引の交渉をしないで、その示価額やいい値で買うと損をする場合がある。それは買物上手な人に聞くかしないと判らないことだが、各国から移民が入っている国



サンパウロのショッピングセンター

柄だけに、商売上手な商人も少なくない。また百貨店や一流店でも案外に呑気なのか、調査が不百分なためか、同一の品物でも値段に相当な開きのある場合があるから、高価なものを買うときには、よく調べてから買うことも一つの方法である。

### つり銭

僅かな買い物をして大きな紙幣を出したりした時、特に地方へ出るとつり銭の出し方が変っている。例えば3クルゼイロスの買い物をして、100クルゼイロスの紙幣を出すと、細かい方から、2Cr\$, 5Cr\$, 10Cr\$4枚、50Cr\$札といったように数えながら出す。それもスローでやるから急ぐ場合など最後の一番大きい札を受けとらずに飛び出すことのないように用心のこと。

日本式に大きいのから数えて出すやりかたもないわけではない。

### 小 銭

小さな買い物をする場合、チップを出す場合など小銭を用意しておくとう便利である。とくに映画館等に入る時、釣銭を間違えて渡されることがあるから、その入場料だけをキチンと払うようにするがよい。

### 紙幣の扱い

「ブラジルのあらまし」の項で述べているように、ブラジルの通貨には幾種類かの硬貨や紙幣が通用しているが、紙幣の中にはひどく汚損されているものが相当にある。そして紙幣の型は日本のサツよりも可成り細長い。大量のサツを受取る時には、よく注意して数えないと、途中で折れて一方の小口では2枚になるようなことがある。だから一度数えたら、他の小口をもう一度数える方が安全である。

### 物の値段

日本では米をはじめ、多くの商品の個々の値段は大体どこへ行っても余り高低はないが、ブラジルでは甚だしい違いがある。

例えばバナナ1本が市のレストランでは20円、一寸郊外に出ると1房20円、100キロも離れた産地では、ひとかかえもくれる。これは極端な例えだが、生活必需物資の悉くに多少なりとも値開きがある。これは国土が広大すぎる上に

交通の発達が比較的遅れているため、場所を異にすれば、米は1升、1斗1石を同一の値段で買うことが出来る。

### 度量衡

メートル10進法であるが、まだいくらか植民地時代から伝わっている単位が使われている。

重量 クアルタ = 120gm

リブラ = 500gm

アローバ = 15kg

面積 アルケール・パウリスタ=24,200m<sup>2</sup>

クアルテル・パウリスタ=アルケール・バリスタ $\times\frac{1}{4}$ =6050m<sup>2</sup>

アルケール・ミネイロ(リオ・ミナス州で使用される)=48400m<sup>2</sup>

(約5ヘクタール)。タルファ・ド・ノルテ(北部諸州で使用される)

=3025m<sup>2</sup>, タレファ・バイアナ(バイア州で使用される)=4366m<sup>2</sup>

液体 キント=40lt

体積 バネイロ(マラニオン州で使用される)=50lt, ギイア(ペルナンブ

ーコ州で使用), カルヂ・デ・ミリヨ=15ギイア=150lt, モン・

ヂ・ミリヨ=11lt, サツコ・デ・フェリニャ=100lt, サツコ・

デ・フェイジョン=80lt, サツコ・デ・アロース=100lt

### サイン

日本では実印や認印が使われるが、ブラジルでは署名(Assinatura)<sup>アッシナトゥラ</sup>が印鑑に代って用いられる。サインは勿論自分で書く署名で、他人の代用は認められない。しかし自署であっても書体が変わったり、文字を変えたりしてはサインにならない。サインは公証役場に届けておき、その様式のサインが永くその人によって使用されるものである。預け入れた銀行預金もサインを変えると払出すことが出来ない。実印と同じ効力をもつサインはあらかじめ工夫し、書き慣れておくことが大切である。

### 証票書類

日本でも受取書や預り証その他いろいろな証票は、取引きや受渡しの事実を

証するものとして保存することは当たり前であるが、ブラジルでは特にこれが大切である。いわば書いたものが物をいう社会である。1例を挙げると、自分で日本から持込んで税関をパスした荷物でも、それを証する書類がないと輸送に困難を生じたり、税務吏から不当な措置を受けることがあったりする。身分を明確にする書類は、常時携行するようにしないと困ることがある。

### 地 権

土地所有権のことであるが、ブラジルでは近年まで土地台帳が確立していなかったし、地方によっては土地の売買が開口の長さで行われたり、先住者に特権が与えられていたりするので、土地の売買には十分注意することが肝要である。極端な事例では同一の土地を11人が所有しており、裁判所も手古招ったという話もある。何しろ土地の値段がタダに近い所から、世界でも一番高いといわれるニューヨークの中心地よりも高い値段で土地売買が行われている国だけに、よく調査の上で売買または賃貸借をすることが大切である。

### 戸籍 (国籍)

日本からブラジルに行って、そこに永住してもブラジル人になるのではない。外国人として登録されるだけである。ブラジルで生まれた子供はブラジルの登録所に届ければブラジル人になるが、1世は帰化の条件をそなえて申請しなければ、ブラジル人になることはできない。その条件は次のようなものである。

1. 5カ年間国内に居住すること。
  2. ポルトガル語の読み書きが出来ること。
  3. 申請者の生活を保証する職業または収入があること。
  4. 素行善良なること。
  5. 懲役1年以上の刑を以て処罰し得る罪に問われたことがないこと。
- 1の居住に関する条件は、つぎの事情ある場合には短縮することができる。
- ① 申請者がブラジル人たる父または母をもつ場合
  - ② 申請者がブラジル人たる妻または子女をもつ場合と、申請者が農業者であるか、特殊の技術をもつ場合 (2年)

- ③ 申請者が職業上、芸術または科学上の能力をもつ場合、またはブラジルのために顕著な貢献があるかまたは貢献し得る場合（3年）

ポルトガル人は、その語学の知識の点で、居住期間について利点があるから、特別の適用をうける。

### 電話のかけ方

最近、都会の電話器はほとんどダイヤル式になっているが、ホテル内とか手動式の電話をかける時は、受話器を上げるか、ハンドルを回すと、交換手が“Telefonista”と出るので、話す相手の番号を告げればよい。番号は何千何百何十といわずに、例えば、9870番の場合、9.8.7.0のように数字を1位のまま1つ1ついう。ただその中で6だけがセイス seis (6) といわずにメリア Meia, という。これは Meia <sup>ドゥジア</sup> duzia (12の半分つまり6) のこと。

またまた、ホテルの部屋から外部へかける時は、Telefonista (交換手) が出たら番号をいう前に、(Linha) 外線とってから番号を告げる。

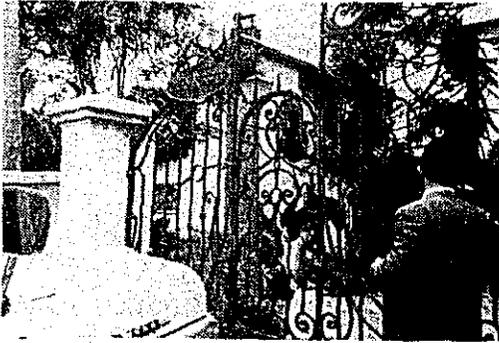
ダイヤルをまわすと先方が「プロント」と出るので、話しかける人は「Quem é que fala?» (あなたはどなた?) と聞くと、相手は自分の会社の名前をいう。誰々を読んで下さいとか、用件に入るわけだが、少し待って欲しい時は <sup>モメント</sup> Momento <sup>ポル</sup> por <sup>フアボール</sup> favor または <sup>モメントーニョ</sup> Momentinho といえよ。

### 郵便私書函

広いブラジルの何処かに住んでいる人を郵便屋さんが訪ね歩くわけにも行かないので、郵便私書函 (<sup>カイソフ</sup> Caixa <sup>ポスタル</sup> Postal) の制度が発達している。よく伯国に移住した人の宛名に、氏名、Caixa Postal ×××, Estação ○○, Linha △△ というのがある。これは△△鉄道(線)、○○駅、郵便私書函×××番というので、駅に私設された私書函のところまで郵便物を配達してもらう仕組みである。だから余り大きいものは函に入らないから駅または私書函の管理者に聞いてみないと来たか来ないかわからない。

### 電報

日本のように、どこの家へでも配達はして呉れない。殊に地方では局止め置きが建前になっているから、相手がたまたま行き合せないと何時までも局にお



日本人成功者の邸宅

かれる。ブラジルでは飛行機や汽車の旅に出る直前に打った電報が、本人より後から着く例は珍しくない。

#### 汽車時間

こんなことを書くとブラジル政府から叱られるかも知れないが、ブラジルの落し話に老人が駅の改札口へ、子供の

切符を持って出て来た。駅員がとがめると彼はいった。——私が乗車駅で乗るときはこれでよかったのだ！ これは揶揄に過ぎないが、8時の汽車は何時に出るのか、といったような問い合せは今でもないわけではない。汽車の旅は糞沢で、急ぐ旅は飛行機で、というのがこの頃のブラジルである。しかし最近では汽車の時間がだんだん正確になって来たのもまた事実である。

#### 勤務

労働法規や労働条件が案外進んでいる伯国の近代産業では、勤務時間は厳しい。時間中にタバコを喫ったり、冗談を飛ばしたりはしない。しかし休憩時間に入ったり、終業時を過ぎると、それは労働者本人の自由な時間だから上司といえどもそうやたらにすぎ勝手に仕事をさせたり、後片づけをさせたりすることは出来ない。よく喩え話にいわれるが“手術の最中でも、時刻になると看護婦は帰ってしまう”。それほどである。

#### 貴族趣味

ブラジル発見当初から帝政時代には、領土保全のために本国から宮廷の頭官として相当数のポルトガル貴族が渡来している。それらの子孫の血が今のブラジルの上層部や文化人の間に流れている。そして彼らは一種の格調を持っており、その伝統を持ちつづけることに誇りを感じている。商工業化や移民の隆昌によって成り金階級が生れ、これらの人士を斜陽視する傾きがないでもないが、彼らの孤高な趣味や風習は依然として現存している。

## キスト

目の上のたん瘤は気にかかる代物だ。自国に入って来た外国人が肉腫（キスト）的な存在となる特殊部落をつくってはいかん、というのがブラジル国粋派の主張で、これが排日論にまで発展し、移民の入国数を2%に減ずる法律や、各種事業の使用人数は白人を3分の2以上とする法律まで出来た。実際にはブラジルという広い国土は集団移住などによってキスト的かたまりが出来たとしても、或る期間の後には消化してしまっているが、他国人同志がひと塊りとなって何か画策でもしているように、肉腫のように思われたくないものだ。

## 少数民族

日本のように単一の入種で国民が構成されていると気づかないが、種以上の民族が混在する国では、少数民族は北米の黒人種のように大きな問題となる。日本人も海外に移住すると、少数民族の立場におかれる。少数民族はそこで慎重に行動しないと多数民族から嫌われることになる。それはかつて北米でもブラジルでも日本人排斥の事態をひきおこしたことでわかる。掲多数で少数をいじめることは感心したことはないが、少数民族側に責任がないわけではない。例えば、

1. 少数民族が自分たちだけの集団を作り、特有の学校や寺を建てたりして、その国の風習に溶けこもうとせず、かえって特異な宗教や風習をつよく持ち込んだりすることや、
2. 少数民族の内部でお互いに争ったり犯罪をおこしたりするばかりでなく、その国の経済や文化に何ら貢献しない場合に、少数民族は排斥されることになる。十分に注意しなければならない。

## 3分の2法

ブラジル人の生活を保護するための法律で、会社や工場などで使用人が3人ある時、少なくとも2人はブラジル人、又は10年以上ブラジルに住み、ブラジル人たる妻又は子をもつ外国人であることが必要だというのが要旨である。そこで例えば、日本の工場を移す場合にも、日本人技術者だけで工場を経営することは出来ないわけである。

## 叱り方

ブラジル人は、面子を重んずる国民である。だからもし過失を犯したり、命令に反するようなことがあった場合でも、他人の面前でヒドク小言をいうことはいけな。そんな場合、その人は、他人の面前で叱られたということを盾にとって、反撃に転ずることがある。もし小言や、それに近い説明を加える必要があるときは、他人の居ない、他人に聞えないような方法で、よく納得できるよう説明することが大切である。賞める場合はその反対であってよい。

## 謝罪

やたらにベコベコと、Perdão (ペルダオン) をいわないこと、自分に非があったときは、その事由をよく説明して相手に納得させてから謝罪すること。もし訳もいわずに「悪かった」というと、気位の高いラテン系の彼らは偉丈け高になって怒る。しかし日本式に短気に手出しはしないから相手の気の静まるまで、静かに説明するか、時を待つ。相手が事情や理由を諒解できると、日本人のようにいつまでも根に持つようなことはない。「どうも済みません」という場合、テレ隠しの笑顔で、痒くもない頭をかくのが、日本人の謝罪の動作だが、これはブラジルでは通用しない。笑顔は愉快なときの表情で、「君は謝罪するのに愉快なのか」、侮辱しているのか? 」というのが先方の考え方。

謝罪するときはなるべく沈痛な表情で、Perdôa-me <sup>ペルダミア</sup> とか、Desculpe-me <sup>デスクルペ</sup> と真面目に詫びること、笑顔をするのは逆効果になる。

## 意味は反対

混み合った乗物の中で他人の足を踏みつけたとき、人に突きあたった時も、日本語では「失礼」又は「ごめんなさい」、他家を訪問して玄関に入る時も、「失礼します」「ごめん下さい」で、エチケットの言葉と謝罪の言葉が同じように使われる。これはブラジルではハッキリと区別してつかわないとトンダことになる。

人の足を踏んだ時の「ごめんなさい」は Perdão <sup>ペルダオン</sup> 又は Desculpe <sup>デスクルペ</sup> であり、他家を訪問した時の「ごめん下さい」は Com licença <sup>コン リンセンサ</sup> 又は Da licença <sup>ダ リンセンサ</sup> である。

## ホテル

ブラジルの普通のホテルは米国式で、部屋代と食事料金は別になっている。どのホテルにもタオル類やトイレット・ペーパーは備え付けてあるが、一流のホテルでも石鹸の備付けのない処が多い。またスリッパ、パジャマ、ガウンなどは持参しなければならない。ホテルに宿泊の場合は旅券または身分証明書カルテイラ デ イデンチダデ (Carteira de Identidade) を持参することが必要である。

## 理髪店

日本でも新しい様式の床やさんでは髪刈り、ヒゲ剃り、洗髪、ポマード、香水、爪磨きなどと仕事やその料金を分けて、客のいっただけをする店もあるが、ブラジルでは一般の床やさんはこの仕方になっている。日本のように、床やさんの為すに任かせておくと、全部の料金はとても高いものとなるし、また髪を刈ってくれといっただけではヒゲまで剃ってはくれない。顔剃りといってもブラジルでは眉の辺りから額にかけてはカミソリを入れないのが習慣である。理髪代金を払うときには若干の心付けをやることもならわしてある。

ブラジルの、特に若い青年たちはいつもポケットに櫛を所持して、時折頭髪の手入れをする風習がある。ホコリだらけの頭髪は禁物とされている。

## 運び屋

主婦が市場メルカド (Mercado) や移動市フェイラ (Feira) へ買い物に行って、ひとかかえ以上もの買い物をした時は、その辺にいる運び屋さん(主に少年) に頼んで、持たせてついて来てもらうとよい。料金もそう高くはないし、婦人が大荷物を持ち運ぶ姿は、本人のためにも、主人のためにも宜しくない。買い物を女中にばかり任せるわけにも行かないだろうし、上品な婦人が小車やカゴを持った運び屋の少年を連れて歩いて買い物をしているのも、ブラジルらしい風景である。

## 靴みがき

公園や街の広場などには靴みがきの少年達が多勢いて、ときには磨かせてくれとせがまれる。また、都会には靴みがき専門の店もあり、髪と靴はツヤのある方がよいとされているから、靴みがきも大いに利用することは結構だが、婦人は決して靴を脱いだまま磨かせてはいけない。自宅で磨くか、脱いだ靴を磨

かせることを忘れないように。

### 物乞い

日本式に言えば「乞食」だが、ブラジルではまァ一種の職業とでも見るのか或はまた憐れみからか、ベルを押して堂々と玄関から訪ずれてくる。主婦などはここで慌てず、上手に帰って貰う方法を普断から考えておく必要がある。施しや憐れみを与えることの出来る立場は幸福であると考えている国民であり、また失敗して物乞いするのも運が悪かったからで、神が救ってくれる、とも考えている国民である。喜捨は献金と同じく神への奉仕であり、あるいは自分たちの心への奉仕であるかも知れない。

### カトリック

ブラジルは宗教の自由を憲法で保証しているが、ローマン・カトリックを国教としており、国民の大多数もこれを信奉している。だから政治も社会生活の基礎もカトリックに根ざしており、カトリックを知らなければブラジル人を理解出来ないとまでいわれる。カトリックという縁遠い宗教のように考えがちだが、わが徳川時代にサン・フランシスコ・ザベリヨによってもたらされたキリスト教はカトリック（天主公教）であった。これが激しい勢いで日本に広まりはじめたので、幕府は布教を禁じるとともに、信者を弾圧した。それに反抗した天草四郎の乱などは有名であり、北海道のトラビスト修道院、あるいは原爆をこうむった長崎の浦上天主堂などの名は誰にも知られている。

カトリックを日本では旧教と呼ぶ人がいるが、これはプロテスタントを新教と呼ぶので、それと区別対照的に名付けたのだらうが、旧教というと古い教え、現代に適應しない昔の教えと解釈されるが、日本では天主公教と呼んでいる。

ブラジルの宗教はカトリックとなっているが、渡伯者は必ずカトリックに帰依しなければならないというのではない。しかしブラジル人の大部分はカトリック信者であることに留意することが大切である。

### 日本語の中のポ語

前にも述べたように国語はポルトガル語であるが、多くの民族が移住して来

て生活しているので、本国のポルトガル語とは多少ちがった発音になっている。これに関連して面白いことは、かつてカトリックの宣教師たちが日本に来てポルトガル語を普及したので、かなりの数の言葉が日本語化している。例えば、マント、合羽、じばん、ボタン、ねんね（赤ん坊）などは、ポルトガル語すなわちブラジル語である。

### 休日と訪問

日曜日、祝祭日は家庭的な休養日である。従って会社も商店も原則としては休業日で、閉まっているのは映画館、劇場、料理店、酒場、薬局などだけ。ブラジルでは日本式に休日に働いたり、不意に他人を訪ねたりしない。前もって連絡なしに訪ねたり、食事時に訪問することは失礼になる。祝祭日次の表は、宗教的な祝祭日である。

### 祝祭日

次の表は、宗教的な祝祭日である。

復活祭	}	春分後の満月後の最初の日曜日
キリスト昇天の大祝日		復活祭後40日目にあたる日
聖霊降臨の大祝日		復活祭後45日目にあたる日
三位一体の聖祝日聖体の祝日		聖霊降臨後第1の日曜日、聖霊降臨の次週の木曜日
聖母被昇天の大祝日		8月15日
諸聖人の大祝日		11月1日
クリスマス		12月25日

この他、サンジョアン、サン・アントニオ、マリアの昇天など中、小の祭日もあり、諸官庁、学校など休日とすることもある。

国家的大祝祭日	}	5月3日	ブラジル発見日
		9月7日	独立記念日
		11月15日	共和制樹立日

### 洗 礼

キリスト教では生まれてくる子供は、みな原罪をもっているのです。神の子となるためには、洗礼を受けなければならないことになっている。その儀式は、両親のほかに親しい人に頼んで代父、代母になってもらい、教会に行き神父(Padre)の祈りによって行われる。その時その子供がカトリック教会で定めて

ある諸聖人の中から両親の希望または神父の選択によって洗礼名が与えられる。ブラジルでは男児はパウロ、アントニオ、マリオなどの洗礼名が多く、女子ではマリア、アンナ、セーリア、カタリーナなどの名が多い。

### 日本宗教

日本の神道や仏教が移住者と共に移入されているのは当然だが、第二次世界大戦後、諸派の神道や仏教の専門家がさかんにブラジルを訪れて運動を開始し、神社や寺院がいくつか建てられている。

その他いわゆる新興宗教といわれるもの支部も出来て活動しているが、ブラジル人社会には殆ど影響を与えていない。

### 代父・代母

代父(Padrinho)<sup>パドリーニョ</sup>、代母(Madrinha)<sup>マドリニャ</sup>とは、他家の子供の洗礼に立ち会った人をいい、この二人は必ずしも夫婦でなくともよいし、また未婚の男女でもよい。この二人は生みの親の次ぎにその子供の後見役となるものだが、この頃では単に形式的なものになりつつある。しかし、まだ代父や代母はその子供が小学校へ入るとか中学を卒業するとか、大学を出るとか、結婚するとかという場合には、相当な贈り物をするし、毎年のクリスマス(ナタール、Natal)にも贈り物をする習慣がある。これは美しい習慣で、日本人の二世、三世は勿論その多くがブラジル人を代父、代母に持っているので、両親と代父、代母の交際も深くなり、自然と日本人がブラジル人社会に溶けこむ役目を果している。

### コンパドレ

この代父、代母と両親の関係をコンパドレ(Compadre)といい、両親は子供のために社会的、経済的に自分達よりも優位な人に代父、代母を依頼する。頼まれた代父、代母は宗教的な子供が多いことを喜ぶので、まず、断わられるようなことはない。

### アフィリヤード

代父、代母に対して、その子供をアフィリヤード(男)、又はアフィリヤードと呼ぶ。アフィリヤードは代父、代母の誕生日には花束を贈るとかして祝意を表するほか、真の両親に対するのと同じように慶弔のつとめをする。

### バイレ

Baile は舞踏会のことで、お祭りの舞踏会、家庭的な社交ダンスなどいろいろあるが、ブラジル人は老若男女の別なくバイレ好きで、祭日や誕生日には親しい人々が集ってバイレをする。ブラジルのサンバやバイヨンのリズムは単純であるからすぐ覚えられる。また、踏りのステップも日本のように形式張ってはおらず、テンポに合わせて軽く踊る。あまりマジメな顔付きで相手を見つめながら踊ると、ときに誤解を招く。特定の相手とだけ踊らずに、誰とでも適当に踊るのが礼儀である。とはいえ見知らぬ女性いきなり申込むのは失礼でその女性の同行者に諒解を求めるのがエチケットである。しかし女性から申込みをうけて踊らないのは失礼で、踊れぬ場合は上手にことわる言葉を、あらかじめ心得ておくこと。

また、自分の家で開催するような場合、彼らは夜中の2時頃まで踊る習慣だし、帰途には何か一寸した記念品（一寸したほんの小物でよい）を持たせるように用意することを忘れぬように。

### 接待

日本では得意先などの接待は、夕刻から料亭で男だけで芸者をはべらせてやることが多いが、伯国では昼レストランで行なうのが通例で、夜は男だけの会食はなく、主客ともに夫人同伴である。よく行われる接待は、家庭へ相手夫妻を招待することで、この場合主人側の中心は夫人で、話題も夫人達中心となる。男達だけが商売の話題に熱中して、夫人たちを除けものにするのは失礼である。

### 口笛

楽しい遊山などで周囲の風物を眺めていると、ひとりでに口笛も出て来ようというものだが、スポーツの試合や観劇中に口笛など吹くと、選手や俳優のやり方に対して、観客として不満を表明することになり、もしそれが的外れの口笛であったりすると、周囲の観客の迷惑は勿論、彼らからひどい目に逢わされることにもなる。楽しい口笛も場所によってはとんでもないことになるから、よく注意すること。



フックラと可愛い“桃の女王”  
ブラジルでおいしい桃をつくりだしたのも日本人である。

### 家事使用人

使用人にその権利と義務を予め明確にいい渡しておくこと。2世と雖もブラジル人的な考え方を持っている。時間外にお金をやって長く働かそうとしても「Não」といって断られるのが普通である。不始末をしてもなかなか「悪かった」とは謝らない。皿を落して割っても“皿が手から落ちた”という。これに対して「バカ」と怒鳴ってはこちらの負け。よくその理屈とやり方を説明して納得させることが大切。また年頃の女中

には1人や2人のいい人がついていると知らなければならない。いずれにせよ仕事の役目と限度を明らかにして、上手に協力させることが肝心である。

### アマニヤン主義

アマニヤン, Amanhã とは明日、または近い将来という意味で、こんな主義があるわけではないが、ブラジル人には悠長なところがあって、日本人のようにセカセカしない。これをしてくれと頼むと、宜しい明日中に、翌日になるとまた明日中にはといった具合に、達成期限が明日明日と伸びてしまう。こんなところから出たのだろうが、現在では、ブラジルといえどもすべてがそんなことでは済まされず、約束はキチンと守るようになっている。しかし、祖母に招かれたので、遅れたなどという見え透いた言い訳も一応は認めなければならないことも心得ておくべきである。

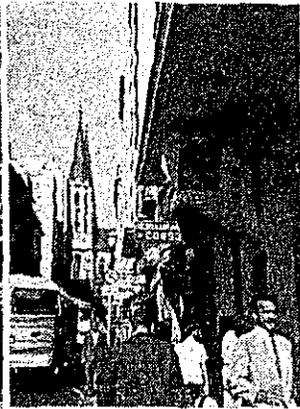
### 三猿主義

自分に直接関係しないことは、どちらかといえば、「三猿主義」で済ませた方が無難である。

論争やケンカの仲裁に入ったり、交通事故などいつまでも傍観していると、ときには立証者の立場におかれて何回も呼び出されたりすることがある。“婦



アマゾンの第一トマス schools 祭



サンパウロの日系銀行

人が困る立場にある時は進んでその困難を排除してやるのは騎士の道”である  
とされ、その婦人の哀訴によっては屈強な男子による社会的な制裁が行われる  
風習も残っている。が、さわらぬ神は祟らない。

### ジェスチュア

(1) ここでいうジェスチュアとは顔の表情や上体や手指を使って、何らかの  
意思表示の補充をする場合のことで、細かくいえば限りがないが、娘さんが何  
でもないのにほほ笑んだりすると「合意」を示すことになり、男が婦人に向っ  
て片目をパチパチしてみせるのは「誘いかけ」の合図である。肩を後方へひく  
格好は「否、知らぬ」などを意味し、人指し指を自分の方に曲げたり、手を顔  
の高さに上げて自分の方へよせるようにすると、“こちら来い、来なさい”  
を意味し、日本式のオイデ、オイデの形は“左様なら”を意味する。日本でお  
金のことを人指し指と親指で丸く輪にして見せるが、この格好は絶対に、特に  
婦人の前ではいけない。お金のことは親指で人指し指と中指を擦るようにすれ  
ば足りる。

日本人ほどジェスチュア（身ぶり）の少ない、または乏しい民族は少ないと  
いわれる。この点でブラジル人は日本人からみると身ぶりが多すぎる。表現が  
大げさすぎると思われるほど豊富だ。例えば両手を拡げて肩をすぼめれば「仕

方がない」とか財布が空っぽだとか意味し、耳をつまんで「ダ・キー」といえば、「結構だ」とか「非常にうまい」とか「素的だネ」とかを意味する。この習慣はなかなか愛嬌があり、自然とこのしぐさが出てくるようになれば、ブラジルの良さがわかったことになる。

(2) 大きなジュスチェアを用いることはラテン系人種の特徴でもあるほど、彼らのジュスチェアは会話や演説に入ってくる。大手を払げてみたり、足を踏み鳴らしたり、それはそれはいろいろである。大いに学び工夫して、意思表示に役立てることがよい。口の前で口に向けて掌を上下させると食事のこと。握り拳の親指を立てて、口の処へ持ってゆくと飲む表示。片方の手を握り、他方の掌でそれをたたくジュスチェアは絶対にいけない。人指し指で目の下を指し（日本ではアカ目）示すと、注意して見よ、よく観察せよの意味。

### 入浴

ブラジルには銭湯というか町に風呂屋はない。一体に、他人に肌を見せない風習である。入浴には自宅のバス、職場や合宿などのシャワを用いるが、シャワも個人別に分けてあるほどである。だから盛夏暑いからといってフンドシ一本の素裸で涼をとるなどはもっての外の行為である。家庭内でもこの風習は改めなければならない。奥地の山の中でも谷川の近くに上衣でも置いてあったら、その先で誰かが沐浴でもしているものと考えて遠慮することである。

### 便所

便所にも各種のスタイルがあるが、使い方は問題のないところであろう。ただ家庭やホテルによっては、日本には未だ普及されていない婦人用の特殊な装置があって便器と間違え易い（訪伯知名人中にこの失敗を犯した者あり）から注意して誤らぬこと。また、これも解り切った常識であるが、他人が見ていないからといって、道ばたや建物の蔭など立ち小便などしないこと。これらは日本で考える以上に破廉恥な所為とされている。また便所の男女別は厳格に守られており、男が婦人用を使うことは勿論、女が男用に入ることもいけない。便所の掃除夫でさえ男便所は男、女の方は女となっている。決して間違えて使用しないこと。男の便所にはまたは Homens または H 或るいは Cavalheiro ま

たは C 婦人の方には *Senhoras* または S と標識してある。

### 千鳥足

酒に酔って道路を千鳥足で歩くことは絶対にいけない。彼らの中にも酒を嗜む者は決して少くない。別項の「宴会」にも示してあるように、酒を伴う生活はたくさんある。安くて度の強い通称ピングなどというブラジル酒もあり、酒店もたくさんあって、内外の酒類が販売されている。しかしブラジル、特に都市では“酔ッ払い”を決して見ない。もし一度でも酔っ払った態度を見せると、もう彼らブラジル人はその日を契機として以後軽視することになる。

### 手出し

論争や口論が込み入って来て、こっちに理屈があると思うと、つい口ベタでムズムズするような場合が起るかも知れないが、先きに“手出しをしたら負け”である。ブラジル人の口論など見ていると、今にも掴みかかりそうなジュスチュアはするが、なかなか相手の体に手は触れない。まあ、こんな事態になったら、真っ先に逃げ出すこと、逃げるが勝ちと決っている。そしてその口論やケンカの感情やツヨリを翌日へ持ち越さないことが大切である。

### 禁語句

たまたま語や音が同一であったり似ているために、それをブラジル語として彼らが聞いた場合、聞くに耐えない言葉となるような日本語がある。この項は別に纏めてもよいほど沢山あるが、極端な事例をあげると、魚(サカナ)、筆九、科学、(化学)、文壇など幾つもある。しかしこれは何れも日本語であって、日本人同志が使うのは差しつかえないとしても、これらの言葉の音が、ブラジル人に聞かれると飛んでもない言葉となる。

*Sacana* (破廉恥行為の汚ない表現)、*Fude* (性交の卑語)、*Cagami* (糞をかける)  
*Cu* (肛門の卑語)、*Cagaku* (糞、肛門)、*Bundão* (デカイ尻) ビールも男根の卑語。われわれがよく使う“飯を食う”(肛門をいじる)、こんちは(今日は)は *Com tua* (あなたのに触れる)、「それは君の分だ」*BUNDA* = お尻)、などとなってしまう。早く言葉を覚えて 9 は, *nove* 魚は *peixe*, 化学は *quimica*, ビールは *cerveja* というべきである。

## VIII ブラジル料理と食事作法

### 内 容

1. はじめに
2. 宴会の種類
3. この章に用いられたブラジル語
4. 代表的なブラジル料理
5. 食事を終えて
6. 食事のエチケット
7. 料理の食べ方
8. ディナーパーティ
9. シュラスコ会

#### 1. はじめに

宴会や食事の作法と言っても特に取りたてるほどの難かしいことではなくひと通りその要領を心得ておけば、諸外国の紳士淑女と宴を共にしても結構うまくやってくれる。

ここに示すものは世界的に権威のあるフランス式を基本とたしものであるが、(勿論ブラジルの上流社会にも適用される)。一応の高いレベルを述べて、それぞれの場合に適応させてもらうための参考に供するものである。

ここで一言お断りしておくことは、派遣されるすべての人や家族の人々が、以下の本文を読んで、特に「衣裳や仕度」について、皆が皆これだけの用意をすべきだということではないことに注意して頂きたい。

#### 2. 宴会の種類

食事付きの宴会にはいろいろな形式や名称があるが、普通には次のように分けられている。

Dinner Party (ディナー・パーティ=晩餐会)

Garden Party (ガーデン・パーティ=園遊会)

Cocktail Party (カクテル・パーティ=開宴中の出席、退席自由の宴会)

Tea Party (ティ・パーティ=茶話会)

ディナ・パーティ

ブラジルでは社交的な集会を、宴会 (Banquete. バンケッテ) と、多人数招待会 (Recepção. バンケッテ) の2種に大別し、さらにバンケッテを、晩餐会 (Jantar ジェンタール) と、午餐会 (Almoço アルモッソ) に分けられる。

またレセプションの方も次のように分けられる。

- 1) 園遊会 (Garden Party — ブラジルにはこれに適應する言葉がないから、英語をそのまま使用している場合が多い。しかし後に記すように、Churrasco (シュラスコ) 会がブラジルのガーデン・パーティであるとも言えよう。
- 2) カクテル・パーティ、英語の Cocktail に対して Coquetel コケテールという語が出来ており、パーティの語は省略して単に、Coquetel でカクテル・パーティを指している。
- 3) ティ・パーティ、この場合も Tea に相当する Chá (チャー・茶) の1語だけで Tea party を意味している。

一日の食事の中心である食事を、規模を大きく、社交的にしたもので、ディナ・パーティ (晩餐会) は主として祝賀・結婚・歓送迎・社交・儀礼の会合に開催される。

公式の服装は、男はイヴニング・コート (燕尾服) = 白チョッキ、白蝶ネクタイ、白革手袋、エナメル短靴。女はイヴニング・ドレス (夜会服) = 夜会には髪飾りをつけ、帽子は被らない。白革長手袋、飾り靴、和服ならば白襟の黒または色紋付、丸帯で羽織は着ない。但し招待状に服装の指定があれば、勿論それに従う。「White tie」と書いてあればイヴニング・コート。「Black tie」とあればタキシードを着用する。略式はタキシード (黒蝶ネクタイ・黒チョッキ・暗い色の手袋) 黒のダブル・スーツなど時に応じて用いられる。

#### 午餐会

午餐会はディナ・パーティ (晩餐会・Jantar) と同様の機会に開催されるが、

正客または主催者側などの時間の都合で、晩餐会に代えて行なわれるもので、正式の宴会ではあるが、晩餐会に比べて服装をはじめ食事その他すべてが多少簡略である。

#### ガーデン・パーティ

格式を尊ぶディナに対して、これは至って気軽な屋外の園遊会で、夜の場合もあるが、主に午後のひと時を楽しむ立食式の会で、立食用食卓にオードブル、サンドイッチ、カクテル、ビール、ジュースなどを用意する。客は自由に飲食できる。披露、歓送迎、交歓、祝賀など大がかりなときに催おされる。服装は指定がない限り平服でよい。

#### カクテル・パーティ

悠長で格式張ったディナを能率的な宴会に改めたもので、開宴中いつでも出入り自由で、ガーデン・パーティの項に述べた飲食物が、立食式テーブルに配置され、客は各自に自由に移動して飲食してよい。

服装は正式には、タキシードとアフタヌーン・ドレス（或いはカクテルドレス）とされているが、平服（黒みがかった服）で出席して支障えない。

#### ティ・パーティ

文字通りのお茶の会で、紅茶、ジュース、クッキー、ケーキ、パイ、サンドイッチなど軽食を適宜に盛り分けて出す。勿論、服装には制限なく、平服でよい。

なお食事には朝食(Breakfast)、午餐(Lunch)、晩餐(Dinner)、夜食(Supper)などがあるが、午餐と晩餐は日本の夕食に相当する。

ブラジルでは Almoço (フルモッコ、朝食または昼食) と Jantar (ジャンタール・夕食) の 2 食制で、この前後に軽い Toma Café = トマカフェ (コーヒーとパンなどの軽食) の食事がある。

### 3. シュラスコ会

これはブラジル独特の園遊会である。シュラスコ Churrasco は元来ブラジル南部地方の牧場で行なわれていた野外食事で、近年都市の上流社会にも広ま

ってきたものであって、牛肉を、1片150から200グラムの大きさに切り、長さ1メートルもある割り竹の、先端をとがらせた大串の先に突き刺して、よくおこった炭火にかざして焼く牛肉の焼肉料理である。

シュラスコ会はこの焼肉を主とし、ビールその他の清涼飲料、果実、パン菓子類などを潤沢に用意して、固苦しい礼儀作法は一応抜きにしてお客の意のままに飲食させる甚だ自由な社交的な食事会である。

特に焼肉竈(かまど)の設備ある処は別として、庭園内の広場や、あるいは全くの野外に出かけて行なわれる場合には、石や煉瓦を積み重ねて竈を築き、盛んに火を焚いて、炭火のオキをつくる。肉が適度に焼けるのを待って客はそこに寄集って、大串を1本ずつ手に取り、普通は串刺しのまま食いちぎりながら賞味する。婦人や歯の悪い老人など大串のまま直接食べない人々のためには、皿フォーク、ナイフなども用意されているから、肉を串から外ずして、ビーフステーキやロースト・ビフのように皿の上で切りながら食することもできる。

大統領や高官、名士または外国からの賓客などが地方を訪問したときなど、適当な歓待の場所(公会堂、クラブ、ホテル等)が見つからないときには、野外の清潔な地が選ばれて、突嗟の間に準備することができ、またその人数の多少は幾らでも都合のよい宴会方式であるから、ブラジル国内には、親しみのあるこの宴会方式がますます拡まりつつある。

#### 4. ディナ・パーティー

正式のディナ・パーティーには招待状が来る。それには必ず出席の諾否を返事すること。当日は髪、爪など体を清潔にし、服装や装身具を指定通りに、または適当に整えること。定刻の5分乃至10分前には会場へ到着するようにする(余り早くても主催者側が困る)。主催者側は定刻(予定時刻)から20分程度おくらせて開始するようである。

会場へ 外袋、帽子などはクロークに預け、預り札を受ける。受付に招待状を差し出す。座席が指示されているときは、座席の状況を予め承知しておくこと。

控え室に入り、主催者側の主人役（ホステスとホスト）に礼を述べる。来会者知人に挨拶する。ホステスとは主催者側の主人役で、外国では主婦が主人役となり、主人はホステスの介添役（ホスト）となるのが例である。但し東洋式では主人が司会する。

パートナー（男女一組となる客）となる男性または女性が紹介されるから、食卓につくまで相手をする。欧米ではパートナーを紹介する場合、男の側が紹介され、女が男に紹介されるということはない。

**食前酒** 食堂に入る前にコクテルやアメールなどの飲みものが出るが、グラスを右手に軽く支えて、ひと口に飲み干すこと。オードブルは盛り合わせの一皿から好みのものを2～3種取り分ける。略式の場合は食堂に入ってから献立の前にアペリチーフ（食前酒）とオードブル（前菜）が出されることもある。正式の食事では、料理はすべて大形の皿に数人分盛り合わせ、客が各自に添えられたスプーンとフォークで自分の皿に取り分けることになっている。給仕がおる場合は給仕に命じて取らせてもよい。グラスや小皿などは給仕の盆に返すか、サイド・テーブルにおく。

**食堂** パートナーが腕を組むには、男が女の左側に立ち右肘を軽く張る。女はそれに軽く手をかけて、ホステスの合図に従って食堂に入る。着席の合図があったら、給仕人の居ない時は、男が女の椅子を静かに押してやる。子供、老人、婦人、先輩が着席するまでは、椅子の後に立って待つ。席には必ず左から出入りする。パートナーの組み合わせもなく、席の指定のない時は、適宜と思う席に着いてよい。椅子は充分に引きつけ食卓と体の間を握りこぶし一つ位あげ背を伸ばして、ゆったりと腰かける。肘は自然のまま脇につけ、張り出すようにしない。足は揃えて心持ち前方に出す。両手は軽く握って卓上におく。椅子の背にもたれかかったり、ポケットに手を入れてはいけない。

**食事前** ナプキンの中からパンを出し、パン皿にうつす。皿のない時は、それと覚しき位置におく。ナプキンを2つ折りに拡げて膝にかける。これは膝の上におくもので、決してよだれ掛のように頸に巻いたり、腰に巻いたりしないこと。食事はホステス（またはホスト）によって開始されるから、それ以前には

手をつけないこと。手持ちぶさたにフォークやパンなどいじらないこと。

献立「参考迄にディナ・パーティの正餐について示す」

Menu (メニュー) は食事の順序と内容を示すもので、主催者のもてなしが表現されるものであるから、その順序をよく知るとともに、会の終りに名札と一緒に持ち帰るのが正式である。メニューの大体は次のようである。

① Hors d'oeuvre (オールドブル=前菜) [オードブルともいう]

気の利いた摘まみもので、正餐の時は控室で出る。

② Aperitif (アペリチーフ=食前酒)

オードブルと共に食欲をつけ、気分を爽やかにするためのコクテル、ベルモットなど。

③ Potage (ポタージュ=スープ)

ディナ・パーティの食事はスープから始まるから、たとえ食堂でオールドブルやアペリチーフが出されても、これは献立(メニュー)の中には入らない。

スープ即ち Potage はコンソメ (Consomé=清汁) とリエ (Lié=濁汁) の2種類あるから、その何れか1種をとる。(リエのことをポタージュと俗称している) 付け合わせに出る酒はシェリイである。

④ Poisson (ポアソン=魚料理)

付け合せの酒は白ブドウ酒。

⑤ Entrée (アントレ=正菜料理=主料理)

酒は赤ブドウ酒。アントレが2皿、3皿と出る時は途中で口休めにソルベ(シャーベット=氷酒)が出る。これはアイスクリームではなく軟かく固められた氷酒だから4~5匙すくった後は、容器から飲むこと。

⑥ Roti (ロチ=ロースト、焼肉料理)

酒は赤ブドウ酒。

⑦ ここでシャンパンが出る。

主人役が頃合いを計ってナイフの手許でテーブルを軽くたたいて客の注意を求め。客はナイフとフォークをおいて、テーブル・スピーチを聞くこ

とになる。スピーチが終ると客は、ナプキンをはずして、皿の端にちょっとはさみ、起立し「乾盃」の合図でひと口に飲み乾して着席する。客側の答辞があれば、再び起立して乾盃する。そして着席して残りの料理を食べ続ける。スープからアントレまでのコースが終ると、これからデザート・コースに入る。

⑧ Entreme (アントルメ=甘味料理)

デザート・コースに入ると、ババロアとか、プディングなどの菓子料理が出る。デザート・スプーンで手前から切りながら、すくい上げて食べる。酒は甘口のポルトかマルサラなどがデザート用とされている。

⑨ アイスクリーム

給仕が大皿で持って来るからスプーンで適量とって、少しずつ切りくずして食べる。口中が冷え過ぎたらウエハースを食べる。ハアハアと息を吐かないこと。

⑩ フルーツ

運ばれた皿には Finger Bowl (指洗い水を入れた器)が入っているから、それを左前方に移して、好みの果物を皿に取って適量に食べる。

⑪ 済んだら指先を洗って、ナプキンを膝からはずして、キッチンとたたまずに軽くまとめて、卓上におく。

⑫ チーズ

大皿に盛られている幾種類かのチーズを、ナイフで適当に切り取って自分の皿に移し、ナイフとフォークで食べる。

このチーズの時に主催者から、とっておきの銘酒などが出される。

⑬ これでデザートも終り、ホステスの合図で控え室に戻る。

⑭ コーヒー

濃く入れて出す。コニャックやブランデーと一緒に出される。略式では食堂の中で引きつづいて⑭と⑮を出すことがある。

⑮ Digestif (ディジェスチーフ=食後酒)には、リキュール、キュラソー、ペパーミント、ドム、シャルトルーズ、ウイスキーソーダ、リモネードな

ど、いずれかが出る。これでディナーの献立はひと通り終る。

## 5. 料理の食べ方

- (1) パンは左手に取って裂き、左手のものを皿に戻し、右手でちぎったものを食べる。  
バターを用いるときは、一口分右手でちぎって、左手に持ちかえ、右手でバターナイフを持ってつける。
- (2) オードブルの生牡蠣は、レモン汁をかけ、左指で殻を押え、フォークですくって一口に食べる。
- (3) スープは、テーブル・スプーンで手前から向うにすくいあげ、スプーンの横から飲む。汁が少なくなったら皿の手前を少しあげてすくう。
- (4) 両耳つきのカップで出されたときは、紅茶と同じように片耳を持って飲む。これについてくるスプーンは汁の熱さを加減するためのものである。
- (5) カニやエビなどは指で殻をむく。
- (6) 肉や野菜の大きなものは、左端から小さく切りながら、フォークに刺すか、背にのせて食べる。予め細かく切ってしまうこと。
- (7) 小鳥類は、手で処理してよい。
- (8) 呑み込まぬうちに次を口に入れないこと。
- (9) 口に残った骨や種などは、そっと掌にうけて皿の端におく。
- (10) 口に入れたものは多少まずくとも食べてしまう。
- (11) 自分の皿に取り分けただものはなるべく残さぬこと。しかし皿を洗ったようにキレイにする必要はない。
- (12) パンと水はお代りを催促してもよい。
- (13) スプーンは、横から流し込むように、フォークは斜めに口へ運ぶ。ナイフを口へ運んではいけない。
- (14) 予め、ナイフ、フォーク、スプーンなどが卓上に幾組か並べられているときは、外側のものから使う。デザート用の向側の器具は手前から使う。
- (15) スプーン、フォークで扱いにくいものは、潰すか、押し固め、扱い易く

するとよい。ときには、左手にパンの小片をもって、右手のスプーンかフォークで助けてもよいが、そのパンは食べてしまうこと。

(16) アスパラガスは指でつまんでも、ナイフとフォークを用いて食べてもよい。

(17) 酒を飲みたくないとき給仕が来たら、指先で軽くグラスの縁を押える。初めから酒を飲まないときは、グラスを伏せておくこと。

(18) バナナを食べるときは、1本を手にとってそのまま皮をむいて食べるのは下品、皿の上で適当な大きさにナイフで切って、それを手に取って皮をむいて食べること。

リンゴは普通4つに立割りして、その1片のツンを取り、皮をむいて食べる。1個のリンゴをグルグルと皮をむいて、丸カジリするのはいけない。

(19) コーヒーや紅茶にスプーンが添えてあるが、それは混ぜたり砂糖を入れたりするもので、すくって飲んではいけない。

## 6. 食事のエチケット

(1) 食事が終るまで席から離れてはいけない。

(2) 止むなく離れる場合は、静かに立ち、ナプキンを椅子の上に置いて離れる。

(3) 食事中は、静かな落ち着いた態度で愛想良く振舞う。

(4) 独り無言でもくもくと食べるのはよくない。

(5) 口にもものが入っているときに話してはいけない。

(6) 食べたり、飲むとき、チュチュッ、クシャクシャなど音をたててはいけない。

(7) 鼻をかんだり、あくびをしてはいけない。

(8) 止むなく、せきや、クシャミが出るときは、ハンケチで蔽って止めるようにする。出てしまったときは低い声で「失礼しました」という。

(9) 顔に手をやったり、体をゆすったりしない。

(10) 視線は流れるように滑らかに移し、横目や上目はしない。

ある人を特に見詰めてはいけない。

- (1) 体を曲げて話しかけたり、大声で呼びかけたりしない。
- (2) 他人の過失には気付かぬ風にする。
- (3) 渋い顔をしない。
- (4) 遠くにあるものは給仕に頼むか、隣りの人にとってもらう。
- (5) 話題には、議論的な政治や宗教の話や、内輪話や他人の噂話などを避ける。
- (6) 隠語や俗語を使わない。
- (7) 相客を主とし、隣客とも話し合う。
- (8) 席につくやパンを食べたり、水を飲むのは上品でない。
- (9) 卓上の器具はもてあそばない。
- (10) 器具の用い方を間違っても、あわてず、そしらぬ顔をして通すこと。
- (11) 床に物を落したり、テーブルに飲みものをこぼしたときは、そのままにして給仕に始末させる。
- (12) 正式のディナーでは、客は自分で給仕の大皿から料理をとり分ける。
- (13) 料理を大皿から取るには、右手にスプーンを持ち、1人分をすくい上げ左手のフォークでそっとおさえて移す。
- (14) デザートのナイフ、フォーク、スプーンは、そのつど配られる。
- (15) 肉やその他のものが出されても、添えものの野菜類が配られるまでは手をつけない。
- (16) 特に好きだからといって余り多くは取らない。
- (17) 嫌いなものは取らなくてよい。
- (18) 食事の速度は、ホステス(ホスト)に合わせる。
- (19) パンは丸ごと噛ってはいけない。
- (20) バターは、壺から1、2粒バターナイフでパン皿に取り分けて使う。バターナイフがない時は手許の新しいフォークを用いてよい。
- (21) 飲物を飲む時、食事の手を一寸おく時、皿の縁にナイフとフォークをハの字形に、フォークは凸部を上向けにしておく。

- ㉔ 喫煙は、先きに献立の項で述べた主料理 (Entree) が終わった後に喫むようにする。
- ㉕ 食べ終わったら、フォークとナイフを皿の中央に揃えておく。ナイフの刃は内側に、フォークの凹を上に向ける。
- ㉖ 塩、胡椒の取り扱いには特に注意して、散らさぬようにする。
- ㉗ 楊子やフォークで歯をほったりしてはいけない。
- ㉘ スプーン、ナイフ、フォークなどで他人を指したり、上方に向けたりしてはいけない。
- ㉙ ナプキンが、椅子の上にあるときは中座、卓上に丸めてあれば終了を意味する。
- ㉚ 招宴のときは使用人にチップは要らない。

## 7. 食事・宴会を終えて

ホステス (ホスト) の合図で、婦人の主客から席を立つ。男は席の横に立って待つ。相客の婦人が立つとき、男は椅子をひいてやる。

男は20~30分程度、席に残って雑談してもよい。

立った後の椅子は、そのままにし、元へ押ししたり、片付けたりする必要はない。

午餐のときは、15分から30分、晚餐のときは1時間程度以内で辞去する。辞去に際しては、ホステス、ホストに握手して礼を述べる。その他の人々には会釈でよい。

退出は目上の人を先きにする。

帽子は玄関を出てから冠る。

これでディナー・パーティは全部終わったことになる。

この招宴に対して答礼の招きをするか、或いは丁重な礼状を出すことを忘れないように。

## 8. 代表的なブラジル料理

さまざまな人種と民族から構成されているブラジル人の食生活は、一言にして言えば、多種多様である。ラテン系の人々はラテン系の食事方式や調理方法を持ち込んだし、東欧系、北欧系、中近東、アフリカ系と、それぞれの民族人種が、少なくともその移住の当初には、その固有の料理や食事方法を持ち込んだに違いない。と同時に、昔からこの国土に住んでいた原住民族は、この国土から採れる料理材料とこの国に最も相応しい食生活のために、自分たちのための食事方式や調理方法を持っていたわけで、400年の間に混然と併存しつつブラジルの国土とブラジル人に最もよく愛好されるものが残って、今日の「ブラジル料理」を特色づけているものと思われる。

### Feijão 料理

#### ☆ 味覚と栄養に富む Feijão

Feijão というのは、日本のウズラ豆やササゲ、大納言などに似た豆で、品種も多く、形も大小さまざまで、表皮の色も、エンジ、褐色、灰色、斑点のあるものなど様々である。

このフェイジョンはいろいろに料理されるが、大概のブラジル人の家庭では常食となっていて、少なくとも日に1回、多きは毎食の食卓にのぼっている。これは白人系、黒人系、混血系、土着系その他を問わずブラジルに生活する人々の一般的な嗜好物で、食事材料としては不可欠なものとされている。

従って、家庭において Feijão を上手に料理することは、主婦や炊事人の大きな役目になっており、娘さんの嫁入り条件の1つで、フェイジョン料理が上手か下手かで縁談が決められる、とさえ言われている。

まことに、Feijão 料理は麗可不思議なもので、一旦この味を覚えると、毎日の食卓にフェイジョンの姿が見えないと淋しい感じがするほど“後をひく料理”である。農場や工場に働く Camarada (夫夫・労働者) たちは、給食に Feijão が出ないような所では働かない、と言われているくらいである。

われわれ日本人でも現地の生活に慣れるに従って、漸次フェイジョン料理を好むようになるが、現地生れの2世や3世になると、殆んど例外なくこれを好んで毎日食べているようである。

欧州でも米州でも、豆料理は、殆んど肉・油・塩・香料・辛味などで調理され、日本のように砂糖や醤油で調理されることは少ない。ラテンアメリカも国によって、例えばメキシコのように唐辛子を沢山使う調理法もあるが、その調理の仕方は大同小異である。

ブラジルの家庭での、豆料理の調理方法は、まず、Feijão 豆を洗って鍋に入れ、充分に水を加えて、数時間、たっぷり豆に水を吸わせる。その鍋を火にかけて、最初強火でヨク煮立てる。この鍋とは別に、フライパンに皮付きの豚の脂肉又はベーコンを入れ、炒めて油分を浸み出させ、ニンニクを加えて狐色に炒めあげる。

これを別の煮豆の鍋の中へ移し、中火から弱火に火力を落して、気ながに煮上げるのである。汁気や脂気が少なかったり、むやみとカキ回すと反って焦げつく惧れがある。こうして3時間から4時間以上かけて煮あげたのち、最後に塩と胡椒などの香料を加えて味を付けると、美味しい Feijão の煮豆が出来上がる。

煮る時間をもっと早くするには圧力鍋を使えばよいが、Feijão 料理の名人に言わせると、圧力鍋で短時間に仕上げた豆はウマくないという。

このフェジョンとは別に、脂炒めの米飯を用意しなければならないが、この油いための米のご飯が、普通の家庭では、大皿に盛られて、深い大皿に入れられた Feijão 煮豆と一緒に食卓に出される。

各自は自分の皿に、煮豆と米飯を適量に取り分けて、フォークとナイフで適当に混ぜながら食べる。豆を好きな人は米飯をスキにする人がある。この場合パンと一緒に食べたり、或いはマンジオカ粉をフリかけて食べたりする。

このように味付けに豚や牛の脂肪分が加えられている上に、フェジョン豆のもつ植物性蛋白質、ビタミンB類、無機質類などが充分に含まれているから申分はない。動植物蛋白が主体となっている食物だけに、味覚がウマイ上に、俗に“腹持ちが良い”と言われている。

初めて口にする人にとっては、油やニンニクの匂いがブンと来るので、一寸奇異に感ずるかも知れないが、ブラジル人との社会生活をする上には、どうし

でも必要となる食物の一つである。

この Feijão 煮豆を更に豚肉 その他の肉のブツ切りと煮込んだ Feijoada (フェイジョアード) の味覚はこれまたブラジル料理を代表するものの一つである。その味覚の素晴しさは、早くブラジルへ行って、現地で食べてみなければあなたに本当の味を伝えることは出来ない。

### マカロン料理

マカロニと言えばすぐにイタリア料理を思い出すほど、マカロニ料理は世界的に有名なおいしい料理の一つだが、マカロニ料理が本場イタリアに劣らぬブラジルの代表的料理の一つであることはおもしろい。

Macaroni のことをブラジルでは Macarrão (マカロン) というので、マカロン料理として説明する。

どうしてブラジルで美味しいマカロン料理が食べられるかといえば、ブラジルに外国から移住している人のうちイタリア系が一番多く、それらイタリア人のうち食料品販売業や食堂、レストランなどを経営している人たちが案外に多く、彼らはオリーブその他マカロン料理に必要な材料を本国からドンドン輸入して、本国に少しも遜色のないマカロン料理を作って、家庭でも賞味し、また営業として豊富に販売している。

100年以上に亘って彼らがブラジルに持ち込んだイタリア料理は数多くあるが、マカロニやリゾールは今日では完全にブラジル料理の一つと化している。

従って、マカロン料理はブラジルに住む白人系、混血系、黒人系、日系など広く、人種の何れを問わず、誰にも好まれる日常の料理となつて、何処へ行ってもその味覚を味わうことができる。

日本でマカロニといえば、穴あきうどん数種くらいに思っている人が多いかも知れないが、ブラジルではスパゲチを含めて、その種類の多いのに驚かされる。日本で見られる穴あきマカロンは勿論のこと、花形マカロン、指輪形、パイプ形、キシメン形など様々で、スパゲチにはうどん、そう麺形から髪の毛のように細いものまで40~50種類にも及んでいる。

### ☆ マカロン料理の作り方

マカロンの品質の良し悪しは、伸びのある小麦粉と製造乾燥工程にあるといわれている。しかし折角よいマカロンを手に入れても副材料を欠いたり、調理法が下手であっては美味しいマカロン料理にはならない。通人はこんなふうにいっている——ゆで揚げたマカロンの熱いうちにバターと塩を入れ、粉チーズを振りかけて食べるのがコツ。また別の人は、上にかけるトマト・ケチャップの量によってマカロンの味はきまる——と。

まず、ゆで方は、干うどより少し余計に時間をかけなければならないが、ゆで過ぎてもゆで足りなくてもいけない。歯ざわりが少々残る位が適度とされている。ゆでる順序は、たっぷりした湯に塩を少々入れ、グラグラたぎったときマカロンを入れる。蓋はしない。2回ほど水を加え、くつつかぬよう時々箸でかき混ぜる。芯がとれてゆだったらザルにとって水分を切り、味つけに移る。日本のうどんのように柔かくゆではダメ。火が弱く長時間かけると、外側がダレて内側が固くなってしまう。

ゆでたマカロンを、玉葱とニンニクの刻みをいためた鍋の中に入れ、バターを充分にきかせてトロ火にかけ、ゆっくり煮て味をしみ込ませ、塩で味付けし鍋から皿に取出して、粉チーズをかけて食べるのが最も簡単な、アッサリした食べ方である。これに煮汁をかけて食べる食べ方もある。煮汁はトマトと肉と玉葱、ニンニクなどを入れて作るが、先ず大鍋にオリーブ油を入れてタギらせこの中にニンニクを入れて炒め、次いで玉葱と肉を入れて炒める。その後からトマト汁を入れて炒めるように煮たてる。煮つまってきたら少量の水を加えて攪拌しながらドロリとした煮汁に作りあげる。この場合使用するトマトの良し悪しが、出来上りの味に大いに影響すると言われている。

この煮汁に用いる肉も鶏肉もあれば豚肉もあり、エビや貝のムキ身を入れたりする。トロ火で一昼夜ぐらい煮詰めるようにすると出来上る。

#### ☆ マカロン料理の食べ方

ブラジルでは正規の食事コースの場合、マカロン料理は鳥や獣肉料理の前に出てくる。マカロンを平げてから肉料理に入るが、食欲の少ない人はマカロン料理を少し控えて次に進むか、またはマカロン料理だけにしないと満腹してし

まう。食卓へは大皿に盛られて出されるから、各自好む分量をとり分けて食べるようにする。

食べ方は、短いマカロンは問題はないが、スパゲチのように長いものはナイフを使わずに、フォークにくるくると巻いて口に運ぶのであるが、巧くゆかぬ場合は、フォークとスプーンを使ったり、フォークを右手に、左手にパンをちぎってあしらって食べてもよいことになっている。

ブラジルへ赴任される前に、家庭で作って試食してみること如何ですか。

### シュラスコ

リオやサンパウロの街を歩いていると、レストランの書出しに Churrasco (シュラスコ) という文字をよく見かける。これは、牛肉を串に刺して焼くことにした肉料理のことで、本来は、前にも述べたように野外で、大きなかたまりの牛肉を、焼く焼くしながら食べる料理のことであるが、街のレストランや家庭の調理場では、肉の塊りもだいぶ小さくなって、テンピで適当に焼られたものを、熱いうちに皿に取り分けて出される。普通の焼き肉は Carne Assada (カルネ・アッサダ) というが、街で食べる Churrasco はそれと余り違わないが、シュラスコの味覚と雰囲気はブラジル生活に欠くことは出来ない。

ブラジルでもアルゼンチンでも、牛肉を食べることにかけては他国にひけをとらない。何しろ牛の数は人間の数の何倍も多く、手に入り易いので、勢い肉を食べることになる。日本では、ビーフ・ステーキの厚いなどご馳走の部類に入るが、ブラジルではマア普通の料理というところ。

しかし、牛肉を食べることは特別なご馳走ではないとしても、本格的な Churrasco 料理を食べることは大へんなご馳走なのだ。というのは本格的なシュラスコ料理をやるとなると、金も手間も随分かかる。“シュラスコ料理の集い”を計画するには、まず1週間くらいも前から準備してかからなければならぬし、牛は大てい仔牛の肥らせたものを材料とするので、これは5～6日前に屠殺して、肉のグリオゲン分解による程よい味を待つわけだ。そして食事をする当日の会場も、眺めのよい広い場所を求める。

場所も材料も調ったところで、広い庭か、野外に炭火を山のようにカンカン

とおこして、おきた炭火を適当に拡げる。準備された5尺以上もある木か竹の棒、実はそれが串なのだが、それに一片200グラムもあるような牛肉の塊りを2つか3つ串刺して、炭火の四圍に立てかけたり、渡したりして燻る。この炭火も木炭でなく、焚木そのものの方が味が良いと言われている。

この、牛肉がジリジリと音をたててやけている、その煙りが集まっている人々の嗅覚を快く刺激する。ぐるぐる万遍なくやけたところで大きな串から引き抜いて大皿の上で、適宜の大きさに切ったり、ムシリ取ったりする。こうして幾分小さくなった肉片に、塩とコショウを各人の好みに従って振りかけて、フウフウふきながら食べ始める。上戸の人はピンガやビール、下戸の人はグアラナーかジュースをやりながら、パンなど合わせて、食べてもよい。

5人、10人或は20人以上もの大ぜいの人々が、互いに楽しい話題を無遠慮に撒き散らしながら、野天で食べると、1頭2頭という仔牛の肉が瞬くうちに消えるように胃の中へ入ってゆく。陽が落ちて、たそがれがやってくる。火が赤々と楽しそうな、満悦そうな人々の顔をてらし出す。老いも若きも Churrasco の味覚を満喫する、というわけだ。

Churrasco 会が、歓迎会に、送別会に、大いに利用される所以である。

この雰囲気、家庭内やレストランに持込まれたのが、街のシェラスコというわけで、単なるビフテキではなく、おいしいブラジル料理の一つとしてご紹介する次第。

## 9. この章に用いられたブラジル語

燕尾服	Swallow tail coat=Casaca	<small>カザカ</small>
白蝶ネクタイ	White tie=Gravata branca da forma de borboleta	<small>グラバタ フランカ デ フォルマ デ ボルボレタ</small>
白チョッキ	Colete branco	<small>コレテ フランコ</small>
白草手袋	Luva branca	<small>ルバ フランコ</small>
エナメル短靴	Sapato envernizado	<small>サパト エンベルニザト</small>
婦人夜会服	Vestido decotado	<small>ヴェストイド デコタド</small>
モーニング	Morning coat=Fraque	<small>フラック</small>

- タキシード Tuxedo(米), Dinner jacket=<sup>スモーキング</sup>Smoking
- スモーキング (タキシードに準じ、上衣白色が多い) =Smoking
- フロックまたはフロック・コート Frock coat=<sup>レディンゴータ</sup>Redingote
- 黒ネクタイ Black tie=<sup>グラバータ プレタ</sup>Gravata preta
- 朝食 Breakfast 伯国では朝は軽くコーヒーとパンで済みますので“朝食”の語はない。
- オールドブルまたはオードブル Hors d'oeuvre=<sup>オードブル</sup>Hors-d'oeuvre
- サンドイッチ Sandwich=<sup>サンドウィーシェ</sup>Sandwich
- 主人役, ホスト (男) Host=<sup>ドノ ダ カーザ アンfitrião</sup>Dono da casa, anfitrião
- // ホステス (女) Hostess=<sup>ドナ ダ カーザ</sup>Dona da casa
- クローク (携行品預り所) Cloak=<sup>グアルダロウパ</sup>Guarda-roupa
- 食前酒 Aperitif=<sup>アペリチーボ</sup>Aperitivo
- スープ Soup=<sup>ソパ</sup>Sopa
- コンソメ Consomme=<sup>コンソメ</sup>Consomme
- ポタージュ Potage=<sup>ポタージュ</sup>Potage
- 魚「決して“サカナ”と発音してはいけない」 Fish=<sup>ペイシェ</sup>Peixe
- デザートまたはデザート・コース Dessert=<sup>ソブレメザ</sup>Sobremesa
- 果物 Fruit=<sup>フルータ</sup>Fruta
- 菓子 Cake=<sup>ドーセ</sup>Doce
- 食堂 Dinning room=<sup>サラ ダ ジェンタール</sup>Sala de Jantar
- テーブル Table=<sup>メザ</sup>Mesa
- 椅子 Chair=<sup>カデイラ</sup>Cadeira
- 皿 Dish=<sup>プラト</sup>Prato
- 食皿 (平) // =<sup>プラト ラソ</sup>Prato raso
- 深皿 (スープ用) // =<sup>プラト フンド パラ ソパ</sup>Prato fundo(Para Sopa)
- 中皿 // =<sup>プラト デ ソブレメザ</sup>Prato de Sobremesa
- 指洗鉢 Finger bowl=<sup>ワバ デーダス</sup>Lava dedos
- ナイフ Knife=<sup>ファカ</sup>Faca

フォーク	Fork	=Garfo <sup>ガルフォ</sup>
サジ (大)	Spoon	=Colher de Sopa <sup>コリエール デ ソパ</sup>
" (中)	"	=Colher de Sobremesa <sup>コリエール デ ソブレメザ</sup>
" (小)	"	=Colher de café(chá) <sup>コリエール デ カフェ(シャ)</sup>
ナプキン	Napkin	=Guardanapo <sup>アルダナポ</sup>
メニュー, または献立	Menu	=Cardpio <sup>カルヂピオ</sup>
昼食または朝食	"	=Almôço <sup>アルモッソ</sup>
パートナー	Partner	=Par <sup>パル</sup>
グラス	Glass	=Taça <sup>タサ</sup>
シャーベット	Sherbet	=Sorvete <sup>ソルベテ</sup>
ウエハース	Wafer	=Wafer <sup>ワエーファー</sup>
バター	Butter	=Manteiga <sup>マンタイガ</sup>
チーズ	Cheese	=Queijo <sup>ケージョ</sup>
コーヒー	Coffee	=Café <sup>カフェ</sup>
パン	Bread	=Pão <sup>パン</sup>

## Ⅸ 日本との関係

### ブラジルとの歴史的関係

日本移民が最初にブラジルに向かったのは明治41年（1811年）4月28日、781名が笠戸丸に乗って神戸を出帆、ブラジルのサントスに入港したのが6月18日であった。（日本では、この日を「海外移住の日」としている。）

そのご時に消長はあったが、この半世紀の間に約23万人の日本人がブラジルに渡り、在伯日系人の数は50余万人に達している。これは北米やハワイを遙かに凌ぐ最大の日本人移住であり発展である。

数年前に在伯同胞は、ブラジル官民の賛成裡に、日本から三笠宮殿下ご夫妻をお招きして、盛大に日本移民50年祝典を挙行了した。この武典に出席したブラジル大統領は、在伯同胞がブラジルのために行なった数々の貢献を喜び、日本の天皇と国民に対して、嘉賞のメッセージを贈っている。

事実この50年間における同胞のブラジルでの活躍はまことに目覚ましいものがあった。この期間に日本移住者ははじめコロノとなり、伯国農業に奉仕し、広大な原野を拓き、ブラジルの心臓部であるサンパウロやリオ州では野菜の全生産は産高の70%、果実はほとんど100%、鶏卵、米、麻、胡椒などの大量をブラジル人に供給している。

最近の調査によると、在伯同胞の土地所有面積は約500万町歩で、日本の四国の2倍の広さに相当し、その所有財産は約3,000億円と推定されるに至っている。

最初にブラジルを見た日本人

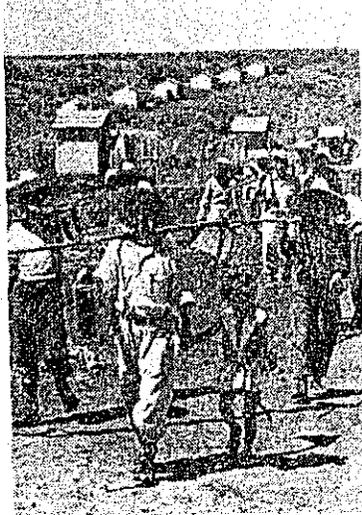


原始林開拓は伐木、山焼きから始まる

記録によると、寛政5年(1793年)江戸幕府の御用木材を積んだ若宮丸は奥州石巻港を出帆したが、ツケに逢ってロツヤ嶺に漂着、彼ら船員は約10年間露都モスコウで暮らし、皇帝の計らいで内4名が日本帰国が認められ、日本派遣使節レザノットの乗艦ナデシュダに便乗、帰国の途中1803年11月ブラジルのエカテリーナ(現在のフロリアノポリス?)に寄港上陸した。これが最初にブラジルの土を踏んだ日本人と言われている。名の4名は津太夫、倭平、左平、太郎と記されている。

これに次ぐものは明治3年(1870年)、日本の兵部省海軍操練所は英艦リバプールに2名の留学生を託した。薩摩藩の前田十郎左衛門と伊予藩の伊月一郎である。その年の10月リバプール号はブラジルのパイア港(サルバドル)に寄港した。たまたま前田は激しいノイローゼに罹っており、艦内で自殺した。遺体はサルバドルの英人墓地に葬られた。これがブラジル上陸の2番手である。

明治19年(1886年)ブラジル軍艦アルミランテ・パローゾが世界周航の途次横浜に入港、艦長ら8名が天皇陛下に謁見した。その中には当時のブラジル皇帝ドン・ペードロ2世の孫アウグスト・レオポルド親王もいたが同艦が長崎に寄港したとき、回船問屋の息大武和三郎は乗船を乞い、レオポルド殿下のボーイとなってブラジルに渡った。その後ブラジル公使館、大使館の囑託として長く勤め、和葡、葡和辞典を完成して79才で歿した。彼が上陸者の3番手である。明治26年、榎本武揚の植民協会所属の根本正代代議



日系人の大コーヒー園で働くコロノ

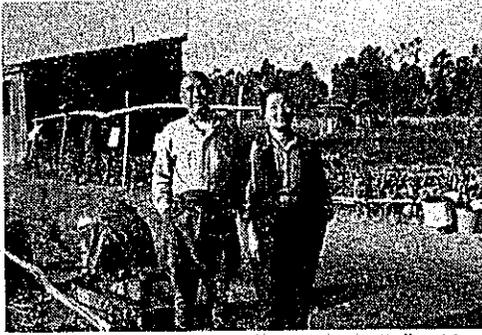
士が外務省から派遣されてブラジルを視察し、ブラジルは日本人の移住地として好適であると報告している。翌年パリで日伯修好通商航海条約が締結され、2年後に批准書が交換され、初代駐伯弁理公使に珍田捨己が任命された。

### ブラジル移民の初期

日本人のブラジル移住史は笠戸丸によって始まるが、当時活躍した人々の努力と功績も記さなければならない。

初代の珍田公使は在任10カ月で病弱のため帰国したが、2代の大越公使とともにそれほどの移住積極論者ではなかった。3代目の杉村公使は着任早々堀口書記官を伴って各地を視察し、サンパウロの農務長官らと協議した後、外務大臣小村寿太郎に、移住を勧める報告書を提出している。ついで堀口書記官は帰国して関係業界等にブラジル事情を講演し非常な感動を与え、果然ブラジルへの関心は全国的に高まった。当時北米とカナダには排日機運が高まり、移民は同地より締め出しを食い、僅かにメキシコとペルーが受入れていたに過ぎなかった。

皇国植民会社の社長水野はブラジル移民に強い関心をもち、自ら視察に赴き



第二次大戦前の移住者は“マカコペーリヨ”（古ゴリラ）の愛称で呼ばれ親しまれていた



農産物を豊富に供給する日系コロニア  
（佐伯氏撮影）

明るい確信をもって帰国し、再度の渡伯によりサンパウロ州政府と移民契約を結んで大規模移住に乗り出した。水野は歴史的な第1船笠戸丸を送り出したが、実際はうまく行かず、第1回移住者は苦難の道歩んだ。しかし今日振り返って見ると、水野やその現地代理人の上塚らの努力と、上に述べた人々との識見は、多くの移民の犠牲的を努力によって現在の繁栄を築いたものと見なければならぬ。

#### マカコ・ペーリヨ

この笠戸丸で移住した人々のことをブラジルの邦人社会では第1回移民と呼んでいるが、これ以前にすでに幾人か

の日本人がブラジルに入国していた。それらの人々は、ペルーの綿作農場労働者として渡り、その後アンデスを越えてブラジルに入国したものである。ブラジルでは古い移住者のことを、マカコ・ペーリヨ（古い猿）と呼んでいるが、第2次大戦前に移住した人々は、もうマカコ・ペーリヨまたは古ゴリラの愛称で呼ばれる時代になった。

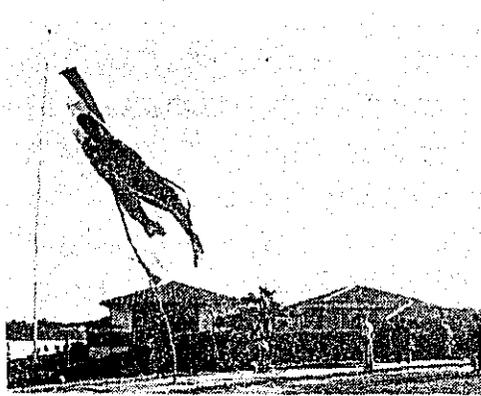
#### コロノ

当時の移住者は、ほとんど契約農業労働者（コロノ）としてサン・パウロ州の大コーヒー耕地で働いた。これには1年乃至2年という義務年限があり、コーヒー園の手入れ、収穫などをした。そして僅かな労賃を貯えて、少合作、借

地農などの形式をとりながら逐次独立への道を踏み出した。大正14年ごろにはサンパウロ州の日本人は2世を合わせて約4万人となった。

### 企業移民

コーヒー耕地労働者として始まったブラジル移住も、逐次その数が多くなり、また、日本にもブラジル事情が認識されてくると、国家としてもブラジル移住を考えるようになって、ブラジル国の諒解を得て民間会社や移住組合直営の移住地を造って、いわゆる地主移民を送るようになった。これらの移住地には製糸工場、精糖工場などが建ち、企業移民が直接送りこまれた。これがその後の日系人社会



サンパウロ市イビラプエラ公園の日本人館に  
ひるがえる鯉のぼり



ブラジルで働く技術移住者

(日系コロニア)の発展に貢献した。東山、野村、日伯拓殖などの大農場も現われ、さらに北部アマゾン地区にもアマゾン興業、南米拓殖が進出して、シュート栽培や胡椒(ピメント)栽培に着手した。また、現地邦人の間からもコチア産業組合が誕生するなど、単なる農業移民時代から脱けて企業体が併行するようになった。

ブラジル移住前にすでに古くから行なわれていたハワイ、北米、チリ、ペルー、メキシコ、アルゼンチンなどの移住者にくらべて、ブラジルの日系コロニアが今日のような発展をとげたのは、この時代に始まった企業化と農業労働とが相互に助け合う関係にあったからである。

## 日系コロニア

昭和5年(1930年)ごろの日系人数は約13万人となり、サンパウロ市内には農業から商工業に移った邦人も現われ、また日伯貿易も活発になるにつれて日本の商社の駐在員もふえ、日本語の新聞も数種発行され、日本の映画も不定期ながら見られるようになった。日本に愛着を感じる人たちの間には二世に日本語を伝えようとする気持から学習塾なども開設された。

## 移民入国制限

しかし、日系コロニアがこれまでに成長するには決して平坦な道ではなかった。第1回移民が渡伯してから8年後、大正4年(1915年)に日本移民反対論が出てきた。また昭和9年(1934)には、当時の日本の軍国主義的傾向がブラジルの議会で問題となり、日本移民を対象とする「移民入国2分制限法」が採択された。これは昭和9年(1934)以前50年間にブラジルに移住した人数に応じて、毎年の入国許可数をその2%に制限するというものであった。

## 資産の凍結と解除

昭和16年(1941年)、第2次世界大戦が勃発すると、日本からの移住がとだえたことはいうまでもない。そして日系コロニアの多くの指導者級の人々が監禁軟禁され、日系の大企業は壊滅寸前に追いつめられた。しかし農業者や中小商工業者はかえってブラジルの保護をうけ、その間に実力を蓄積するチャンスが与えられた。昭和20年(1945年)日本の敗戦によって大戦の幕が閉じられたが、その後の数年間は日伯両国間の交通は全くとざされていた。そして戦争中、戦時特別法によって凍結されていた日系人の資産は、没収の危険にさらされた。40年間粒々辛苦してブラジルに積み上げた資産が没収されるということは、泣いても泣ききれぬ痛恨事であった。そこで日系コロニアの有志たちは、昭和22年(1947)から純然たる民間外交で、ブラジル当局に凍結資産の解除を嘆願し、3カ年を費やしてようやくその日産を達した。旧連合国の諸国に先んじてブラジルがこの好意を示してくれたことに対してコロニアは大こに感謝したものである。

## 対日感情好転

戦後コロニアに「勝ち組」「負け組」の内紛があって、ブラジル人の心証を害したこともあったが、日時がたつにつれて対日感情もよくなり、日系人に対する信頼感と友情が増して来た。これにはいろいろな原因があるが、最も大きいのは、戦時中日系農家が真面目に生産に従事したこと、二世、三世がふえてブラジル社会との接触面が広くなり、日本人をよく知りはじめたことなどである。

### 日伯移住協定

昭和35年(1960)11月に移住協定が結ばれ、日本からの移住者は両国の話し合いによって、その都度その数をきめること、一方的に制限はしない、ということになった。これには商・工業移住者を含むことは勿論である。

それ以前、ブラジル人の日本コロニア観が大いに好転しはじめた昭和25年(1950年)ゼッツリオ・バルガス氏が大統領として再登場するや、工業奨励の行きすぎ是正と、農業界の不況恢復を、目ざして、ブラジル北部、中部高原の未開発地域の開発を強調し、これらの地方に日本人を入植せしめる構想がたてられた。この方針に基づいて昭和27年(1952年)はじめて戦後の移住者の入国が許された。

### 日本人の分布状態と経済力

ブラジル国内における邦人の分布状態はほとんど全域におよんでいる。主要州とその割合を示すと、サンパウロは阿といってもトップで75%、パラナが20%、マツト・グロッソ、ミナス、ゴヤス、リオデジャネイロ地方に3%、パラトとアマゾナス両州に2%である。

戦後は邦人の商工業方面への進出が盛んになってきたが、全体としてみれば活動の中心は農業部門であり、これがまたブラジルで日本人が高く評価された理由にもなっている。農業部門に従事する邦人の約60%が独立農、30%が借地農、残り10%がコロノ等の農業労働者という割合になっている。これから推して、邦人が如何に経済的に安定しているかがわかる。

### 邦人の生産活動

次に主要生産物について邦人の生産活動を全ブラジルと比較した100分比で

示すと、これが人口にして全ブラジルの僅か0.7%にも足りない日系コロニアから生産されたものであることは注目に価する。

棉花40%、コーヒー13%、米20%、馬鈴薯60%、トマト95%、マヌ90%、バナナ50%、桃及び柿はいずれも100%、茶・鶏卵・ハッカ・ラミーはそれぞれ90% 蔬菜類70%、コショウ60%、ジュート50%、とうもろこし10%。

#### 戦後の企業進出

ブラジルは今や先進諸国から資本、技術を導入し、工業化への道を急いでおり、欧米各国は競って巨額な投資を行ない、優秀な工場を建設している。その対伯投資比率からみると日本は未だ問題にならぬ程低いが、日本自体の海外投資比率では対伯投資が断然他を抜いている。

日本の経済力は最近急速に充実して来たから、今後は海外投資額も急増しようが、その場合、投資市場として最も注目される地域の一つはラテン・アメリカ地域で、なかでもブラジルが重要視されるであろう。

ブラジルが日本の投資家に魅力を与える点は、①同国の政策が外資の導入を歓迎し、保護を与えていること、②地下資源が豊富で、人口も多く、政治的にも比較的安定し、総合的な発展力を持っていること、④すでに50数万に達する同胞があり、経済的にも相当の力を持っていること等々、幾多の条件を挙げることができる。要するに、ブラジルが発展すべき諸条件を具備していることであり、しかも親日的で日本人の活躍に好意をもって迎えてくれる国だからである。

わが国から進出している企業の主なものは次のとおり。

日本側	相手側又は新会社	業種
東洋紡織	東洋紡ブラジル	綿 紡
鐘淵紡織	鐘紡ブラジル	綿 紡
海外機械興発	Industria Mecânica Omas	機 械
{ 東洋棉花	伯国ミシン工業	ミシン部品
{ 西沢ミシン		
{ 豊和工業	Industria Mecânica	紡織機製造
{ 日本スピンドル	Howa Do Brasil	
{ 東洋紡織		

新しい海外移住の理念

“海外移住政策の基礎となるべき理念は、国民に日本とは事情を異にする海外における創造的活動の場を与え、これを通じて、直接、間接に国民の具有する潜在的能力をフロンティアにおいて開発し、その結果、相手国への開発協力と世界福祉に対する貢献となって、日本および日本人の国際的声価を高めることにならなければならない。

なお、移住は従来のように単なる労働力の移動とみられるべきではなくして、開発能力の現地移動とみられるべきである”。

(海外移住審議会答申より一昭和37年12月)

横浜紙器	Harae Cia. Ltd.	ダンボールの製造 (操業中止中)
岡田初太郎	Industrias Indianapolis S. A.	伸銅業
三浦勉	ブラジル農工	製粉製油
日商	土井丸栄陶器	陶磁器
丸栄	Pacific Consultant do Brasil	土建請負業
パンフィック・ コンサルタント	Yanmer Diesel Brasil	ディーゼル エンジンの製造
ヤンマー・ ディーゼル	マルキェウ農業機械	農業機械類の製造
{ 久保田鉄工	倉敷紡績ブラジル	毛紡績
{ 三菱商事	日紡織維商工	紡績
{ 倉敷紡績	ウジミナス	製鉄
{ 東洋棉花	ブラジル味の素	味の素の製造
{ 兼松	Ishikawajima do Brasil	船舶建造修理
大日本紡績	ブラジルトヨタ自動車	ジープ製造
日本ウジミナス	ジャック電球商工	電気計器、オルゴール 電飾広告
味の素	モジ製陶	自動車用プラグおよび タイヤ
石川島播磨重工業	タイヨウ・インダストリア・ベスカ	製氷魚粉製造
トヨタ自動車	北伯漁業	捕鯨業
麻生産業		
日本特殊陶業		
大洋漁業		
三井物産		

佐渡島金属  
 大洋漁業  
 新潟鉄工  
 鹿島建設  
 都築紡績  
 日本冷蔵  
 野村海外事業  
 日立製作所  
 田村電機  
 三菱商事  
 三菱日本重工  
 三菱重工  
 東京芝浦電気  
 井関農機  
 高砂香料工業  
 南拓貿易  
 イハラ農薬

サドキン電球工業  
 三宅  
 山形建設  
 ミナス・ジェライス製作所  
 サンパウロ紡織

特殊電球  
 漁業  
 エンジン小・型船の  
 建造、修理  
 土木建築工事  
 紡績綿糸  
 漁業、製氷、  
 冷蔵、加工  
 農産物加工  
 電気機械  
 送電器  
 ボイラー、化工機  
 “  
 “  
 電気機器  
 動力耕うん機  
 香料、胡椒  
 胡椒加工  
 農薬

### ブラジル移住略史

以上述べてきたのは日本人のブラジル発展史のあらましであったが、それを  
 含めて両国国交の歴史を表にしてみよう。

1895 (明治28) 年	通商航海条約締結
1906 (明治39) 年	サンパウロ州政府と皇国植民会社間に日本移民輸送契約
1908 (明治41) 年	第1回移民入植(笠戸丸)
1915 (大正4) 年	サンパウロ市に日本総領事館開設、最初の日本人小学校 大正小学校開設
1916 (大正5) 年	南米新聞、日伯新聞発刊
1920 (大正9) 年	蒔田総領事赴任
1922 (大正11) 年	ブラジル独立100年祭、日本海軍訪伯
1924 (大正13) 年	日本人小学校61校になる
1928 (昭和3) 年	神戸移民収容所(現、移住センター)開所、拓務省設置
1929 (昭和4) 年	第1回アマゾン移住
1932 (昭和7) 年	日本移民25周年祭典行わる。南3州に護憲革命起る
1934 (昭和9) 年	日本移民2分制限
1935 (昭和10) 年	日本経済ミッション訪伯

1939 (昭和14) 年	サンパウロ市に日本病院設置・日系人20万を越える
1941 (昭和16) 年	第2次世界大戦起る
1942 (昭和17) 年	日伯国交断絶
1947 (昭和22) 年	サンパウロ、パウリスタ両邦字新聞発刊
1950 (昭和25) 年	オリンピック水泳選手古橋一行訪伯
1952 (昭和27) 年	移住再開
1954 (昭和29) 年	サンパウロ市400年祭、日本海外協会連合会設立、松原・辻ブラジル政府と特許移民契約締結
1958 (昭和33) 年	ブラジル移住50年祭、三笠宮兩殿下訪伯
1959 (昭和34) 年	前サンパウロ州知事・ジャニオ氏来日
1960 (昭和35) 年	移住協定成る 戦後第3代伯国大使着任
1961 (昭和36) 年	ジャニオ氏大統領に就任 文化協定成る
1964 (昭和40) 年	東京に伯国極東選考事務所設置

日伯間に現存する諸協定

条 約 名	署名(交換)年月日	発効(復活)年月日
司法共助に関する交換公文(民事事件)	昭15. 9. 23	昭28. 5. 23
航空業務に関する協定	昭31. 12. 14	
文化的協力に関する条約	昭15. 9. 23	昭28. 5. 23
貿易及び支払に関する取極め	昭33. 10. 17	
移住及び植民に関する協定	昭35. 11. 14	昭33. 10. 29
文化協定	昭36. 1. 23	

## 最近の政治経済事情

(附) 以下は、当団リオ・デ・ジャネイロ支部からの報告による最近の事情である。

### I 政治動向

1964年4月、カステロー・ブランコ將軍が大統領に就任した際、伯国朝野は挙げて国家再建の決意に燃え、革命政府は一連の基本制度改革を敢行したが、その結果、インフレの速度は鈍化し、為替は安定し、輸出は僅かながらも増進し、対外信用も著しく改善された。庶民も歯を咬いしばって相次ぐ税金攻勢に耐え日々の生活程度を切り下げて政府施策に協力の態度を持して来たのであるが、時の経過とともに、政府に対する信頼の念は、漸く薄らぎ、希望を失い始めたかに認められる。カステロー・ブランコ大統領は、どこまでも民主主義の大道に基づき、軍事的な独裁政府を避け政党とも緊密な連繫を保ちつつ革命体制の完成を目途して努力し来たのであるが、国民の中には（特に革命達成に共に努力した政治家の間に於て）、彼は時とともに権力の座になれ、政權に執着するの余り、右を見てはよろめき、左を眺めては迷う革命前のあり来りの政治家となり下ったとして遂には不信の念をさえ抱くものも出て来た。

このような雰囲気の中に10月3日、11州知事の選挙が行なわれたが、その結果は、政府の紀彥どおり、11州中8州迄が革命政府が粛正したP. S. D(社会民主党)並びにP. T. B(伯国労働党)の大勝に終り、国民の政府に対する信頼が薄らいだ事実を明確に示すこととなった。これに加えて、10月3日、元大統領ジュゼリーノ・クビチエッキ氏はその亡命先バリより突如として帰伯して来たため、巷間、種々の噂が乱れ飛んだが、特に少壮軍人の中にはカステロー・ブランコ大統領と、クビチエッキ氏との間には早くより暗黙の諒解があるのではないかとの疑を持つものさえも現われ、激越なる字句を用いてブラ

## 最近の政治の経済事情

ソコ大統領を排撃し、遂には10月15日、陸軍クラブの建物の前広場において、上層部の禁止命令を無視して集会を敢行するに至った。(但しこの集会に馳せ参じたものは2万5千のクラブ員中僅に300名程度に過ぎず、而も、その大部分は、予備役軍人であって、特記すべき不祥事件は起きなかった。)

これより先、政府は、必要ある場合(国家治安維持の爲)は各自治権に干渉し得る為の憲法一部改正、並に追放政治家に対する規則等に関する法律案を議会に提出した。目下二つの法案をめぐって、政党(特にP. S. D., P. T. B., U. D. N.)は、改正案の作成に当たっているが、結局は、一部反政府府派の蠢動はあっても、法律制定を見るべしとの観を与えている。

以上が当国政情の概観であるが、軍人、文官中の一部の不平不満分子(文官中反政府の態度を強く表示している者の中には、現グワナバラ州知事カーロス・ラセルジ氏現ミナス州知事マカリヤンニス・ピント氏等の大物もいる)が存在するにもかかわらず、國民の大部分は、平静に事態の収拾を期待しおるものと見られる。政府もまた近き将来内閣の改造(大蔵並に経済企画大臣を除く)を行なうとともに、10月18日帰伯した前駐米大使ジュラシー・マカリヤンニス將軍(司法大臣に10月19日就任)を政府・政党・軍部との間の諸調整に当らしめる等國府再建の至上目標到達にあらゆる努力を傾けつつあるものと視られる。カスターロ・ブランコ大統領自身は、政權に執着するの余り、あるいは一身の利害關係によって政党に近づき、間接選挙等の方法により再任を計らんとしているものではなく、同人の高潔にして恬淡たる資性に國民の大部分が信頼していることは事実であるが、彼自身目下軍部と政党等との關係においては正に板ばさみの窮状にあるとの感を与えている。

## II 経済動向

(1) 概況 革命政府の打出した財政経済緊縮政策の爲、國內の弱体産業はもちろん、大手筋工業も、相当の影響を受け、操縦はもちろん、労働者の解雇、経費の節減等

## 最近の政治の経済事情

一連の経営合理化に踏み切った。失業者は続出し、国内消費力は激減して相次ぐ政府の声明と統計の発表にかかわらず、国民の日常生活は目に見えて困難となり人心はようやく政府の財政経済政策に希望を失なうのは勿論、反感をさへ抱くに至ったことは事実である。がしかし、最近に至り国民の指導層並にインテリ階級の大部は、市民のかこつ困難は國家経済再建のためには必然的なものであり、この困難と不満はあらゆる努力、自制により克服されるべきものであるとの気運に向いて来たように見受けられる。

一方セツリオ・バルガス経済研究所の発表によれば、本年上半期の生産増加率は4.9%で、政府の目標とする6%に近づきつつある。財政面においても、本年12月迄の赤字予定は7,750億クルゼーロスであるが、これに対し8月分を加算した赤字通計額は5,170億であり今年度においても予定額を上回ることはあるまいと観察される。紙幣の発行は8月までに2,350億クルゼーロスであり、9月に入って15日迄に550億クルゼーロスを発行している（但し、この550億は農業融資強化のためのもの）従って現在の発行総額は2,900億であるが、これは9ヵ月間の発行予定額3,015億を下回っている。卸売物価は9月において1.5%の上昇、1月～9月迄の上昇率は19.7%となっている。政府が予定した年末迄の上昇率25%を越えることはあるまいと観察されている。

また生活費の上昇率は8月サンパウロにおいて2.6%、9月グワナバラ州において3.6%、いずれも、昨年同期に比し、低いパーセンテージである。但し一般市民の生活はこの統計の示す数字の如く決して楽になった訳ではない。何となれば、法今第4725号、貨銀ストップ令により一般労働階級の貨銀はストップされているからである。

国際収支においてはカフェーの輸出は今後も順調なりと予想され（8月分輸出货量は128万俵）工業製品の輸出も漸次増強され、本年々末において、国際収支が黒字となる可能性もある。

(2) 為替相場について 公定自由相場、市中現金取引相場ともに不動である。但し、10月13日コレイオ・ダ・マ

## 最近の政治の経済事情

ニヤン紙は Hermógenes Príncipe 氏（国会議員）の為替相場に関する談話を発表した。右によれば、新コーヒー融資は6億ないし8億程度となり、今年末における連邦公務員の増俸は40%であるので、現に政府が行ないつつあるテコ入れ手段は必らず崩壊すべく、1ドル2,500クルゼーロスの程度に相場は落ちるであろうと言明している。これに対し、大蔵大臣は、たとえ連郵官吏、軍人等の増俸があるとしても、このため、ドル相場が崩れることはなく、政府は着々として国家経済の再建に向って堅実な歩調を進めていると反撃している。

（海外移住事業団リオ・デ・ジャネイロ支部

1965年11月）

品番

品番

5881  
777

品名

海外移住事業団

品名

青年の国 ブラジル

品名

品出者氏名

発行日

発行日

発行日

総額

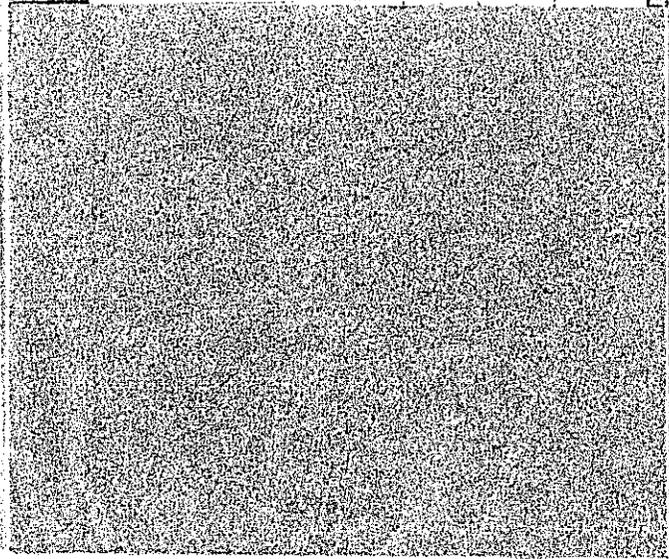
円

428.

5/21

5/26

526.



81
7

南米略図

